

豊春小学校外 7 校避難所空調設置工事 (八木崎小学校)

■ 図面リスト

(図面サイズ：A1版、A3版は50%縮小)

春日都市 学校教育部 教育施設課

工事名	豊春小学校外7校避難所空調設備設置工事(八木崎小学校)
特記仕様書	
I 工事概要	
1. 工事場所	春日部市中央四丁目1番地
2. 敷地面積	
26,362m ²	
3. 工事種目 (建物概要)	
体育館 S造1F (929m ² 施設台帳上)	
4. 工事内容	
・体育館アリーナに空調機を設置する。・体育館アリーナに換気扇を設置する。 エリア空調機(ペア) 5台 有圧扇 2台	
・空調機設置に伴う建築工事、電気設備工事。 ・換気設備設置に伴う建築工事、電気設備工事。	
・アリーナの鋼製建具に飛散防止フィルム(遮熱、UVカット性能付き)を貼る。 ・渡り廊下の一部(体育館棟側)を修繕する。 ・外階段に手すりを設置する。	
・既存キューピカル式受変電設備を改修する。 ・既存照明を撤去し、LED灯を新設する。	
5. 工期	
契約工期 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 現場代理人の現場への常駐を要しない期間 現場施工期間	契約による 担当者と協議による 担当者と協議による 担当者と協議による
6. 工事範囲	
※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。 また、本工事の目的を達成するために通常必要とされる業務、工事は本契約に含まれる。	
II 建築改修工事仕様	
(1) 質問回答書、本特記仕様書(改修)及び図面に記載されていない事項は、以下による。 「春日部市建築工事特別共通仕様書」 国土交通省大臣官房官公廳常務監修 「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。) 「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下、「標準仕様書」という。) 「建築物解体工事共通仕様書(最新版)」	
(2) 改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等(条例を含む)と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。 (3) 本特記仕様書の表記 1) 項目は、番号○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。○印と※印の場合は、○印のみを適用する。 3) 特記事項に記載の〔 〕内の表示番号は、「春日部市建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。 4) 特記事項に記載の〔 〕内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。 5) 特記事項に記載の〔 〕内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。 6) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、()内は製品名を示す。 7) 本工事において、「環境物品等の調達に関する基本方針(令和5年2月24日更開議決定)」及び、「埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針(最新版)」による特定調達品目のうち、「判断基準」を満たす環境物品等(以下「特定調達物品等」という)を選択するよう努めるものとする。 8) 注は改修標準仕様書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。	
なお、新たな版が出版され、当該基準によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。	
(4) 本工事における「改修標準仕様書」の「特記がなければ、」以下の具体的な材料・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令等(条例を含む)と異なる場合には、具体的な対応策について監督員と協議すること。	
(5) 本特記仕様書の表記 1) 項目は、番号○印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は、○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。○印と※印の場合は、○印のみを適用する。 3) 特記事項に記載の〔 〕内の表示番号は、「春日部市建築工事特別共通仕様書」の当該項目、当該図表を示す。 4) 特記事項に記載の〔 〕内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。 5) 特記事項に記載の〔 〕内の表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図表を示す。 6) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また、()内は製品名を示す。 7) 本工事において、「環境物品等の調達に関する基本方針(令和5年2月24日更開議決定)」及び、「埼玉県グリーン調達・環境配慮契約推進方針(最新版)」による特定調達品目のうち、「判断基準」を満たす環境物品等(以下「特定調達物品等」という)を選択するよう努めるものとする。 8) 注は改修標準仕様書及び標準仕様書記載事項で、注意すべきものを示す。	
※施工に先立ち、次の施工計画書を提出し監督員の承諾を受ける。 ※総合施工計画書(工程・品質・安全・環境配慮・仮設計画等を含む) ○別種解体等の計画書 ○産業廃棄物処理計画書(収集運搬許可・産業廃棄物許可及び委託契約書を含む) ○防水改修工事施工計画書(下地処理を含む)(シール材) ○外壁改修工事施工計画書(") ○建具改修工事施工計画書(") ・ガラス改修工事施工計画書 ○内装改修工事施工計画書(") ○塗装改修工事施工計画書(") ・耐震改修工事施工計画書(") ○電気・機械設備改修工事施工計画書(電気・機械設備がある場合のみ) ※その他の監督員が必要と認めるもの	
工事内容から各種施工計画書を統合した方が合理的な場合は統合して作成してよい。	
(6) 施工計画書	
(7) 技能士	
(8) 化学物質の濃度測定	
(9) 計算協力マーケット	
Ⅲ 施工計画書	
(10) 石綿含有建材の調査	
(11) 施工計画書	
(12) 中間検査	
(13) 完成図等	
(14) 保証書	
(15) 工事用面図	
(16) その他	
Ⅳ 施工管理	
(17) 施工管理	
(18) 引き渡しを要するもの	
Ⅴ 環境・安全対策	
(19) 環境・安全対策	
Ⅵ 施設設備工事	
(20) 機械設備工事	
(21) 電気設備工事	
(22) 通信設備工事	
(23) 光通信工事	
(24) その他	

⑦ 塗装改修工事	① 材料 ② 下地調整 ③ 素地ごしらえ ④ 鋼止め塗料塗り ⑤ 塗装 [G]	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [7.1.3] 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除く防火材料とする。(箇所:) 塗替え R B種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1~7] ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す 図示 下地調整	下地面の種類	下地調整の種別	ひび割れ部の補修		-------------------	-----------------	------------		木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	—		鉄鋼面	RA種(注) ※RB種	—		亜鉛めっき面	RA種(注) ※RB種	—		亜鉛めっき面(鋼製建具)	RA種 ※RB種	—		モルタル、セッコウラスチ面	RA種 ※RB種	行う 行わない		コンクリート面(DP以外)	RA種 ※RB種	行う 行わない		ALCパネル面	RA種(注) RB種	行う 行わない		押出成形セメント板面	RA種(注) RB種	行う 行かない		コンクリート面(DP)	RA種(注) RB種	行う 行かない		セッコウボード面及びその他ボード面	RA種 ※RB種	—	(注)DP以外からDPへ塗替える場合の下地調整は、既存塗膜の種類及び劣化状況に応じてRA種(既存塗膜全除去)又はRB種(既存塗膜一部除去)を選定すること。 [7.3.2~7]	下地面等		種別		--------------------------	------------	----------------		木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・B種			透明塗料塗りの場合	・A種 ・B種 ※C種		鉄鋼面 (DP以外)		・A種 ・B種		鉄鋼面 (DP)		・A種 ・B種		亜鉛めっき鋼面		・A種 ・B種		モルタル面及びセッコウラスチ一面		・A種 ・B種		コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面		・A種 ・B種		押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)		・A種 ・B種		コンクリート面 (DPのみ)		・A種 ・B種		セッコウボード面及びその他のボード面	目地: 繊維処理工法	※A種 ・B種			その他のボード面	・A種	鋼止め塗料塗りの種別 [7.4.2, 3]	素地面	塗装の種類	塗料の種別	工程の種別		---------------------------------	---	-------------------------	--		SOP	塗替え	A種	※C種		鉄鋼面	工程の種別は 新規見え掛り (表7.4.3) EP-G	A種 ※B種	※A種		(工程の種別は 新規見え掛り (表7.4.3))	新規見え隠れ	A種	※C種		DP	塗替え	7.4.2(1) (イ) (b) による	・A種(下地調整RA種) ・B種(下地調整RB種) ・C種(下地調整RC種)		(工程の種別は (表7.4.4))	新規	7.4.2(1) (イ) (a) による	A種		亜鉛 めっき 鋼面	SOP (工程の種別は 新規鏡製建具等 新規その他 (表7.4.5))	塗替え ※A種 ・B種	※C種 ・A種		EP-G	塗替え	C種	※C種		(工程の種別は 新規鏡製建具等 (表7.4.5))	新規その他	C種	※A種		DP	塗替え	B種	—		(工程の種別は (表7.4.6))	新規	B種	—	[7.5.2~7.12.2]	塗装の種類	塗装面	工程					--	--------------------------------	----------------------------	----	------------	--------------------------		○合成樹脂調合ペイント	塗替え	新規					塗り(SOP)	木部屋外	※B種					塗料の種別	木部屋内	※B種					*1種・2種	鉄鋼面	※B種						亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※A種					-クリヤラッカーペイント	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種					-アクリル樹脂系非防水成形塗料塗り(NAD)	上塗り等級()級	—					-耐候性塗料塗り(DP)	上塗り等級()級	—						鉄鋼面 上塗り等級()級	—						亜鉛めっき鋼面	—						ワクリ一面及び押出成形シート板面	—					-つや有合成樹脂エマルション塗り(CL)	屋内の木部	※B種					-ヨンベイン塗り(EP-G)	屋内の鉄鋼面	※B種						屋内の亜鉛めっき鋼面	※A種					○合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)	※B種	・A種 ※B種					-ウレタン樹脂ワニス塗り(UO)	※B種	・A種 ※B種					○ステイン塗り	・ピグメントステイン塗り ○オイルステイン塗り(OS)	・張り付け工法 断熱材へのボードの張り付け工法					-木材保護塗料塗り(WP)	※B種	・A種 ※B種					つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(コンクリート面、モルタル面、セッコウラスチ一面、セッコウボード一面、その他の一面)の塗替えの場合のみ止め							※B種又はC種の場合(表7.9.1)の工程の下塗りをしみ止めシーラーとする							合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め							※B種又はC種の場合(表7.10.1)の工程の下塗りをしみ止めシーラーとする							注) DP以外からDPへの塗替えは、下地調整の種別に注意すること。							・高反射塗料塗り [G]							下地調整 [7.2.2]	R A種	※R B種					工程	規格番号	規格名稱	種類	等級	塗付け量(kg/m ²)		塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射	2種	・1級 ・2級	塗料製造所の仕様による				反射率塗料	3級				クリヤラッカーペイント A種の工程2の適用							・適用しない							・適用する(着色剤: 溶剂系着色剤・油性染料着色剤)							・ラクサン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用							・適用する							・適用しない							・オイルステイン塗りの工程等							○製造所の仕様による							⑨ 環境配慮改修工事 ① 石綿じん濃度測定	測定期、場所及び測定点 [9.1.1]						---------------------	------	------	--------------------------	------------------------		通用	測定	測定時期	測定場所	測定点		レバーキ	レバーキ	測定1	処理作業室内	(処理作業室ごと) 各2ヶ所 3点		※	※	測定2	処理作業前	各2ヶ所 3点		※	※	測定3	処理作業室内	各2ヶ所 3点		※	※	測定4	処理作業中	1時間ごとに1ヶ所 各1ヶ所 3点		※	※	測定5	施工作業区周辺又は敷地境界	1m/s以下の位置 各1ヶ所 3点		※	○	測定6	施工作業区周辺又は敷地境界	各1ヶ所 3点		※	※	測定7	処理作業後(隔離) 処理作業室内	各2ヶ所 (※3は各1ヶ所) 各1ヶ所		※	※	測定8	施工作業区周辺又は敷地境界 各方向各1ヶ所	各1ヶ所		※	※	測定9	処理作業後(後づけ) 処理作業室内	各1ヶ所		※	※	測定10	施工作業区周辺又は敷地境界	各1ヶ所	さいたま市内で測定を行う場合は市条例を遵守して実施すること。 測定方法 ・自動測定器による測定 測定4.5 ※バーナー(カット・粉じん相対温度計(デジタル粉じん計)、繊維状粒子粒子自動計測器(ワイヤーハイセメント))等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器による測定 ・JIS K 3850-1にに基づいた測定	ノズル直径(mm)	測定4.5	測定	測定		-----------	-------	-----	----		25	47	47			5	10	10			30	120	240		本工事対象外 2 石綿含有吹付け材の除去(レベル1) 3 石綿含有等の除去(レベル2) 4 石綿含有成形材の除去(レベル3) 5 石綿含有建築用仕上塗材等の除去(レベル3) 6 PCB含有シーリング材処分 7 外断熱改修工事 [G] 8 断熱・防露改修工事 [G] 9 屋上緑化改修工事 [G]	10 透水性アスファルト舗装改修工事 適用範囲: 【武里南小学校: 駐車場】 既存舗装の撤去及び再利用 図示 路床の材料	種別	材料	厚さ(mm)		--------------------	---	--------		・盛土	・A種	・図示		・建設汚泥から再生した処理土 [G]	・B種	・図示		・凍上抑制層	・再生クラッシュラン [G] ・砂(改修標準仕様書表9.5.1(2) (f)による)	・図示		・フィルター層	・改修標準仕様書表9.5.3(2) (f)による	・図示	(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行う 行わない ・路床安定処理 ・適用する ・安定処理の方法 ・置き換え工法 () ・安定処理工法 路床安定処理用添付材料 種類 - ・普通ボルトランセメント - ・高炉セメントB種 [G] - ・フライアッシュセメントB種 - ・生石灰 (・特号 1号) 添加量 () kg/m³ (目標CBR ※3以上) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験 ・ジョテキスタイル ・単位面積質量 60g/m²以上 厚さ (mm) 0.5~1.0 引張強さ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 1.5×10⁻¹cm/sec以上 試験 路床土の支持力比 (CBR) 試験 行う 行わない 現場CBR試験 行う 行わない 路床締固め度の試験 行う 行わない 六個クロム溶出試験 行う 行わない 路盤 路盤の構成及び厚さ 図示 路盤材料 (改修標準仕様書表9.7.3による種別) - ・クラッシュラン - ・粒度調整砂石 - ・再生クラッシュラン [G] - ・再生粒度調整碎石 [G] - ・クラッシュラン・鉄鋼スラグ [G] - ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] - ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G] 鋪装の平たん性 図示 鋪装の平たん性 混合物等の抽出試験 行う 行わない 11 鋼版切断時に発生する漏水の処理 1) 受注者は、回収した漏水を次のとおり処理するものとする。 種類及び処理量 図示による 処理方法 - ・中間処理後、最終処分場に搬入(処理に焼却含まず) - ・中間処理後、最終処分場又はセメント工場に搬入(処理に焼却含む) 2) 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。 共通事項 - 1) 受注者は、舗装板切断作業を行ながる漏水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した漏水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む泥漬)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 - 2) 受注者は、汚泥の中間処理業者の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 - 3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の收集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物收集運搬委託契約を締結しななければならないものとする。 - 4) 受注者は、漏水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理規 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。 提出書類等 - 1) 受注者は、施工計画書において、漏水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び收集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 - 2) 受注者は、工事完了後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 その他 - 1) 受注者は、施工計画書において、漏水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。 - 2) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の收集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物收集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 - 3) 受注者は、漏水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理規 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。 1) 受注者は、施工計画書において、漏水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び收集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2) 受注者は、工事完了後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 3) 異議等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。 提出書類等 - 1) 受注者は、施工計画書において、漏水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び收集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 - 2) 受注者は、工事完了後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 3) 異議等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。 1) 受注者は、施工計画書において、漏水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。 2) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の收集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物收集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、漏水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理規 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。 4) 受注者は、施工計画書において、漏水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。 5) 受注者は、工事完了後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 6) 異議等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。 1) 受注者は、施工計画書において、漏水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。 2) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の收集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物收集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、漏水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理規 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。 4) 受注者は、施工計画書において、漏水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。 5) 受注者は、工事完了後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 6) 異議等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。 1) 受注者は、施工計画書において、漏水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。 2) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の收集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物收集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、漏水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理規 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。 4) 受注者は、施工計画書において、漏水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。 5) 受注者は、工事完了後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 6) 異議等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。 1) 受注者は、施工計画書において、漏水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。 2) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の收集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物收集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、漏水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理規 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。 4) 受注者は、施工計画書において、漏水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。 5) 受注者は、工事完了後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 6) 異議等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。 1) 受注者は、施工計画書において、漏水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。 2) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の收集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物收集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、漏水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理規 (以下「マニフェスト」という。) により管理するものとする。 4) 受注者は、施工計画書において、漏水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。 5) 受

① 鉄筋工事	鉄筋の種類 (5.2.1)	種類の記号 呼び径 (mm) 備考 ○SD295 ※D16以下 室外機基礎 - SD345 ※D19以上	コンクリートの種類 (6.2.1)	種別 ※I類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ○II類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート)	普通コンクリート (6.2.1~6.2.4) 設計基準強度 (N/mm ²) 気乾単位容積質量 (t/m ³) スランプ 適用箇所 -24 2.3程度 15又は18~18 ○21 2.3程度 ○18 図示	① コンクリートの種類 (6.2.1)	埋戻し及び盛土 (3.2.3) ・A種 適用場所 () ・B種 適用場所 () ・C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・D種 適用場所 () 品質 細粒分 (75μm以下) の含有率 (重量百分率) の上限を50%未満とする。 ・六価クロム溶出試験結果報告 行う(再生品の場合) 行わない ・場外搬出適切処理 構内指示の場所にいたり構内指示の場所に敷き均し (3.2.5) 3 山留めの撤去 鋼矢板等の抜き跡 ※地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる (3.3.3)	29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2、3) ・間知石 花こう岩 寒灰岩 ・コンクリート A B 積み方 谷積み 布積み 目塗り 図示 伸縮調整目地 材種 厚さ 図示	
	2 溶接金網	形状等 (5.2.2) 種類の記号 總目の形状、寸法、鉄線の絆 (mm) 使用部位 - 溶接金網 6×150×150 玄関ホールローポ	② ワイヤー工事	構造体強度補正値 (S) ※標準仕様書表6.3.2による 補正値S=3 (3月3日~7月10日、9月11日~11月18日) S=6 (7月11日~9月10日、11月19日~3月2日)	③ コンクリート (6.2.1)	埋戻し及び盛土 (3.2.3) ・A種 適用場所 () ・B種 適用場所 () ・C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・D種 適用場所 () 品質 細粒分 (75μm以下) の含有率 (重量百分率) の上限を50%未満とする。 ・六価クロム溶出試験結果報告 行う(再生品の場合) 行わない ・場外搬出適切処理 構内指示の場所にいたり構内指示の場所に敷き均し (3.2.5) 3 山留めの撤去 鋼矢板等の抜き跡 ※地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる (3.3.3)	29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2、3) ・間知石 花こう岩 寒灰岩 ・コンクリート A B 積み方 谷積み 布積み 目塗り 図示 伸縮調整目地 材種 厚さ 図示		
	③ 鉄筋の継手	鉄筋の継手方法等 (5.3.4) 部位 繰手方法 呼び径 (mm) 柱、梁の主筋 ガス圧接 機械式継手 ※D19以上 耐力壁の鉄筋 溶接継手 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 ○重ね継手 他の鉄筋 ○重ね継手	④ セメント	種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 適用箇所 (・1FLより下部(立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 適用箇所 ()	⑤ 骨材	アルカリシリカ反応による区分 (6.3.1) ※A・B (コンクリート中のアルカリ総量が3.0 kg/m ³ 以下)	⑥ 混合材料	⑦ 金属工事	1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1) (表14.2.1) 種別 施工箇所 (成形版、笠木、建具以外) ・AB-1種 ・AB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種 ・BA-1種 ・BA-2種 ・BB-1種 ・BB-2種 ・BC-1種 ・BC-2種 ・C種
	④ 鉄筋の定着	鉄筋の定着長さ (5.3.4) ○図示による ()	⑧ 骨材	陽極酸化皮膜の着色方法 (※二次電解着色) 色合等 ・シルバー ・アンバー ・ブルー ・ブラック系 ・ステンカラー ・特注色 ()	⑨ 混合材料	⑩ 金属性工事	1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1) (表14.2.1) 種別 施工箇所 (成形版、笠木、建具以外) ・AB-1種 ・AB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種 ・BA-1種 ・BA-2種 ・BB-1種 ・BB-2種 ・BC-1種 ・BC-2種 ・C種		
	機械式定着工法	運用場所 ・図示による ()	⑪ 骨材	陽極酸化皮膜の着色方法 (※二次電解着色) 色合等 ・シルバー ・アンバー ・ブルー ・ブラック系 ・ステンカラー ・特注色 ()	⑫ 混合材料	⑬ 金属性工事	1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1) (表14.2.1) 種別 施工箇所 (成形版、笠木、建具以外) ・AB-1種 ・AB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種 ・BA-1種 ・BA-2種 ・BB-1種 ・BB-2種 ・BC-1種 ・BC-2種 ・C種		
	⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む)	最小かぶり厚さ (自地底から算出を行う) ※図示による (構造関係共通図) (配筋標準図) (4)(1)表4.1) ・図示による ()	⑭ 混合材料	陽極酸化皮膜の着色方法 (※二次電解着色) 色合等 ・シルバー ・アンバー ・ブルー ・ブラック系 ・ステンカラー ・特注色 ()	⑮ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地	打継ぎの位置 (6.6.4) 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による ()	⑯ 金属性工事	1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1) (表14.2.1) 種別 施工箇所 (成形版、笠木、建具以外) ・AB-1種 ・AB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種 ・BA-1種 ・BA-2種 ・BB-1種 ・BB-2種 ・BC-1種 ・BC-2種 ・C種	
	6 濡潤養生	温潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 () 日	⑰ 混合材料	陽極酸化皮膜の着色方法 (※二次電解着色) 色合等 ・シルバー ・アンバー ・ブルー ・ブラック系 ・ステンカラー ・特注色 ()	⑱ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地	打継ぎの位置 (6.6.4) 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による ()	⑲ 金属性工事	1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1) (表14.2.1) 種別 施工箇所 (成形版、笠木、建具以外) ・AB-1種 ・AB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種 ・BA-1種 ・BA-2種 ・BB-1種 ・BB-2種 ・BC-1種 ・BC-2種 ・C種	
	7 各部配筋	※図示による ()	⑲ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地	打継ぎの位置 (6.6.4) 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による ()	⑳ 混合材料	打継ぎの位置 (6.6.4) 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による ()	㉑ 金属性工事	1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1) (表14.2.1) 種別 施工箇所 (成形版、笠木、建具以外) ・AB-1種 ・AB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種 ・BA-1種 ・BA-2種 ・BB-1種 ・BB-2種 ・BC-1種 ・BC-2種 ・C種	
7 ガス圧接	本工事対象外	柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性不十分な部分(塗装等を受けるおそれのある部分等) ・あり 適用箇所 () ・最小かぶり厚さに加える厚さ () mm	㉒ 混合材料	打継ぎの位置 (6.6.4) 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による ()	㉓ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地	打継ぎの位置 (6.6.4) 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による ()	㉔ 金属性工事	1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1) (表14.2.1) 種別 施工箇所 (成形版、笠木、建具以外) ・AB-1種 ・AB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種 ・BA-1種 ・BA-2種 ・BB-1種 ・BB-2種 ・BC-1種 ・BC-2種 ・C種	
8 機械式継手	本工事対象外	柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性不十分な部分(塗装等を受けるおそれのある部分等) ・あり 適用箇所 () ・最小かぶり厚さに加える厚さ () mm	㉕ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地	打継ぎの位置 (6.6.4) 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による ()	㉖ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地	打継ぎの位置 (6.6.4) 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による ()	㉗ 金属性工事	1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1) (表14.2.1) 種別 施工箇所 (成形版、笠木、建具以外) ・AB-1種 ・AB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種 ・BA-1種 ・BA-2種 ・BB-1種 ・BB-2種 ・BC-1種 ・BC-2種 ・C種	
9 溶接継手	本工事対象外	柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久性不十分な部分(塗装等を受けるおそれのある部分等) ・あり 適用箇所 () ・最小かぶり厚さに加える厚さ () mm	㉘ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地	打継ぎの位置 (6.6.4) 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による ()	㉙ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地	打継ぎの位置 (6.6.4) 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による () 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による ()	㉚ 金属性工事	1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1) (表14.2.1) 種別 施工箇所 (成形版、笠木、建具以外) ・AB-1種 ・AB-2種 ・AC-1種 ・AC-2種 ・BA-1種 ・BA-2種 ・BB-1種 ・BB-2種 ・BC-1種 ・BC-2種 ・C種	
10 軽量コンクリート	11 寒中コンクリート	実施要領 (1) 単位水量の測定は、150°nに1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3) 単位水量の算出目標値は次の通りとして、施工する。 1) 判定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打ち設ける。その後の全運搬車の測定を行い、設計値±15kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg/m ³ を超える場合は、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 2) 単位水量が、設計値±15kg/m ³ を超える場合は、生コンを打ちままで持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打ち設ける。その後の全運搬車の測定を行い、設計値±15kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg/m ³ を超える場合は、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 計算した単位水量が、設計値±15kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打ち設ける。その後の全運搬車の測定を行い、設計値±15kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg/m ³ を超える場合は、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打ち込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、A/I法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。	㉛ コンクリートの単位水量測定	実施要領 (1) 単位水量の測定は、150°nに1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3) 単位水量の算出目標値は次の通りとして、施工する。 1) 判定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打ち設ける。その後の全運搬車の測定を行い、設計値±15kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg/m ³ を超える場合は、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 2) 単位水量が、設計値±15kg/m ³ を超える場合は、生コンを打ちままで持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打ち設ける。その後の全運搬車の測定を行い、設計値±15kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg/m ³ を超える場合は、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 計算した単位水量が、設計値±15kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打ち設ける。その後の全運搬車の測定を行い、設計値±15kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg/m ³ を超える場合は、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打ち込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、A/I法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。	㉜ コンクリートの単位水量測定	実施要領 (1) 単位水量の測定は、150°nに1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3) 単位水量の算出目標値は次の通りとして、施工する。 1) 判定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打ち設ける。その後の全運搬車の測定を行い、設計値±15kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg/m ³ を超える場合は、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 2) 単位水量が、設計値±15kg/m ³ を超える場合は、生コンを打ちままで持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打ち設ける。その後の全運搬車の測定を行い、設計値±15kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg/m ³ を超える場合は、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 計算した単位水量が、設計値±15kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打ち設ける。その後の全運搬車の測定を行い、設計値±15kg/m ³ 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg/m ³ を超える場合は、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 単位水量管理についての記録を書面(計画調合書、製造管理記録、打ち込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、A/I法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。	㉝ コンクリートの単位水量測定	実施要領 (1	

電気設備工事特記仕様書

1 工事概要

- 1.1 工事名 建築工事特記仕様書による
1.2 工事場所 建築工事特記仕様書による
1.3 工期 建築工事特記仕様書による

1.4 工事科目 (○印の付いたもの適用する)

<input checked="" type="checkbox"/> 電灯設備	・ テレビ 共同受信設備
<input checked="" type="checkbox"/> 動力設備	・ テレビ電波障害防除設備
電動設備	・ 監視カメラ設備
音保護設備	・ 駐車場管制設備
受変電設備	・ 防犯、入退室管理設備
電力貯蔵設備	・ 自動火災報知設備
発電設備	・ 自動閉鎖設備
構内情報通信網設備	・ ガス漏れ火災警報設備
構内交換設備	・ 電話配管設備
情報表示設備	・ 中央監視制御設備
映像、音響設備	・ 医療関係設備
拡声設備 (非常放送設備)	・ 昇降機設備
誘導支援、呼出し設備	

1.5 指定部分 ○ 無 有 (工期 : 令和 年 月 日)

1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)
建築工事特記仕様書による

1.7 建物概要
建築工事特記仕様書による

1.8 工事概要
建築工事特記仕様書による

1.9 同時期発注の関連工事 ※なし (ただし、工事対象エリアで施設管理委託受注者が作業を行う)

2 工事仕様

2.1 共通仕様

(1) この工事は特記仕様書、図面によるとか、春日部市電気設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁常総部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）、公共建築改修工事標準図（電気設備工事編）（最新版）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。

なお、市営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。

(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時ににおいて最新のものを適用する。

2.2 特記仕様 (特記事項の選択項目は、○印のついたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。)

項目	特記事項
① 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
② 施工条件	施工時間 建築工事特記仕様書による
③ 工事用電力・水	建築工事特記仕様書による
④ 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくことができる。
⑤ 足場・さんばし類	建築工事特記仕様書による ①本工事とする。
⑥ 監督員事務所	建築工事特記仕様書による
⑦ 保険	建築工事特記仕様書による
⑧ 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
⑨ 建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について ※ 適用する（契約金額による） ・ 適用しない
⑩ 完成図書の電子納品	建築工事特記仕様書による
⑪ 発生材処理	引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 (構外搬出処理費は、※本工事 ・ 別途) (1) 引渡しを要するもの () (2) 買取処分をするもの (銅屑・鉄屑) (3) 再生資源化を図るもの (蛍光管) 蛍光管等は再資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 (4) 特別管理産業廃棄物 () ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

⑫ 金属電線管の塗装	露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。 また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。 ただし、見えかき部の塗装については監督員の指示による。				
⑬ 鍵	盤等の鍵は、既存盤の鍵と整合を極力図るものとする。				
⑭ 地中電線路	(1) 管路等に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。 <table border="1"><thead><tr><th>敷き均し土</th><th>管種別</th></tr></thead><tbody><tr><td>良質土</td><td>硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (PEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)</td></tr></tbody></table>	敷き均し土	管種別	良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (PEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)
敷き均し土	管種別				
良質土	硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (PEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP)				
⑮ 回路の種別 行先の表示	(2) 地中電線路には、ケーブル埋設標及び標識シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の標識シートは図面特記による。				
⑯ 電線の接続	(3) 地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面（舗装する部分では路盤材下面）から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。				
⑰ 電線管の接続	ハンドホール、ブルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。				
⑱ 接地工事	湿度の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、压着接続し自己融着テープを巻き付けてから絶縁テープ巻きとする。 上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をてもよい。ただし、接続はボックス内とする。				
⑲ 建設発生土の処理	屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし法としてもよい。				
⑳ 再生砂・再生アスコン	漏電遮断機で保護されている電路と保護されていない電路のD種接地極が共用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色、緑／黄又は緑／赤色で区別する。				
㉑ 耐震施工	契約図書中の山砂の類、砂利、碎石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、・使用できる。※使用できない。 再生砂使用に先立ち、1購入あたり1体検の六倍クロム溶出試験を行い土壤の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。				
設計用標準水平震度					
設計用標準水平震度	設計用標準水平震度				
設置場所	機器種別	特定の施設	一般の施設		
		重要機器	一般機器		
上層階	機 器	2.0	1.5		
屋上及び塔屋	防振支持の機器	2.0	2.0		
	水槽類(※1)	2.0	1.5		
中間階	機 器	1.5	1.0		
	防振支持の機器	1.5	1.5		
	水槽類(※1)	1.5	1.0		
地下・1階	機 器	1.0	0.6		
	防振支持の機器	1.0	1.0		
	水槽類(※1)	1.5	1.0		
【備考】(※1) : 水槽類には、オイルタンク等を含む。					
重要機器					
・配電盤・発電装置(防災用)・直流電源装置・交流無停電電源装置					
・交換機・火災報知器受信機・中央監視装置・太陽光発電装置					
上層階の定義は次のとおり。					
2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合には上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。					
(2) 設計用水平地震力					
機器の重量 [kgf] に、設計用水平震度を乗じたものとする。					
なお、特記場合、設計用水平震度は、次による。					

㉒ 施工計画書	※施工に先立ち、次の施工計画書を提出し監督員の承認を受ける ※終了施工計画書（工程・品質・安全・環境配慮・仮設計画等を含む） ※工種別施工計画書 ○電力設備工事 ○受電設備工事 ・電力貯蔵設備工事 ・発電設備工事 ・通信、情報設備工事 ・中央監視制御設備工事 ・医療関係設備工事 ・昇降機設備工事 ※その他監督員が必要と認めるもの
㉓ アスベスト 事前調査結果の報告	全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。
㉔ その他	(1) 施工に先立ちて建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。 (2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。 (3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。 (4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者が負担とする。 (5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 (6) 改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行なう。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。 (7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。 (8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者が負担とする。 (9) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。 (10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。 以上のこと留意し、工程管理、安全管理に万全を期すこと。
㉕ 構内情報通信網設備	
㉖ 電力貯蔵設備	
㉗ 発電設備	・ ディーゼル発電装置 ・ ガスタービン発電装置 ・ マイクロガスタービン発電装置 ・ 燃料電池発電装置 ・ 熱供給(コージェネレーション)発電装置 ・ 太陽光発電装置 ・ 風力発電装置 ・ (概要)
㉘ 構内交換設備	
㉙ 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備 (非常放送設備)	
㉚ 昇降機設備	

名 称	測 点	取付高さ (mm)
スイッチ (一般)	床上～中心	1,300 1,200
" (身体障害者用)	"	1,100 1,000
" (人感センサー切換用)	"	2,000 2,000
コンセント、電話用カットレット、直列ユニット (一般)	"	300 400
" (和室)	"	150 200
" (台所)	台上～中心	150 500
防水型コンセント	床上～中心	500 500
分電盤、制御盤、開閉器箱	" (上端1,900以下)	1,500 (上端1,900以下)
呼出ボタン (身体障害者用)	"	900 900
復帰ボタン (")	"	1,800 1,800
廊下表示灯 (")	"	2,000 2,000
端子盤	" (上端1,900以下)	1,500 2,000

2.4 取付高さ

壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名 称	測 点	取付高さ (mm)
スイッチ (一般)	床上～中心	1,300 1,200
" (身体障害者用)	"	1,100 1,000
" (人感センサー切換用)	"	2,000 2,000
コンセント、電話用カットレット、直列ユニット (一般)	"	300 400
" (和室)	"	150 200
" (台所)	台上～中心	150 500
防水		

機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

1 工事名称	豊春小学校外7校避難所空調設備設置工事（八木崎小学校）				
2 工事場所	春日部市中央四丁目1番地				
3 工期	契約確定日から令和年月日				
現場施工期間	令和年月日から令和年月日				
4 建物概要	現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。				
建物名稱	構造	階数	延面積(m ²)	消防法施行令別表第一	備考
① 体育館	R C 造	1 階	826.0 (7)		
②					
③					
④					
⑤					

5 工事種目（●印を付いたものを適用する。）

建物別及び屋外工事種目	工事種別				
	①	②	③	④	⑤
● 空気調和設備	一式				
● 換気設備	一式				
○ 排煙設備					
● 自動制御設備	一式				
○ 衛生器具設備					
○ 給水設備					
○ 排水設備					
○ 給湯設備					
○ 消火設備					
○ 計算機器設備					
○ ガス設備					

6 指定部分

※無・有

対象部分：工期：令和年月日

7 専任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）

- 専任期間の初期
請負契約締結の日から、(○)現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間・令和年月日までの期間については、専任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 専任期間の終期
工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、専任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 専任期間中の中断
自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止している場合は、専任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

8 工事範囲 図示のとおり

9 機械設備工事概要

- 空調機を設置し、冷媒管及びドレン配管を施工。
- 有圧換気扇を設置し高所部分の熱気を排出する。
- 空調機への一次側電源は電気工事とし、室内機二次側電源及び制御配線は機械工事とする。
- カードリーダーによる課金システム制御は機械工事とする。
- 制御用配線に伴う図示の既存天井ボードの撤去新設（下地は既存再使用）は機械工事とする。
- 室外機基礎及びネットフェンスは建築工事とする。

10 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は春日部市電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は春日部市建築工事特別共通仕様書による。

11 同時期発注の関連工事

・建築工事・電気設備工事

II 工事仕様

1 共通仕様

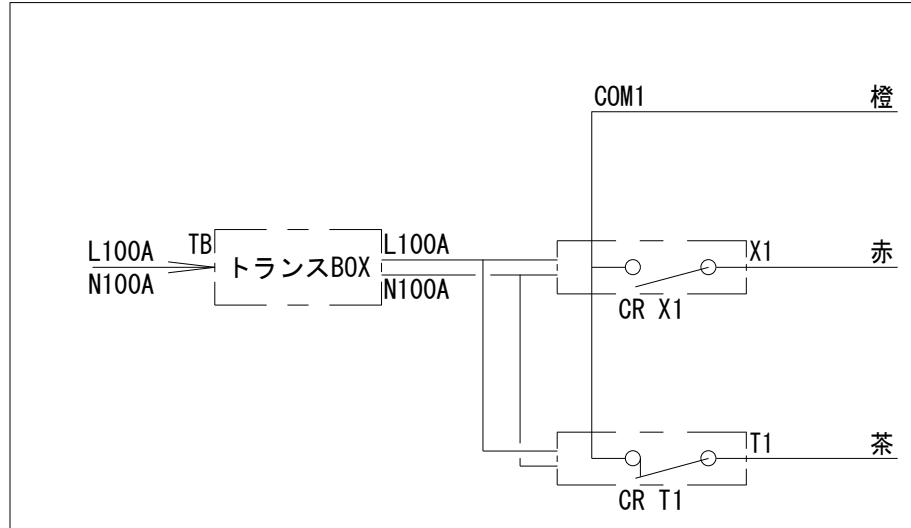
- この工事は特記仕様書、図面によるほか、春日部市機械設備工事特別共通仕様書（最新版）（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房内閣総務部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（最新版）、公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（最新版）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。
なお、市営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
- 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
- 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
- 特記仕様

 - 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
 - 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。
 - 印と※印の付いた場合は、共に適用する。

章	項目	特記事項	18 防露保温工事	標準仕様書第2編によるほか下記による。	22 はつり及びあと施工アンカーワーク
① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材等については、7A ¹ ト含有率の有無を確認し、7A ¹ トを含む機材は、使用しないこと。「国等による環境物質等の調達の推進に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準・配慮事項を満たすこと。調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。	施工時間 ※行政機関の休日にに関する法律（SG3第91号）に定める行政機関の休日以外。 上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。 ・配管施工（配管工事）・建築板金施工（風道制作及び取付け） ・熱絶縁施工（保溫工事）・冷凍空気調和機器施工（冷水空調機器の据付）	空気調和設備工事の保温の種別	ドレン管 屋内露出（一般居室、廊下） a1・(ハ)・Ⅷ 機械室、書庫、倉庫 b・(ハ)・Ⅷ 天井内、P S内及び空隙壁中 c2・(口)・Ⅷ 浴室、厨房等の多湿箇所 e3・(ハ)・Ⅷ (厨房の天井内は含まれない。) 蒸気管 屋内露出（一般居室、廊下） A1・(イ)・Ⅱ 機械室、書庫、倉庫 B・(イ)・Ⅱ 天井内、P S内及び空隙壁中 C2・(口)・Ⅱ 床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。） D・(口)・Ⅱ 屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） E3・(ハ)・Ⅱ 及び浴室、厨房内の多湿箇所 (厨房の天井内は含まれない。) 冷水・冷温水管（膨張管、空気抜き管、膨張タンクからボイラ等への補給水管を含む。） A1・(ハ)・Ⅲ 機械室、書庫、倉庫 B・(ハ)・Ⅲ 天井内、P S内及び空隙壁中 C1・(イ)・Ⅲ 床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。） D・(ハ)・Ⅲ 屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） E3・(ハ)・Ⅲ 及び浴室、厨房内の多湿箇所 (厨房の天井内は含まれない。) 温水管（膨張管を含む。） A1・(イ)・I 機械室、書庫、倉庫 B・(イ)・I 天井内、P S内及び空隙壁中 C2・(口)・I 床下、暗渠内（ビット内、共同溝を含む。） D・(口)・I 屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） E3・(イ)・I	既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開及び施工アンカーワーク設前、図面に明示した箇所についてX線撮影調査と実施すること。 電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。
2 電気保安技術者			23 管の埋設深さ	(1) 公道上は、道路管理者の指定する深さとする。 (2) 枠内車両通路では、路盤材下面から管の上端まで600mmとする。 (3) その他の場合では、地表面（舗装する部分では路盤材下面）から管の上端まで300mmとする。	
3 施工条件			24 既設管分岐・接続	既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。 やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。	
4 技能士の適用			25 絶縁維手の設置・種別	※コンクリートの建築物に入りする箇所の付近の露出部配管 ・銅管と銅管及びこれに類する部分 ※銅管とステンレス管及びこれに類する部分 ※50mm以下は絶縁ユニオンとし、それ以上は絶縁フランジ・全て絶縁フランジ	
⑤ 機材の検査及び試験、施工の検査及び試験	検査及び試験を行なうべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。 ※飲用に供する設備機材の据付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水质基準に関する省令」に基づく化学的・物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所・試験所又は認定の試験所（事前に監督員の承諾を得る）に依頼して行なうものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。 ただし、検査項目は（一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸塩窒素、④硝酸塩窒素及び亜硝酸塩窒素、⑤塩化物イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および⑫残留塩素の12項目とする。		26 天井仕上げ区分	() 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。	
6 指定部分	※無	・有	27 他工事との取扱い区分	スリープ、箱入れその他工事との取扱いは、工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期までに、必要な位置・大きさなどを明示し、監督員と打合わせる。	
7 専任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）			28 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に帰属するものとする。	
8 工事範囲	図示のとおり		29 保険	受注者は工事目的及び工事材料について工事完成日後14日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。	
9 機械設備工事概要			30 配管識別	受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写しを監督員に提出する。	
10 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は春日部市電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は春日部市建築工事特別共通仕様書による。			31 墜落制止用器具（フルハーネス型）	配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。	
11 同時期発注の関連工事			32 誘導電動機	※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドラインによる	
12 共通仕事項			33 施工計画書	・使用を要しない	
13 既存天井・盛土			34 完成図書の納品	三相誘導電動機はJIS C 4213（IE3）トップランナーモーターとする。	
14 再生砂・再生碎石・再生アスコン使用			35 その他	※施工に先立ち、次の施工計画書を提出し監督員の承認を受ける。 ※総合施工計画書（工程・品質・安全・環境配慮・仮設計画等を含む） ※工種別施工計画書 ・共通工事・空気調和設備工事・自動制御設備工事・給排水衛生設備工事 ・ガス設備工事・さく井設備工事・浄化槽設備工事・昇降機設備工事 ・機械式駐車場設備工事・医療ガス設備工事 ※その他監督員が必要とするもの	
15 容量等の表示			1 ① 共通事項	改修工事で特に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は本特記仕様書の一般共通事項による。	
16 配管			2 ② 改修部分の足場	本工事で単独に必要となる足場は、下記により設ける。 (1) 内部足場・脚立足場・枠組足場 (2) 外部足場・A種（組組足場）・B種・C種・D種・E種・F種	
17 耐震施工			3 ③ 既存部分養生・既存家具等養生	※足場の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。 また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。 市営住宅の完成図の提出部数は、A3二つ折り2部とする。	
18 防露保温工事			4 ④ 備品等の移動	工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。	
19 防凍保温			5 ⑤ 仮設間仕切り	工事着手時原設計図 縮小図 A3版以上の設計図はA3に縮小 ※要（部）・不要	
20 塗装			6 ⑥ 撤去後機材の扱い	改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場合は図示区分による。 (2) 撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有するものは、現場発生品として監督員に報告する。 それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処分し、マニフェストを監督員に提出する。	
21 電線			7 ⑦ 支持金物の再使用	(1) インサート金物・インサートの径毎に引張試験を行った場合は、再使用できる ※新品 (2) 形鋼支持金物等・再使用できる 新品	
22 はつり及びあと施工アンカーワーク			8 ⑧ あと施工アンカーワークの種別	金属拡張アンカーワークは接着系アンカーワークを使用するものとし、その使用については、監督員の承諾を受けるものとする。	
23 管の埋設深さ			9 フロン回収	冷媒管の撤去に当たっては、すべてのフロンガスを回収・下記の方法で処理する。 ※破壊ブランケット投入・フロン再生後引き渡し・未再生引き渡し 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づき処理すること。	
24 既設管分岐・接続			10 総合調整	・全体再調整 時改修部及び影響部のみ調整	
25 絶縁維手の設置・種別			11 既設基礎類の解体	建設機械は、原則として、排出ガス対策型・低騒音型・低振動型を使用すること。 現場内で使用する重機械は、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格のものを選定すること。 粉じんの飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適宜散水や粉じん発生源を覆うなど環境対策に配慮すること。	
26 天井仕上げ区分			12 アスベスト事前調査結果の報告	全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を建築物石綿含有建材調査者により実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告すること。	
27 他工事との取扱い区分					
28 施工図等の取扱い					
29 保険					

13 その他	(1) 図面上の縮尺は、JIS A1版とした縮尺とする。 (2) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。 (3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を與えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。 (4) F/F式温風暖房機の撤去・再取付・新規設置について F/F式温風暖房機の一時取外し、再取付・新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所屬する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの(一財)日本石油燃焼機器保証協会)が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。	(18) 空気源ヒートポンプ空調機 標準仕様書によるほか下記による。 (1) 压縮機原動機の制御方式 ※回転数制御・オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC (R410A、R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材は被覆鋼管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン認定推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。	12 擾音装置 13 その他 ・女子用トイレブースに設置する。(※本工事・別途工事) ・男子用トイレブースに設置する。(※本工事・別途工事) ・バリアフリートイレブースに設置する。(※本工事・別途工事) 衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具による。	2 洗面器等の排水管 3 溝水試験継手 4 樹の適用 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット・溝水試験用掃除口ソケット																				
① 設計温湿度	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">外 気</th> <th colspan="3">屋 内</th> </tr> <tr> <th>一 般 系 統</th> <th>高 压 系 統</th> <th>低 壓 系 統</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度 (DB)</td> <td>温度 (RH)</td> <td>温度 (DB)</td> <td>温度 (RH)</td> </tr> <tr> <td>夏 期 37.1°C</td> <td>47.1%</td> <td>28 °C</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬 期 0.5°C</td> <td>49.4%</td> <td>20 °C</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期温度50%とする。</p>	外 気	屋 内			一 般 系 統	高 压 系 統	低 壓 系 統	温度 (DB)	温度 (RH)	温度 (DB)	温度 (RH)	夏 期 37.1°C	47.1%	28 °C	%	冬 期 0.5°C	49.4%	20 °C	%	<p>● 排気設備 1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿箇所の排気ダクト 7 保 温 8 試運転調整 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p>	<p>○ 給水設備 1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿箇所の排気ダクト 7 保 温 8 試運転調整 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p>	<p>○ 排煙設備 1 ダ ク ト 2 排煙口の形式 3 排煙口手動開放装置 4 排煙風量測定 5 中央監視制御装置 6 構成・機能 7 電気計装用機材 8 計装制御 9 小便器用節水装置 10 バリアフリー対応 11 衛生器具付属水栓 12 自動水栓類の電源 13 暖房便座 14 大便器洗浄弁・洗浄用タンク 15 大便器耐火カバー 16 掃除流し 17 排水器具用ゴム継手 18 標 記 板 19 水せっけん入れ</p>	<p>○ 上水配管 1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿箇所の排気ダクト 7 保 温 8 試運転調整 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p> <p>○ 中水配管 1 ダ ク ト 2 排煙口の形式 3 排煙口手動開放装置 4 排煙風量測定 5 中央監視制御装置 6 構成・機能 7 電気計装用機材 8 計装制御 9 小便器用節水装置 10 バリアフリー対応 11 衛生器具付属水栓 12 自動水栓類の電源 13 暖房便座 14 大便器洗浄弁・洗浄用タンク 15 大便器耐火カバー 16 掃除流し 17 排水器具用ゴム継手 18 標 記 板 19 水せっけん入れ</p> <p>○ 下水配管 1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿箇所の排気ダクト 7 保 温 8 試運転調整 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p>
外 気	屋 内																							
	一 般 系 統	高 压 系 統	低 壓 系 統																					
温度 (DB)	温度 (RH)	温度 (DB)	温度 (RH)																					
夏 期 37.1°C	47.1%	28 °C	%																					
冬 期 0.5°C	49.4%	20 °C	%																					
● 空 気 調 和 設 备	<p>2 総合試運転調整 3 煙 道 4 煙 突 5 長方形ダクト 6 円形ダクト 7 風量測定口 8 チャンバー 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p>	<p>○ 給湯設備 1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿箇所の排気ダクト 7 保 温 8 試運転調整 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p>	<p>○ 消火設備 1 配管材料 2 絶縁フランジ 3 弁 類 4 ガス瞬間湯沸器 5 電気給湯器</p>	<p>○ 水道設備 1 配管材料 2 建物導入部配管 3 配管材料 4 ガス漏れ警報 5 液化石油ガスの供給権</p>	<p>○ 廉房設備 1 廉房機器の固定 2 シンク用水栓 3 安全装置の機能の適用</p>	<p>洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット・溝水試験用掃除口ソケット</p> <p>別付紙表による。</p>																		
18 その他	<p>1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿箇所の排気ダクト 7 保 温 8 試運転調整 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p>	<p>○ 上水配管 1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿箇所の排気ダクト 7 保 温 8 試運転調整 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p>	<p>○ 中水配管 1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿箇所の排気ダクト 7 保 温 8 試運転調整 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p>	<p>○ 下水配管 1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿箇所の排気ダクト 7 保 温 8 試運転調整 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p>	<p>○ 汽水設備 1 配管材料 2 建物導入部配管 3 配管材料 4 ガス漏れ警報 5 液化石油ガスの供給権</p>	<p>洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット・溝水試験用掃除口ソケット</p> <p>別付紙表による。</p>																		
19 その他	<p>1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿箇所の排気ダクト 7 保 温 8 試運転調整 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p>	<p>○ 上水配管 1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿箇所の排気ダクト 7 保 温 8 試運転調整 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p>	<p>○ 中水配管 1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿箇所の排気ダクト 7 保 温 8 試運転調整 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p>	<p>○ 下水配管 1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿箇所の排気ダクト 7 保 温 8 試運転調整 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p>	<p>○ 汽水設備 1 配管材料 2 建物導入部配管 3 配管材料 4 ガス漏れ警報 5 液化石油ガスの供給権</p>	<p>洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット・溝水試験用掃除口ソケット</p> <p>別付紙表による。</p>																		
20 その他	<p>1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿箇所の排気ダクト 7 保 温 8 試運転調整 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p>	<p>○ 上水配管 1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿箇所の排気ダクト 7 保 温 8 試運転調整 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p>	<p>○ 中水配管 1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿箇所の排気ダクト 7 保 温 8 試運転調整 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p>	<p>○ 下水配管 1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿箇所の排気ダクト 7 保 温 8 試運転調整 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p>	<p>○ 汽水設備 1 配管材料 2 建物導入部配管 3 配管材料 4 ガス漏れ警報 5 液化石油ガスの供給権</p>	<p>洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット・溝水試験用掃除口ソケット</p> <p>別付紙表による。</p>																		
21 その他	<p>1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿箇所の排気ダクト 7 保 温 8 試運転調整 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p>	<p>○ 上水配管 1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿箇所の排気ダクト 7 保 温 8 試運転調整 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p>	<p>○ 中水配管 1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿箇所の排気ダクト 7 保 温 8 試運転調整 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p>	<p>○ 下水配管 1 長方形ダクト 2 円形ダクト 3 風量測定口 4 チャンバー 5 ダンパー 6 多湿箇所の排気ダクト 7 保 温 8 試運転調整 9 吹出口及び吸込口 ポックス 10 ダンパー 11 配管材料 12 弁 類 13 溫 度 計 14 圧 力 計 15 暫間流量計 16 油面制御装置 17 冷却塔</p>	<p>○ 汽水設備 1 配管材料 2 建物導入部配管 3 配管材料 4 ガス</p>																			

リレー盤（システム工事）



(電気工事)

空調用動力盤
P-1

1φ-3C 200V
(電気工事)

ELCB
2P 10AA
ダウントラス
Tr
200V/100V
A100
C100

[動作]

カードタイマー接点 オンディレータイマー接点	状態	手元リモコンからの操作	
		運転/停止操作	その他設定(温度/風速など)
ON OFF(数秒遅れ)	タイマー制御/運転開始→ リモコン制御	許可 (オンディレータイマー接点OFF後)	許可
OFF ON	タイマー制御/停止	禁止	停止

停止ボタンを押してもカードタイマーのカウントは停止しない。

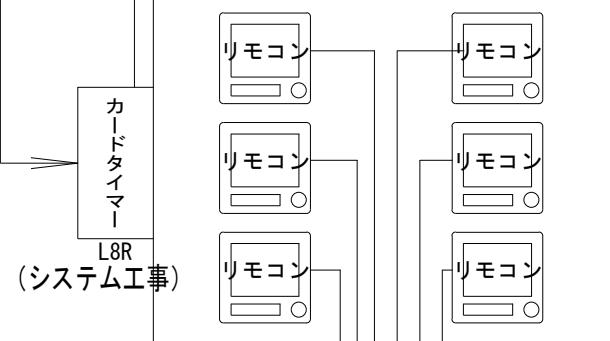
(機械工事)

(機械工事)

1φ AC100V
EM-CE2.0-2C × 空調機台数
L100A
N100A

(機械工事)

空調機操作盤（システム工事）

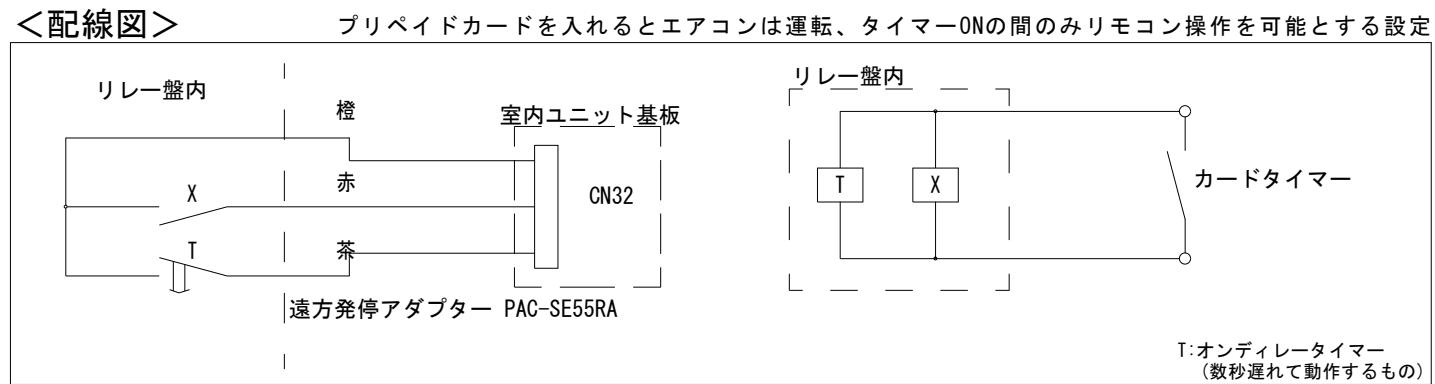


カードタイマー用カード
管理用カード 2枚
プリペイドカード 3,000枚

カウント当りの時間設定は担当者
と協議により決定する。

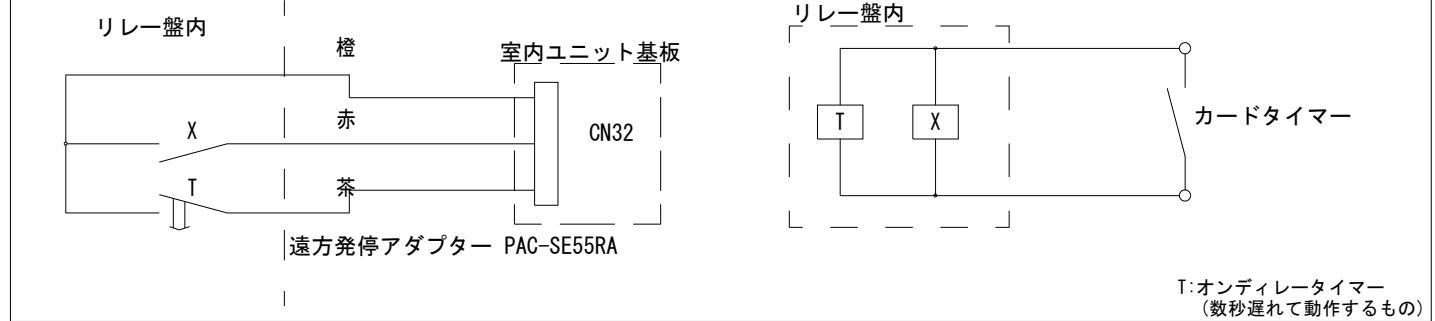
カードの納品は本工事に含まれる。

<配線図>

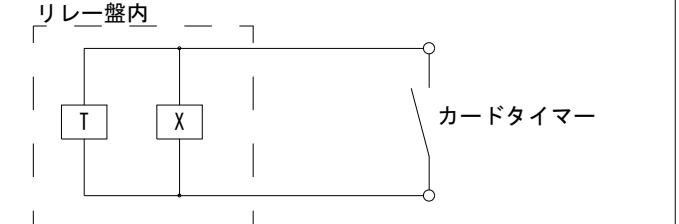


プリペイドカードを入れるとエアコンは運転、タイマーONの間のみリモコン操作を可能とする設定

T: オンディレータイマー
(数秒遅れて動作するもの)



リレー盤内 橙 室内ユニット基板 CN32 遠方発停アダプター PAC-SE55RA

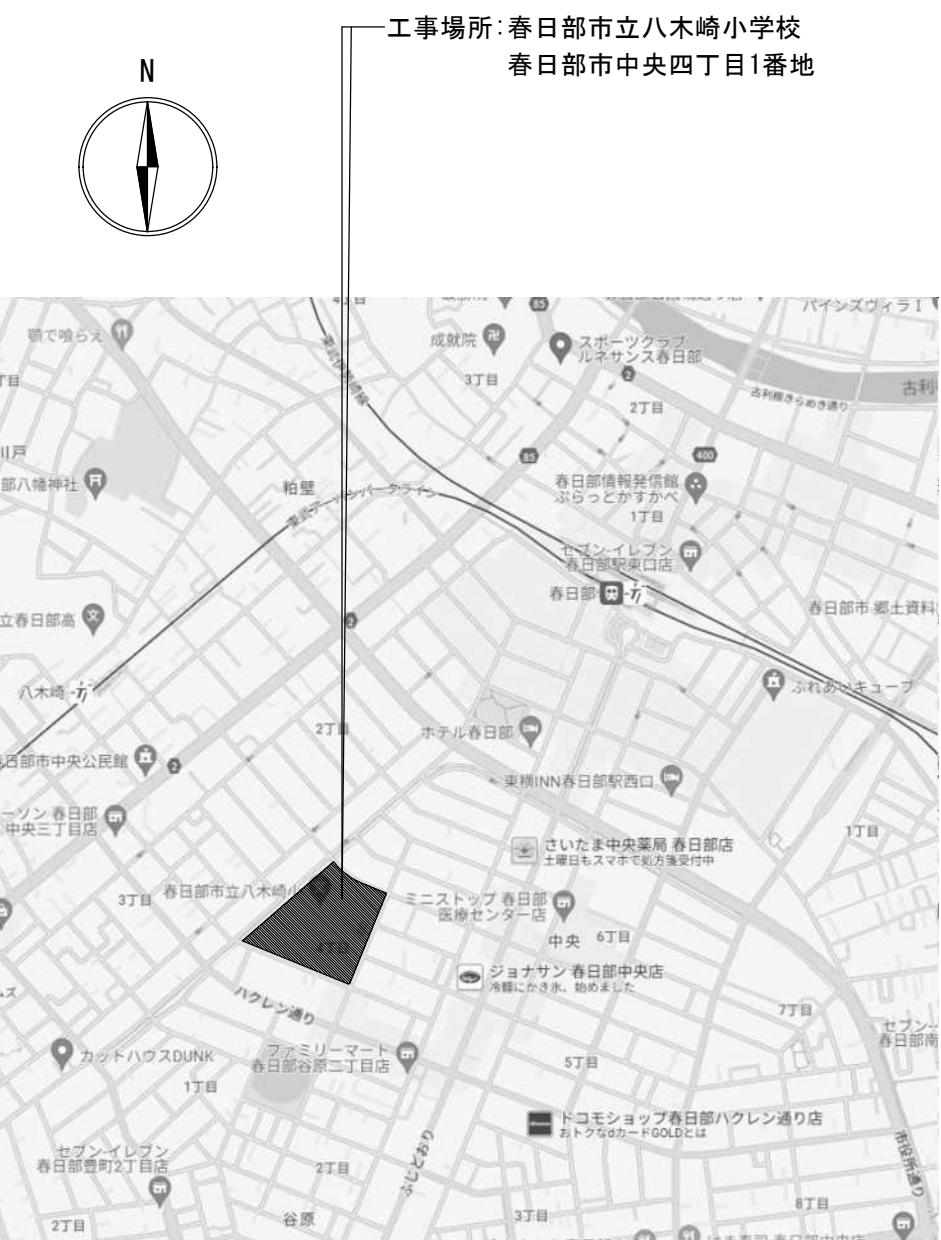


T: オンディレータイマー
(数秒遅れて動作するもの)

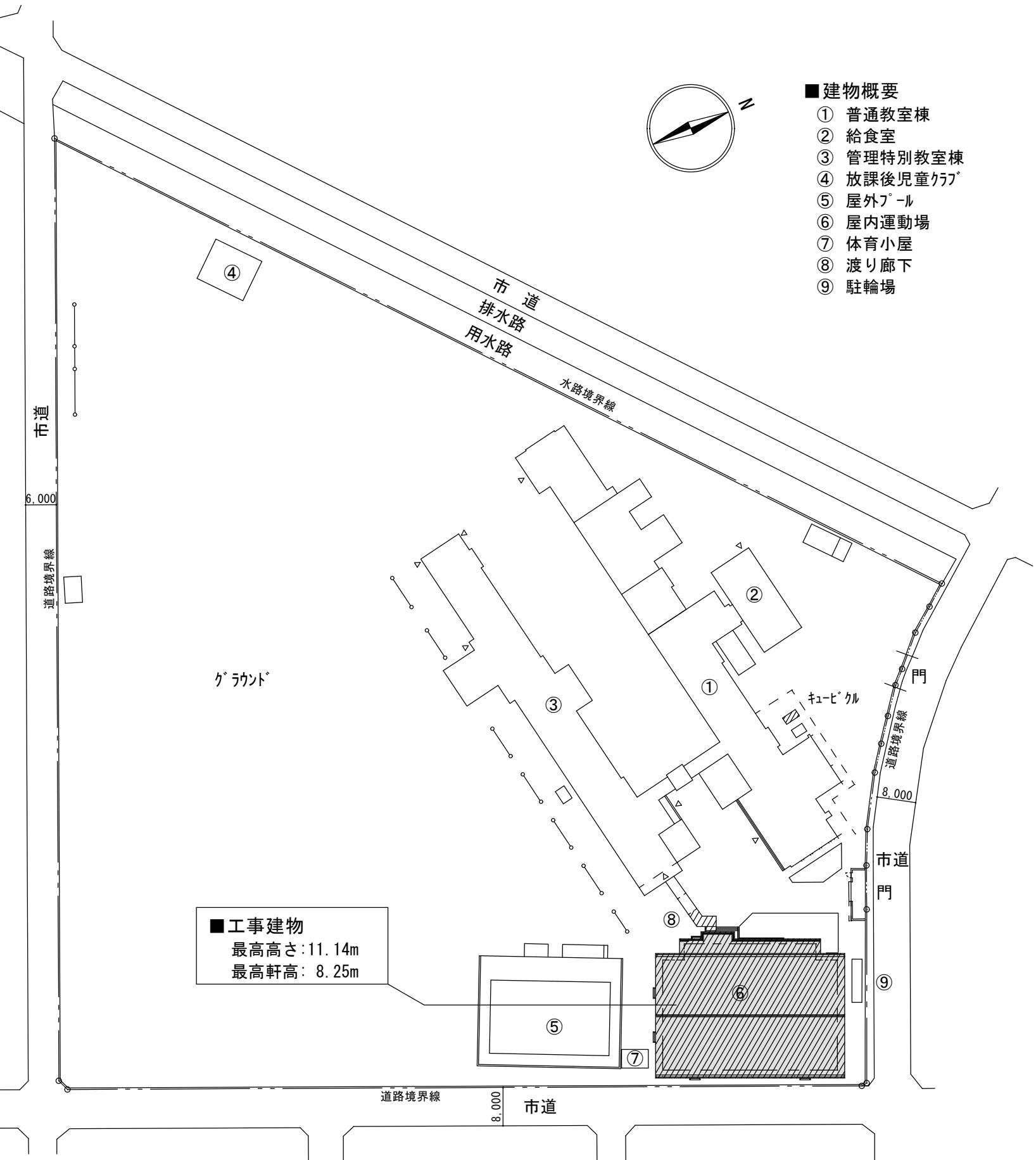
リレー盤内 カードタイマー

T: オンディレータイマー
(数秒遅れて動作するもの)

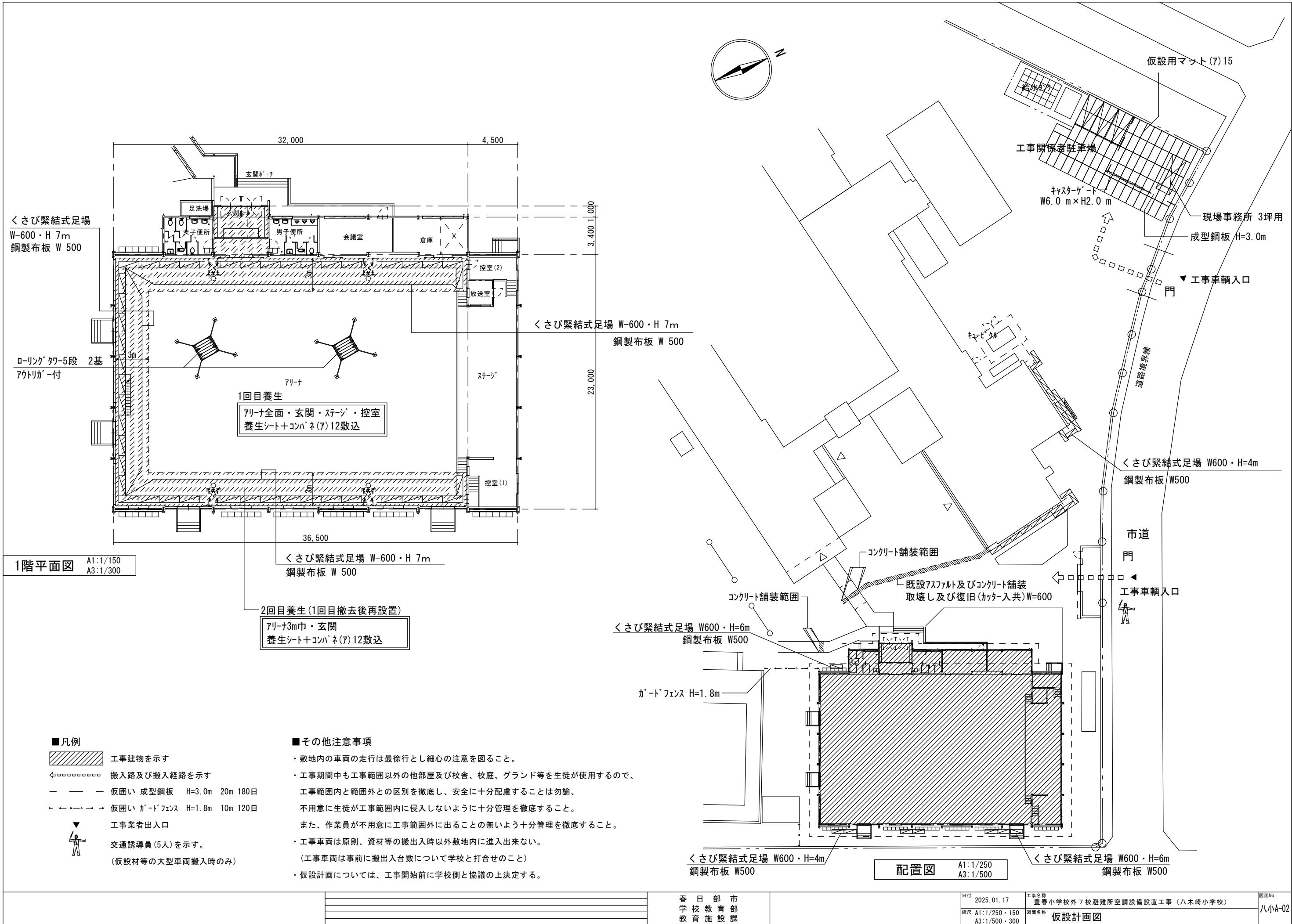
※系統図は空調機 6 台設置の場合であり、リレー盤の台数は空調機と同じ台数を設置する。



案内図



春日部市立八木崎小学校	春日部市教育委員会	日付 2025.01.17	工事名称 豊春小学校外7校避難所空調設備設置工事(八木崎小学校)	図面No. 八小A-01
		縮尺 A1:1/500 A3:1/1000	図面名称 案内図・配置図	

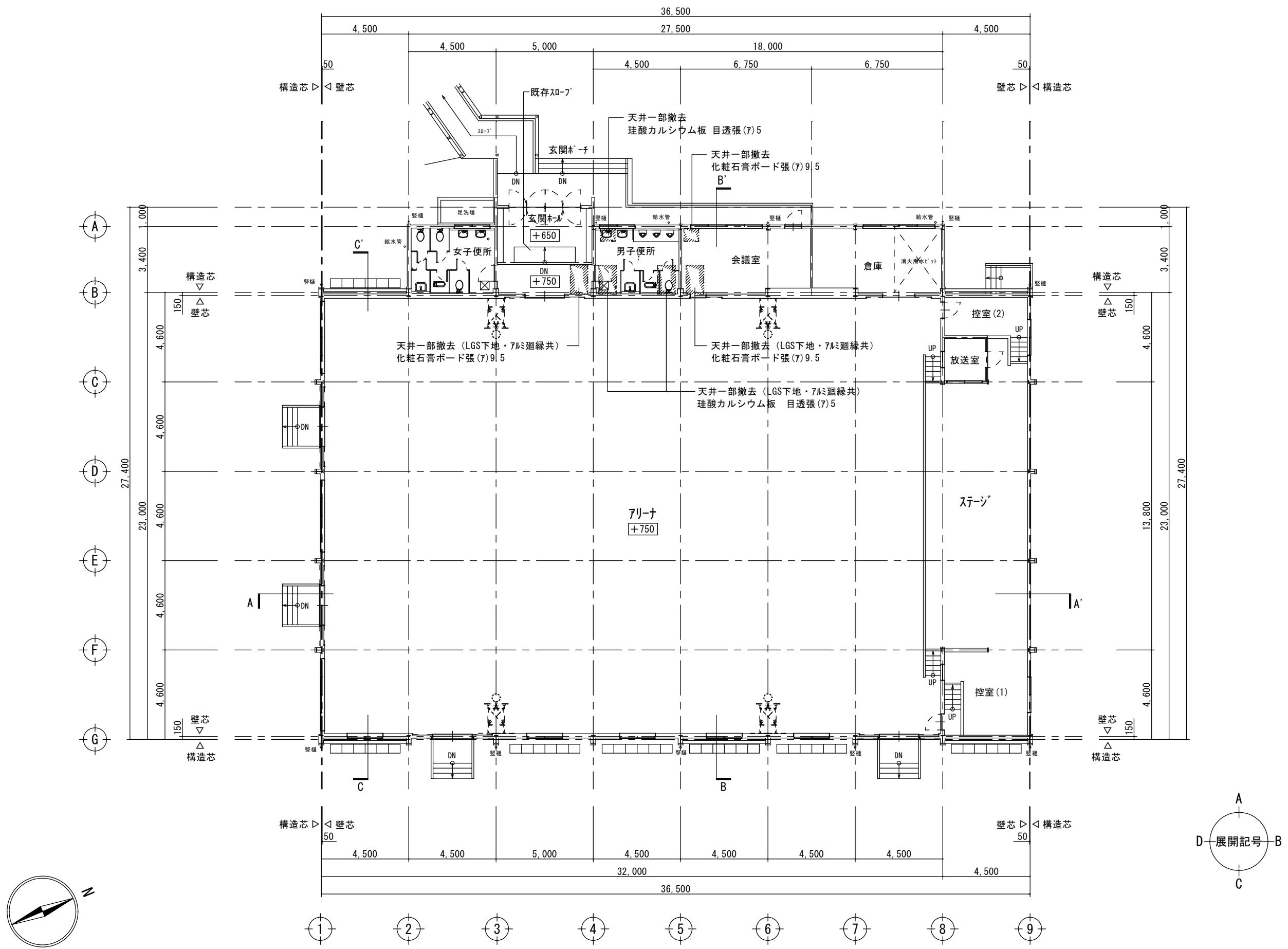


外部仕上表 ※渡り廊下については詳細図参照。

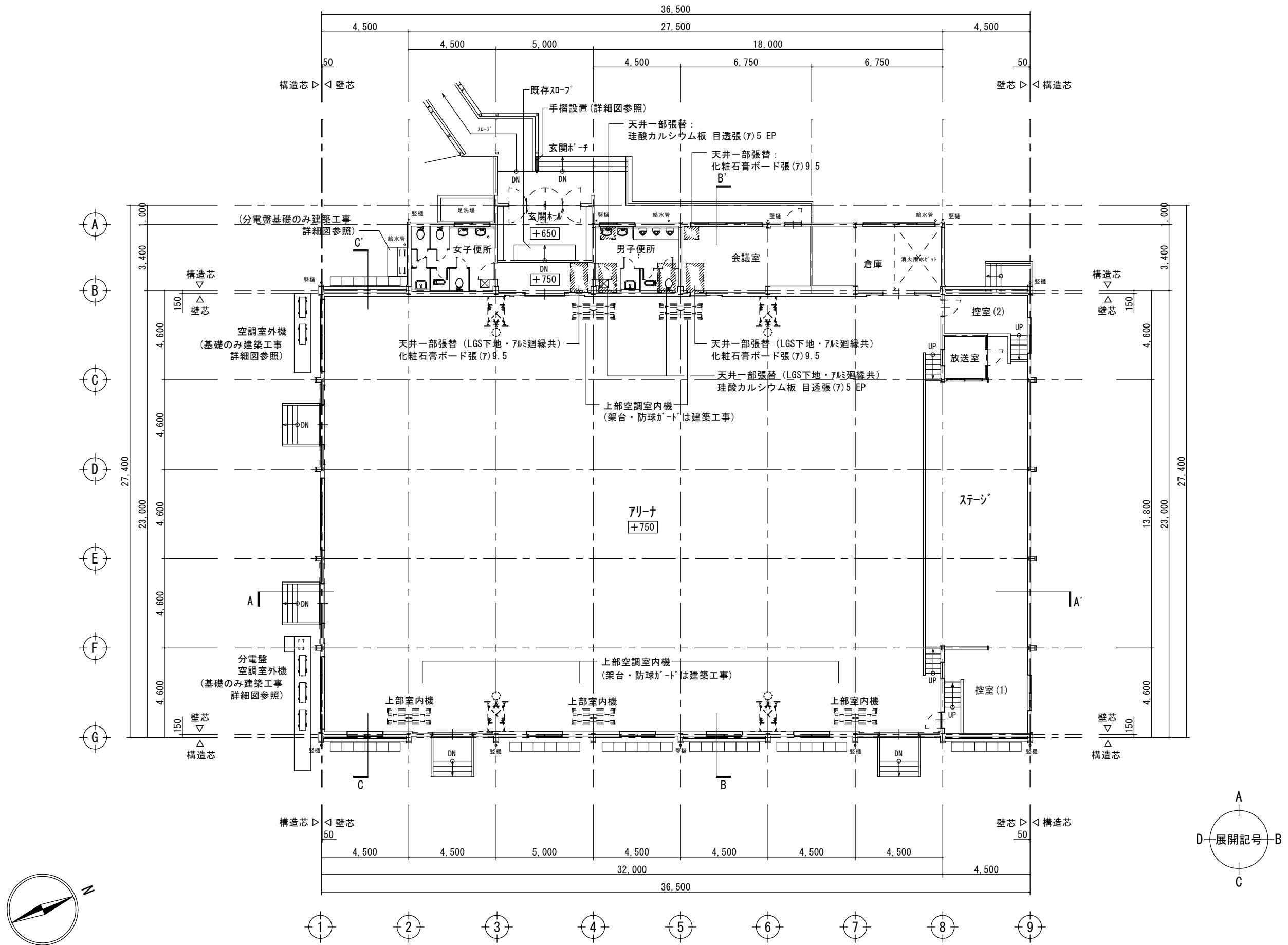
部位	仕上	備考
屋根 【既存】	カラーグル鋼板(7)0.47 ゴムアスファルト複合塗膜防水 0.4kg/m ² 高反射トップ仕上、	
外壁 【既存】	石膏ボード(7)15下地 透湿防水シート張、鉄板サディング(7)15張、プライマー塗の上、外壁用遮熱塗装塗/耐風染・フレースSOP	
【改修後】	(一部撤去部分) 石膏ボード(7)15下地 透湿防水シート張、ガルバリウム鋼板加工W400×H800、周囲シール打ち	
根巾木 【既存】	モルタル金鑑	
軒裏 【既存】	フレキシブルボード(7)4 目透張 EP LGS25形@300	
鋼製建具 【既存】	アルミサッシ/スチールドア SOP/カラード SOP	
箱樋 【既存】	カラーグル鋼板(7)0.4	
豎樋 【既存】	VP管75Φ・100Φ・養生管:カーブ製 120Φ・150Φ	
棟木 【既存】	長尺カラーフレット ゴムアスファルト複合塗膜防水 0.4kg/m ² 高反射トップ仕上	
笠木 【既存】	カラーグル鋼板(7)0.4	
幕板 【既存】	カラーグル鋼板(7)0.4	
見切 【既存】	カラーグル鋼板(7)0.4 40×20	
雨押え 【既存】	カラーグル鋼板(7)0.4	
床下換気口 【既存】	スチール製 420×165 SOP	

内部仕上表

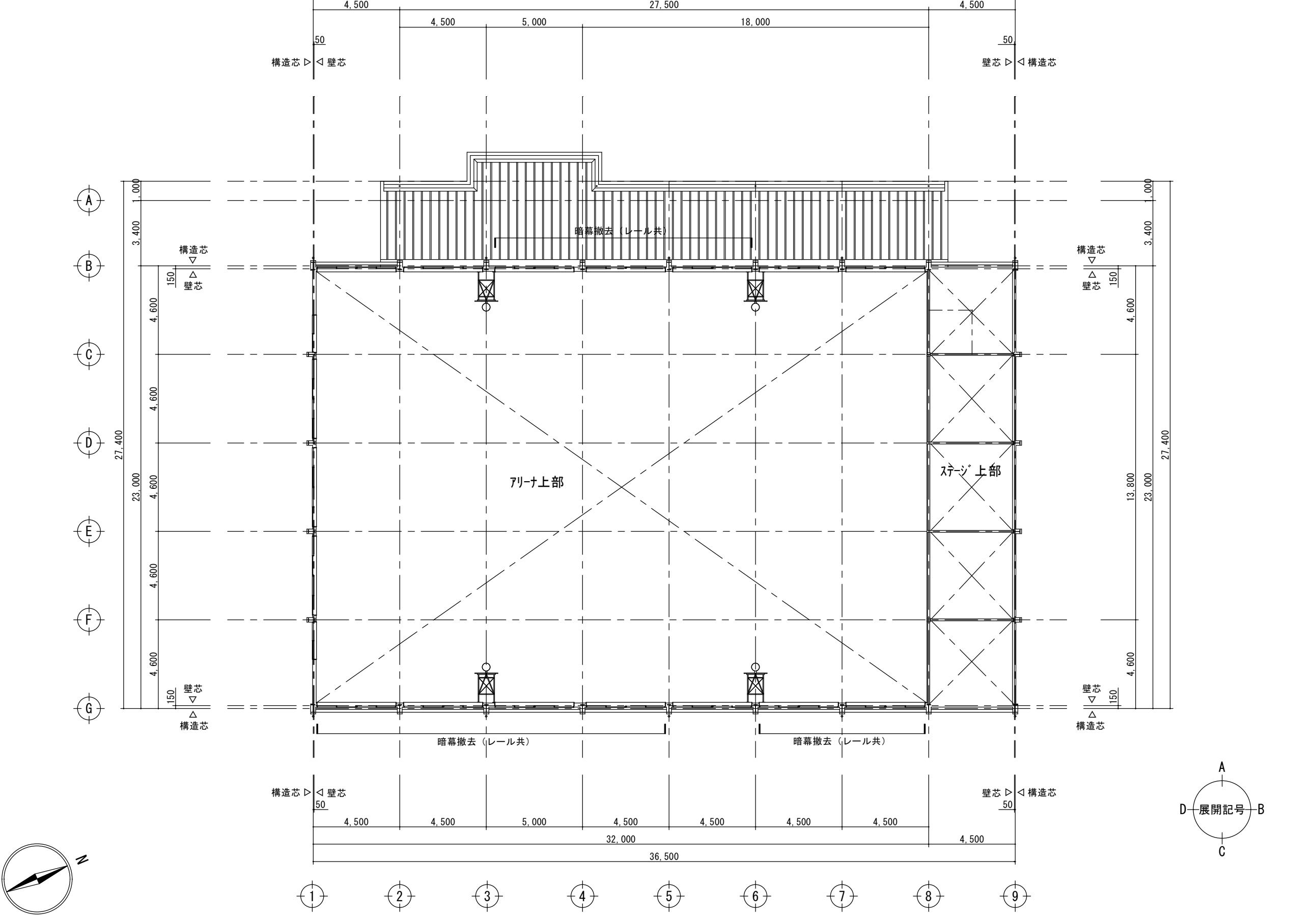
階	室名	床	巾木	壁	天井	廻縁	天井高	備考
1階	体育室 【既存】	フローリング張(7)25 下地 杉板斜張(7)18	ラウンOS H=100 一部杉OS H=100	ラウン合板張(7)6 OS、ラウン合板張(7)12 OS 下地 松30×40@450 (一部撤去部分) ラウン合板張(7)12 OS 下地 松30×40@450	木毛板(7)25 現し			カーテンボックス OS
	【改修後】							
	ステージ 【既存】	フローリング張(7)25 下地 杉板斜張(7)18	ラウンOS H=100 一部杉OS H=100	ラウン合板張(7)6 OS、石膏ボード(7)12.5+ケイカル板(7)6 EP 下地 LGS65形@450				
	控室(1) 【既存】	フローリング張(7)25 下地 杉板斜張(7)18		リブラス+モルタル金鑑(7)30 VP、PB(7)12.5+ケイカル板(7)6 EP 下地 LGS65形@450	化粧石膏ボード張(7)9.5 下地 LGS19型@300	塩ビ	3,000	
	控室(2) 【既存】	ビニル床シート貼(7)2.5	モルタル金鑑VP H=100 一部ビニル巾木 H=100	リブラス+モルタル金鑑(7)30 VP、PB(7)12.5+ケイカル板(7)6 EP 下地 LGS65形@450	化粧石膏ボード張(7)9.5 下地 LGS19型@300	塩ビ	4,100	
	放送室 【既存】	フローリング張(7)25	木製 H=100	ラウン合板張	ロッカーレバーホール吸音板張(7)9 下地 PB(7)9.5	塩ビ	2,500	
	倉庫 【既存】	モルタル金鑑	モルタル金鑑VP H=100 一部ビニル巾木 H=100	リブラス+モルタル金鑑(7)30 VP、PB(7)12.5+ケイカル板(7)6 EP 下地 LGS65形@450	化粧石膏ボード張(7)9.5 下地 LGS19型@300	塩ビ	2,700	
	会議室 【既存】	ビニル床シート貼(7)2.5	ラウンOS H=100 一部杉OS H=100	リブラス+モルタル金鑑(7)30 VP、PB(7)12.5+ケイカル板(7)6 EP 下地 LGS65形@450、構造用合板(7)12+PB(7)12.5 EP 下地 LGS65形@450	化粧石膏ボード張(7)9.5 下地 LGS19型@300	塩ビ	2,700	
	【改修後】				(一部撤去部分) 化粧石膏ボード張(7)9.5 下地 LGS19型@300	塩ビ	2,700	
	玄関ホール 【既存】	100角磁器質タイル貼、Pタイル貼	ラウンSOP H=100	化粧硬質セメント板(7)5 接着ジョイント工法	化粧石膏ボード張(7)9.5 下地 LGS19型@300	塩ビ	2,700	
	【改修後】				(一部撤去部分) 化粧石膏ボード張(7)9.5 下地 LGS19型@300	塩ビ	2,700	
	男子便所 【既存】	ビニル床シート貼(7)2.5	ビニル巾木 H=100	下地調整の上 化粧硬質セメント板(7)5 接着ジョイント工法 腰壁共	珪酸カルシウム板 目透張(7)5 EP 下地 LGS19形@300	塩ビ	2,500	ライング 天端: ホストフォーム用マラミン化粧合板 7 20
	【改修後】				(一部撤去部分) 硅酸カルシウム板 目透張(7)5 EP 下地 LGS19形@300	塩ビ	2,500	
	女子便所 【既存】	ビニル床シート貼(7)2.5	ビニル巾木 H=100	下地調整の上 化粧硬質セメント板(7)5 接着ジョイント工法 腰壁共	珪酸カルシウム板 目透張(7)5 EP 下地 LGS19形@300	塩ビ	2,500	ライング 天端: ホストフォーム用マラミン化粧合板 7 20



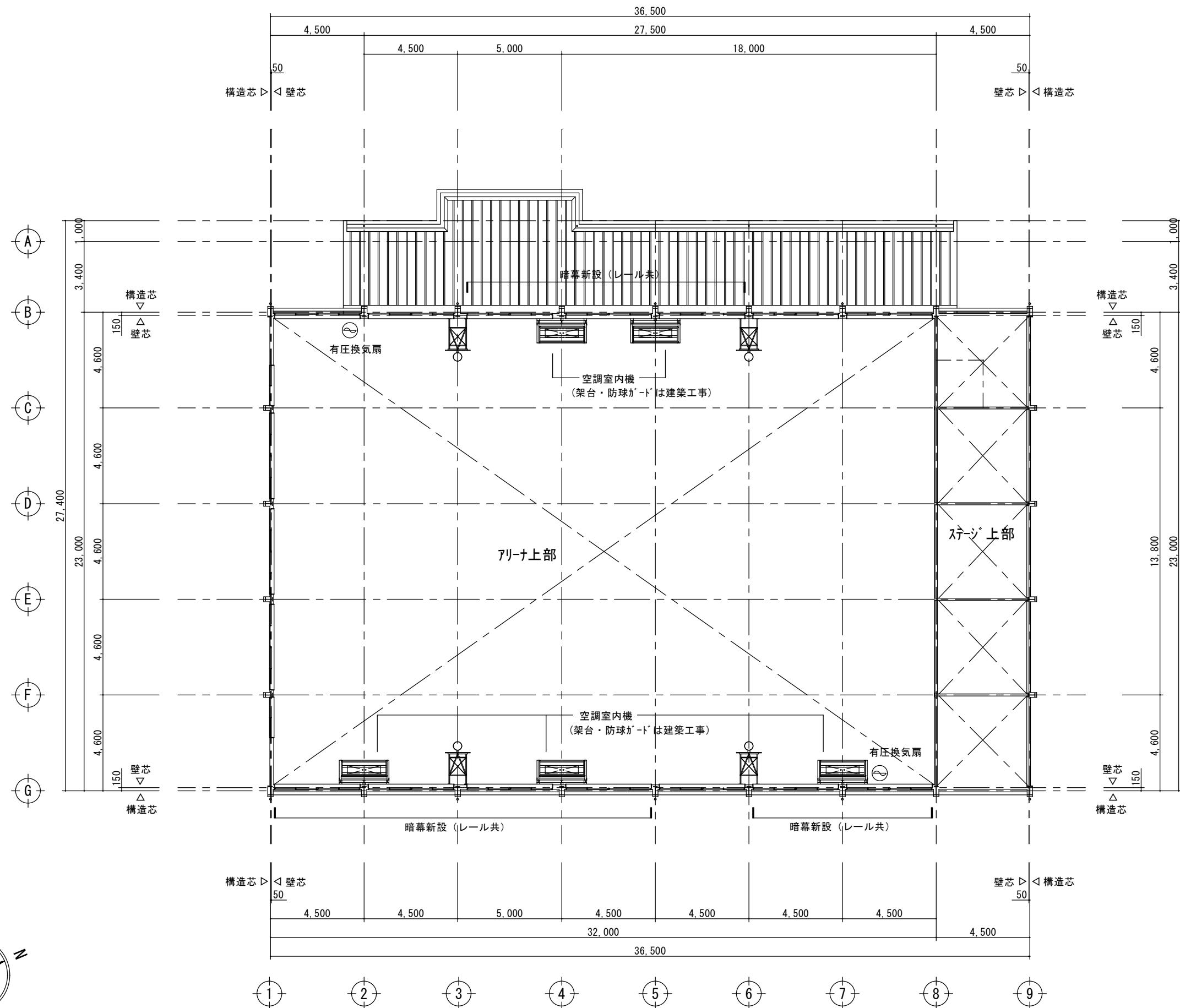
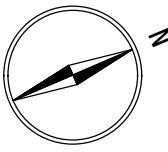
平面図 A1:1/100
A3:1/200



平面図 A1:1/100
A3:1/200



アリーナ上部平面図
A1:1/100
A3:1/200



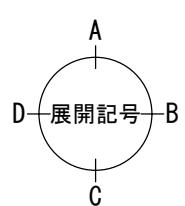
アリーナ上部平面図 A1:1/100
A3:1/200

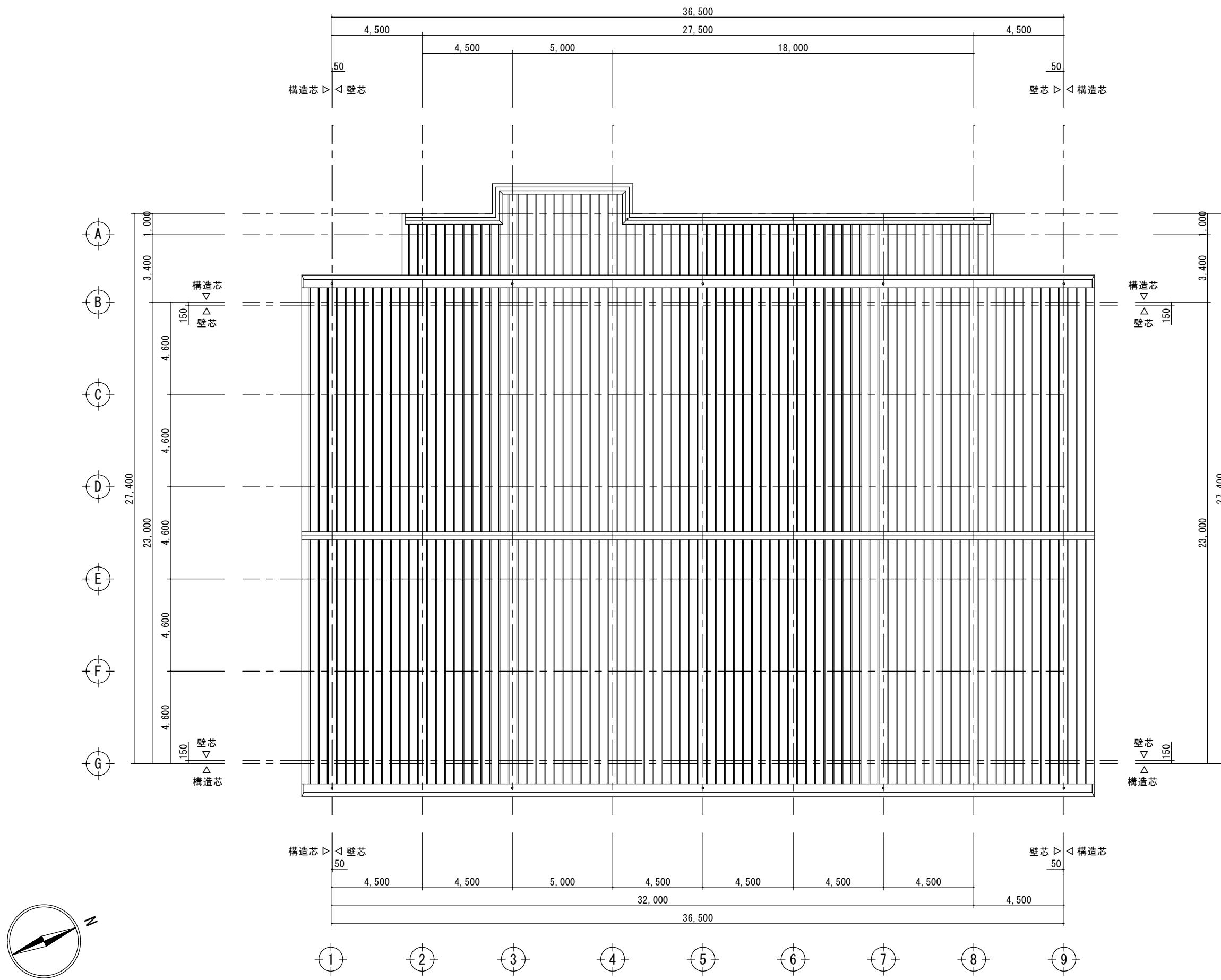
(架台・防球ガードは建築工事)

備考
・架台等がバスケコートラインにかかる場合、ライン引き直しの上ウレタン塗装。

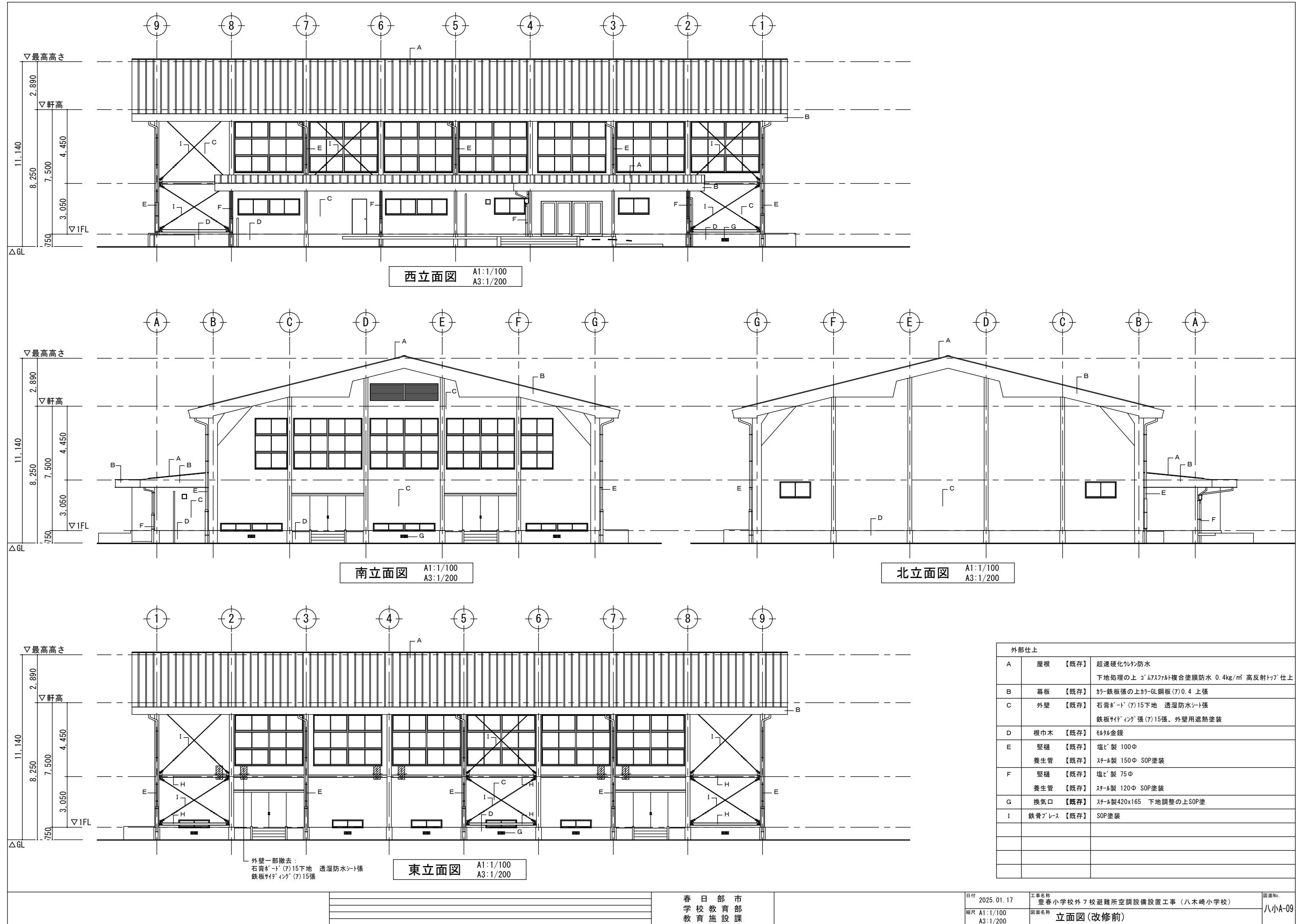
春日市
学校教育部
教育施設課

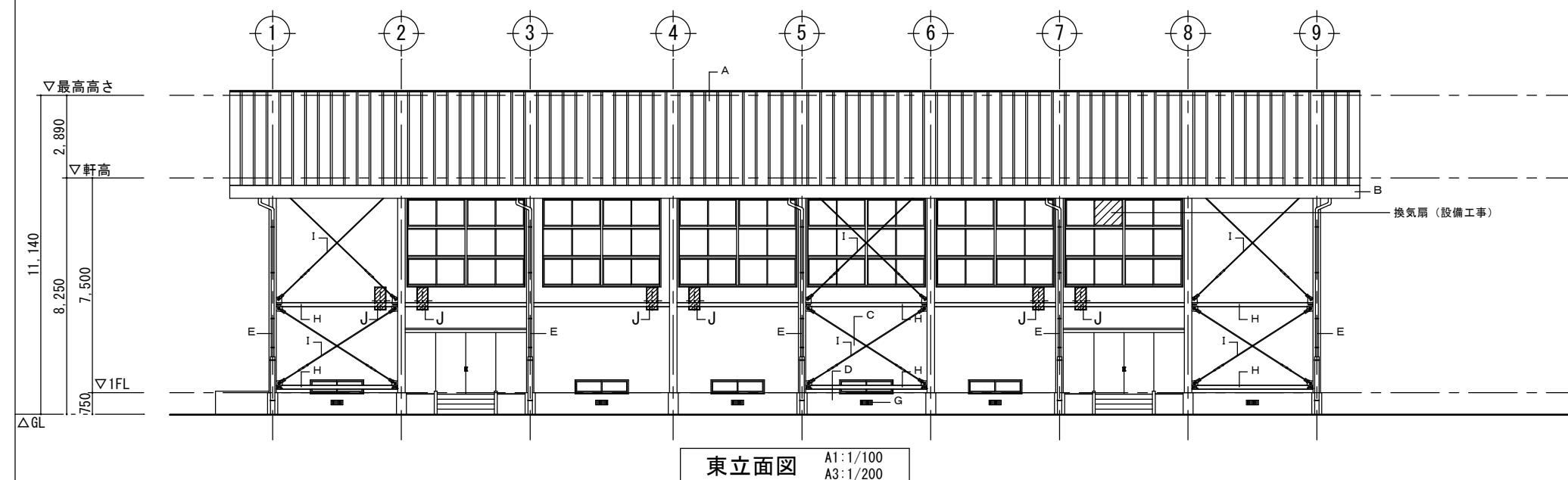
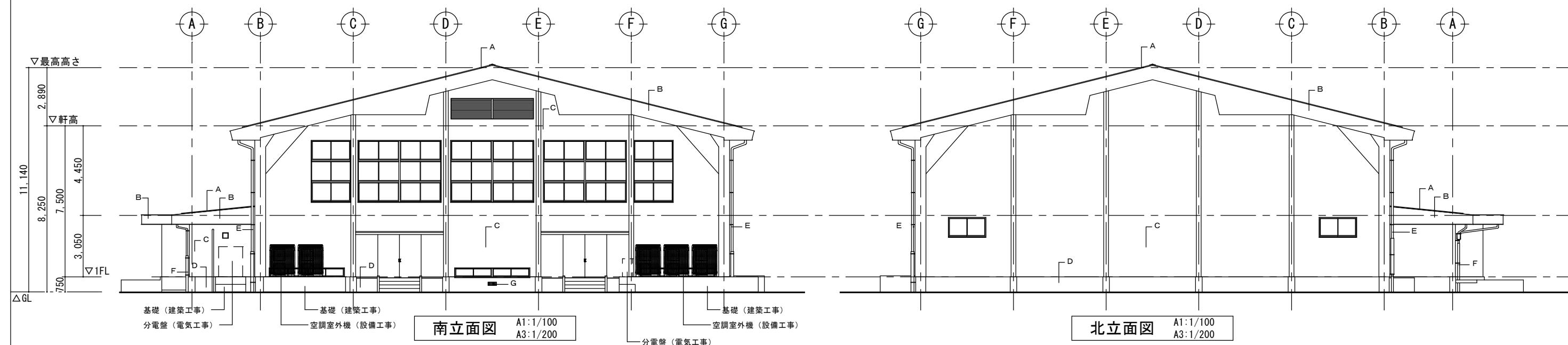
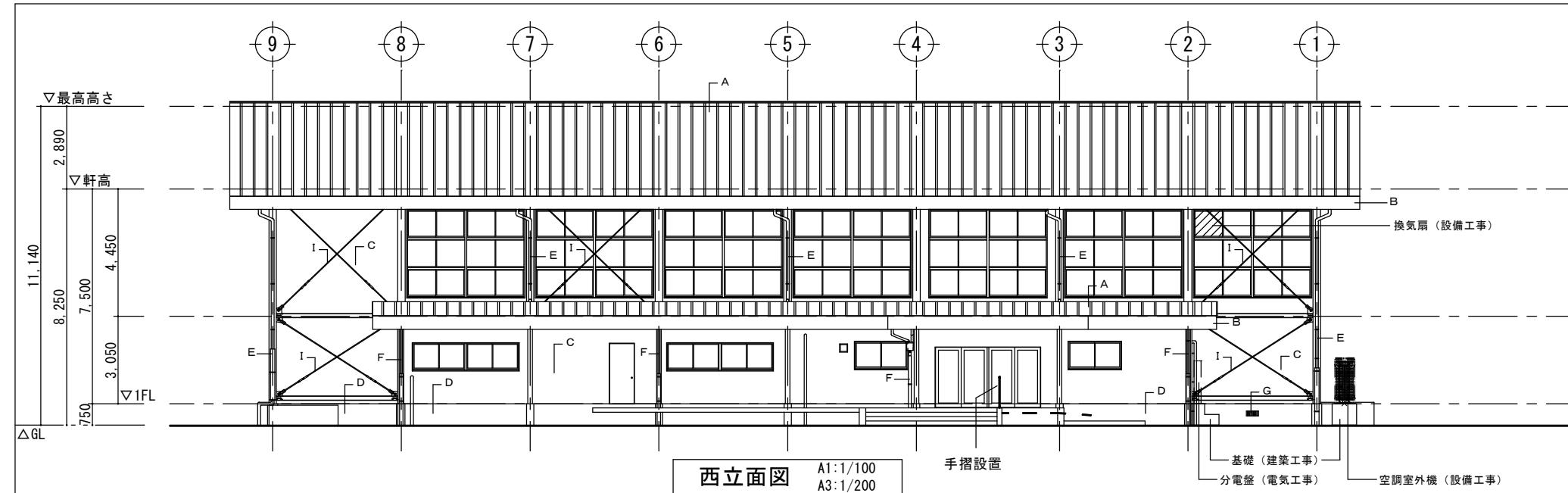
日付 2025.01.17 工事名称 豊春小学校外7校避難所空調設備設置工事(八木崎小学校)
縮尺 A1:1/100 図面名称 アリーナ上部平面図(改修後)
A3:1/200



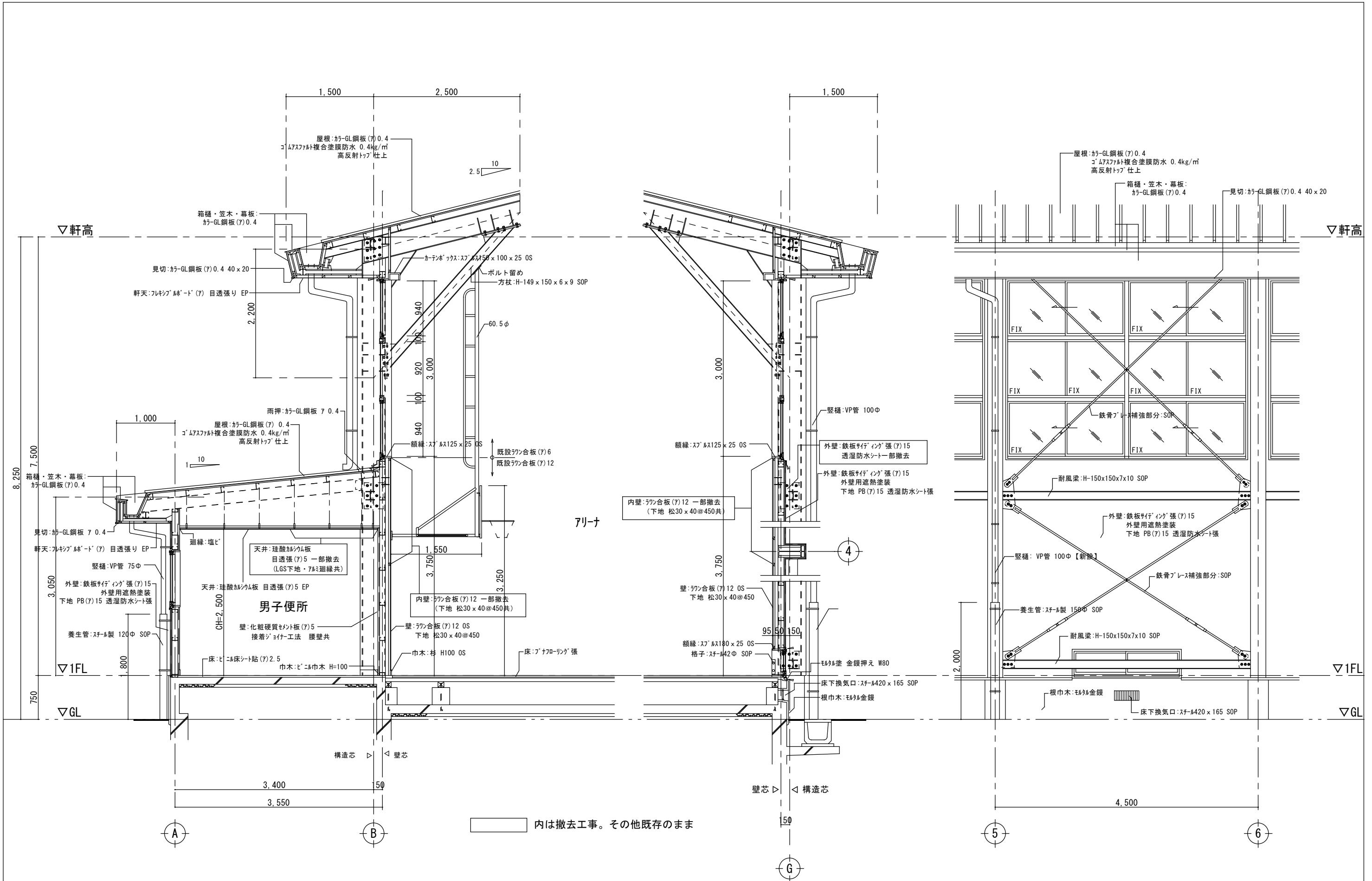


屋根伏図 A1:1/100
A3:1/200



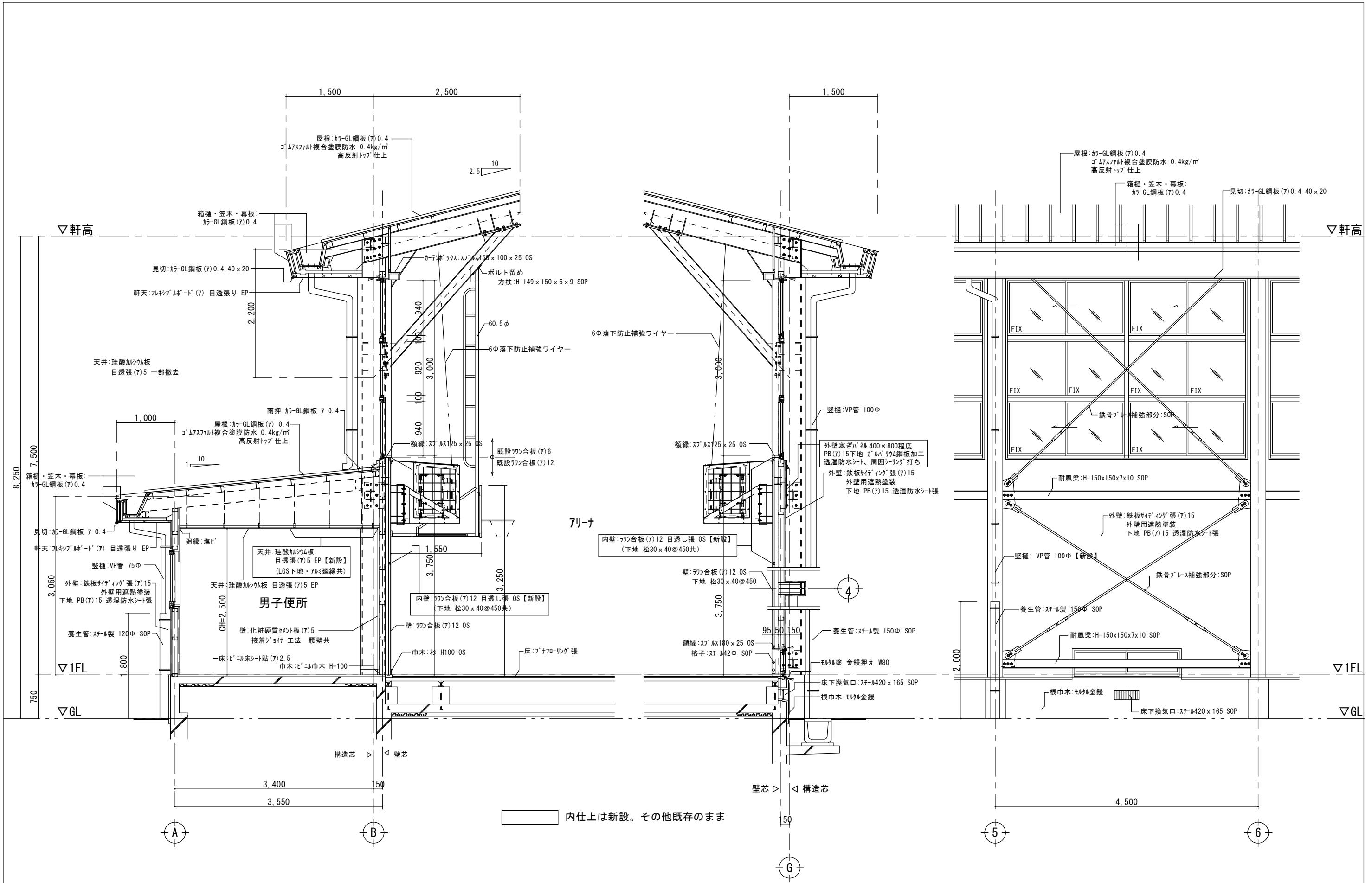


外部仕上 ※増設部は詳細図による。		
A	屋根 【既存】	超速硬化ケレン防水 下地処理の上 ゴムアスファルト複合塗膜防水 0.4kg/m ² 高反射トップ仕上
B	幕板 【既存】	かく-鉄板張の上かく-GL鋼板(7)0.4 上張
C	外壁 【既存】	石膏ボード(7)15下地 透湿防水シート張 鉄板サイン インク 張(7)15張、外壁用遮熱塗装
D	根巾木 【既存】	モルタル金鑄
E	堅樋 【既存】	塩ビ製 100Φ
	養生管 【既存】	ステール製 150Φ SOP塗装
F	堅樋 【既存】	塩ビ製 75Φ
	養生管 【既存】	ステール製 120Φ SOP塗装
G	換気口 【既存】	ステール製420×165 下地調整の上SOP塗
I	鉄骨ブレース 【既存】	SOP塗装
J	外壁 【改修後】	石膏ボード(7)15下地 透湿防水シート張 ガルバニズム鋼板加工400×800程度、周囲シール打ち



春日市立学校教育施設課

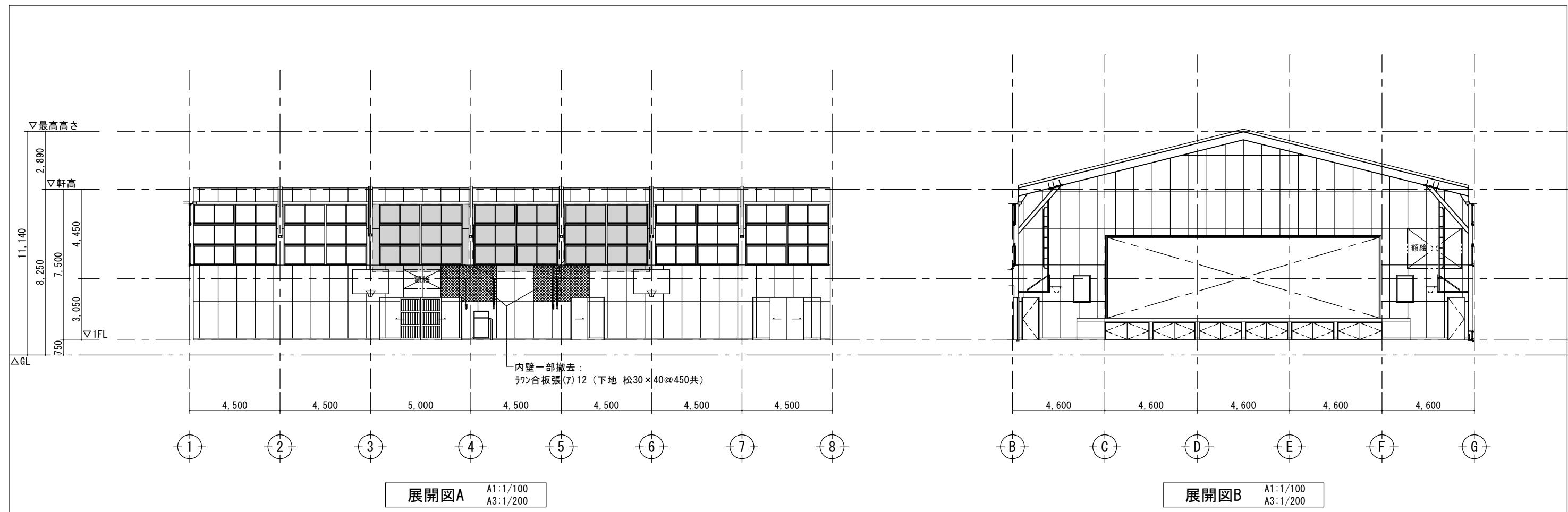
日付 2025.01.17	工事名称 豊春小学校外7校避難所空調設備設置工事(八木崎小学校)	図面No. 八小A-11
縮尺 A1:1/30 A3:1/60	図面名称 矩計図(改修前)	



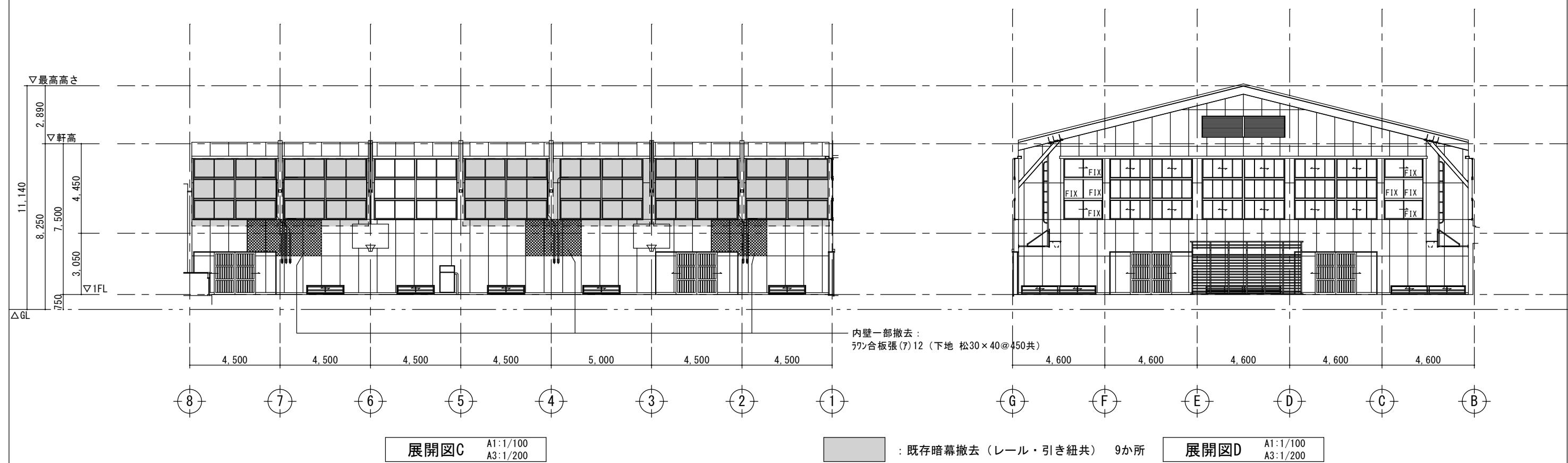
矩計図 A1:1/30
A3:1/60

矩計図 A1:1/30
A3:1/60

矩計図 A1:1/30
A3:1/60



※内部仕上は全て既存のまとまる。

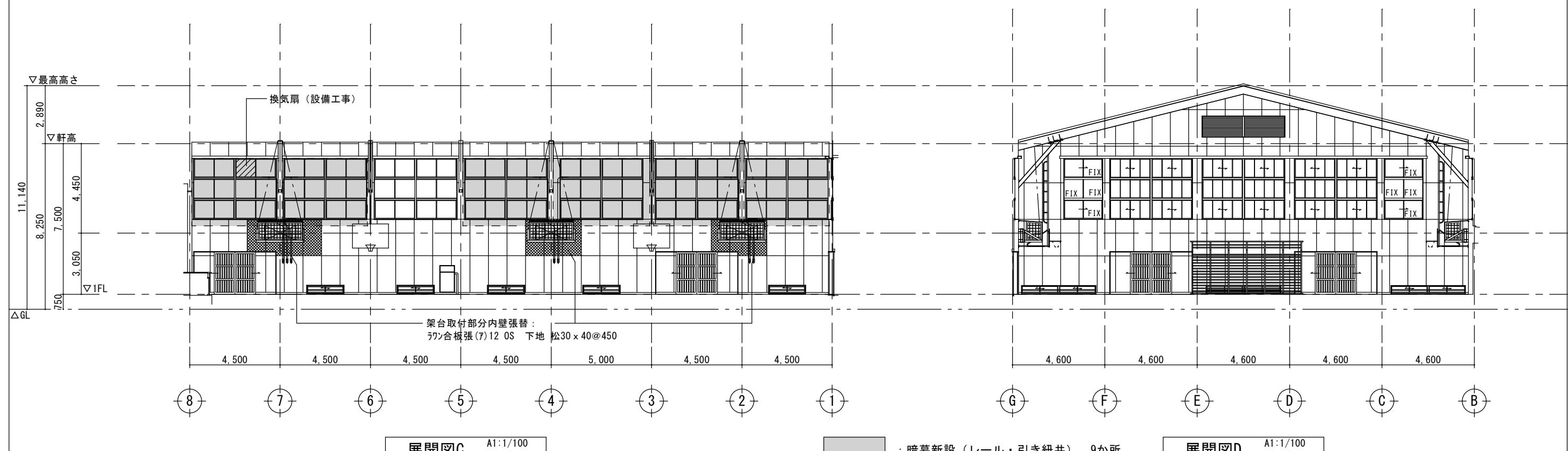


※オペレーター (11か所) : 取り外し

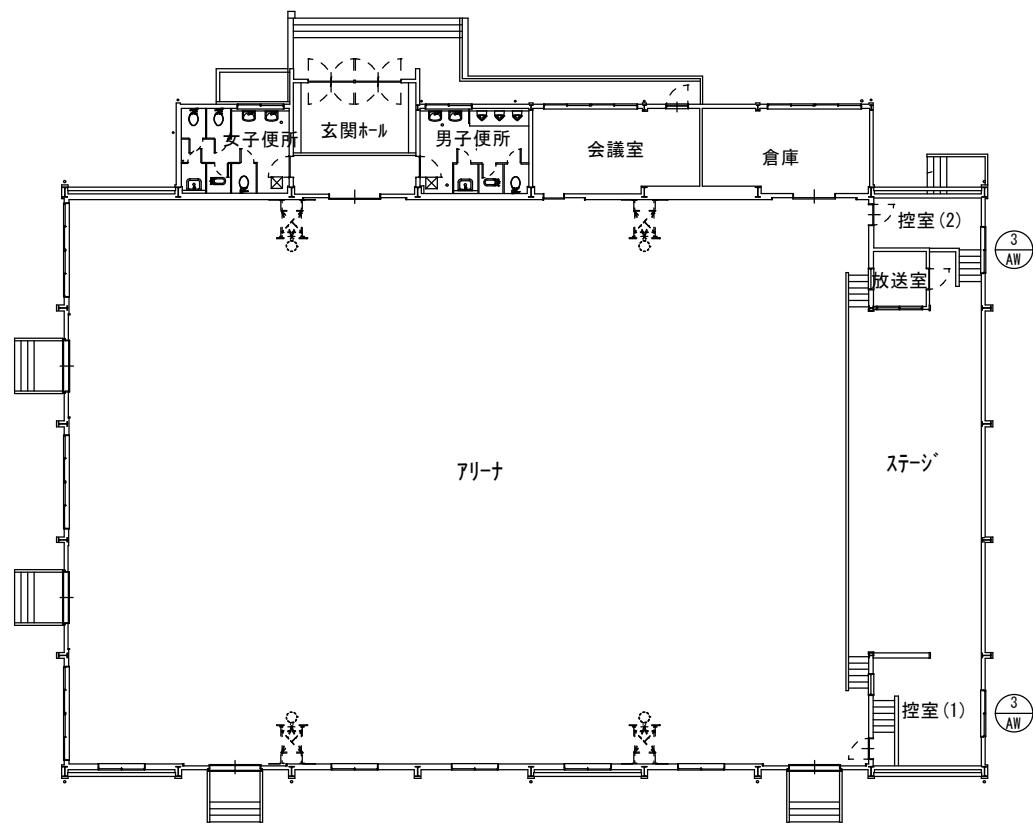
春日部市 学校教育部 教育施設課	日付 2025.01.17 工事名称 豊春小学校外7校避難所空調設備設置工事 (八木崎小学校) 縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面No. 八小A-13 図面名称 展開図 (改修前)
------------------------	---	--------------------------------



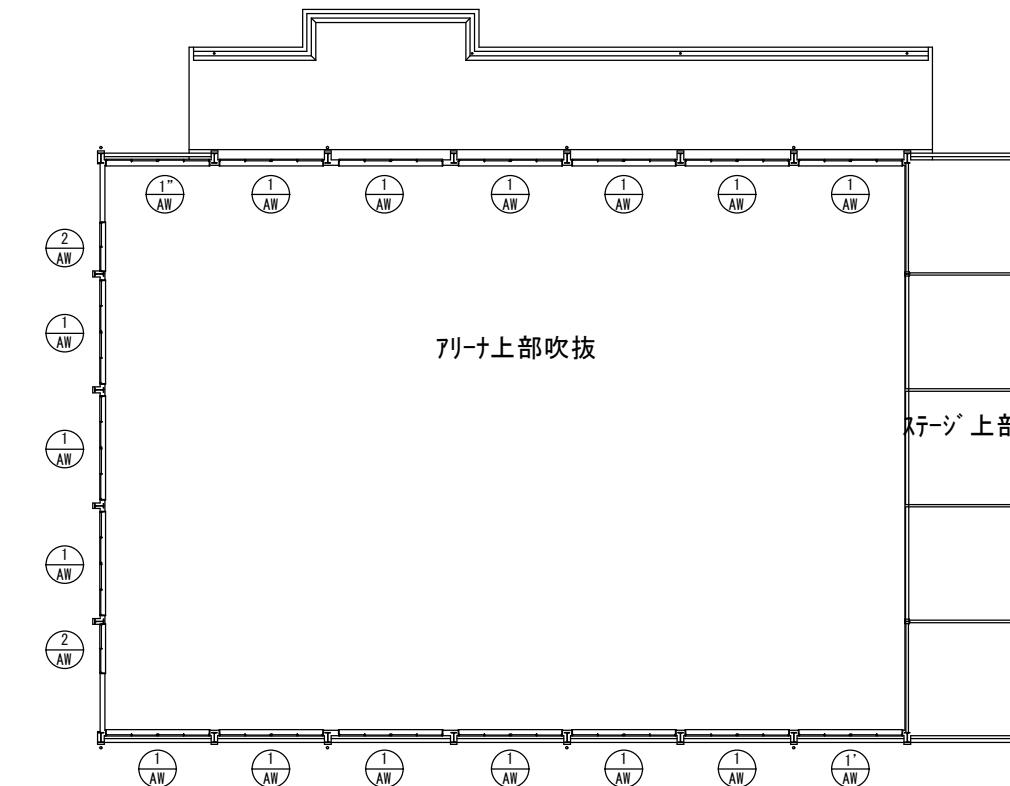
※内部仕上は全て既存のまます。



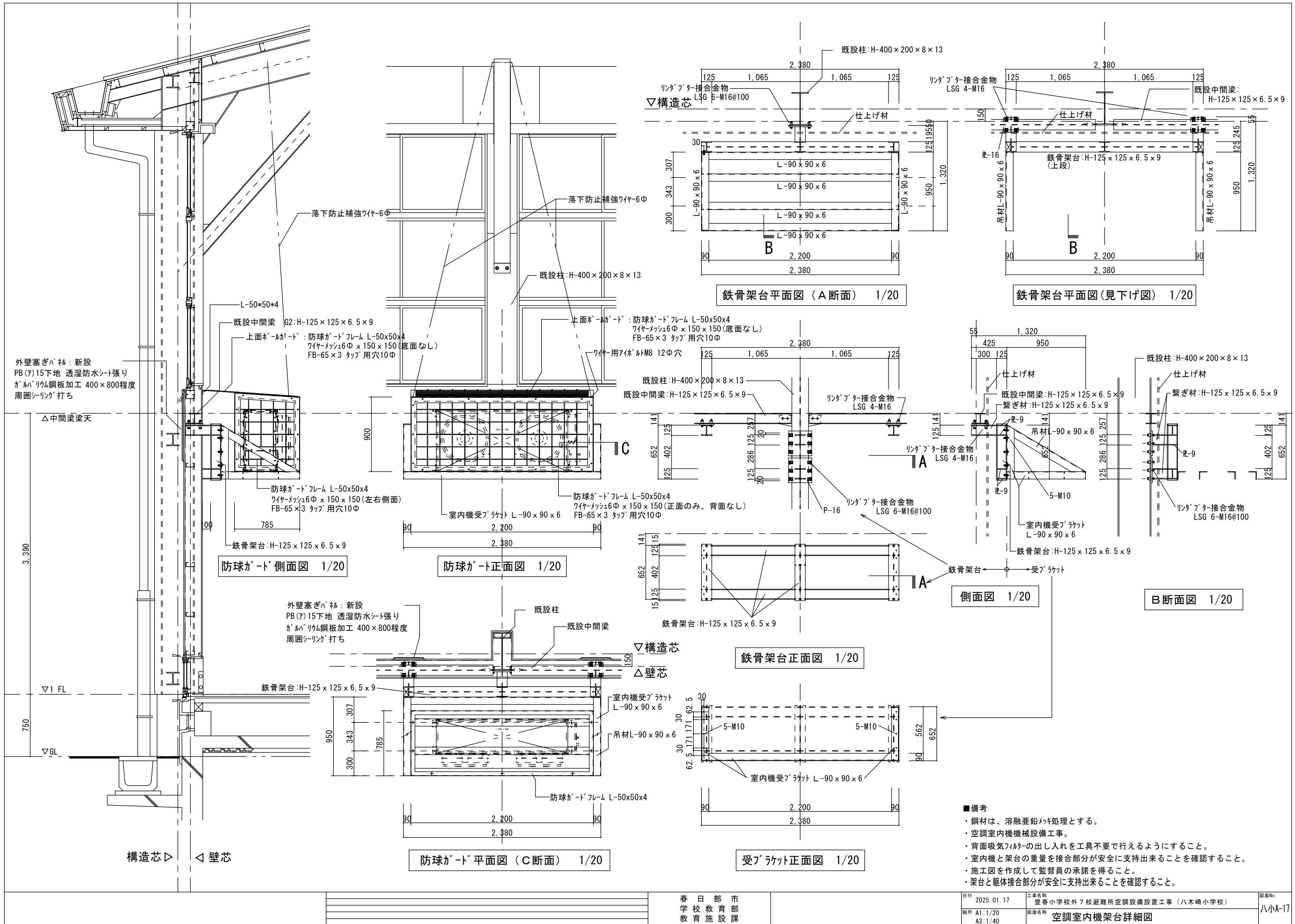
春日部市 学校教育部 教育施設課	日付 2025.01.17 工事名称 豊春小学校外7校避難所空調設備設置工事(八木崎小学校) 縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面No. 八小A-14 図面名称 展開図(改修後)
------------------------	--	-------------------------------

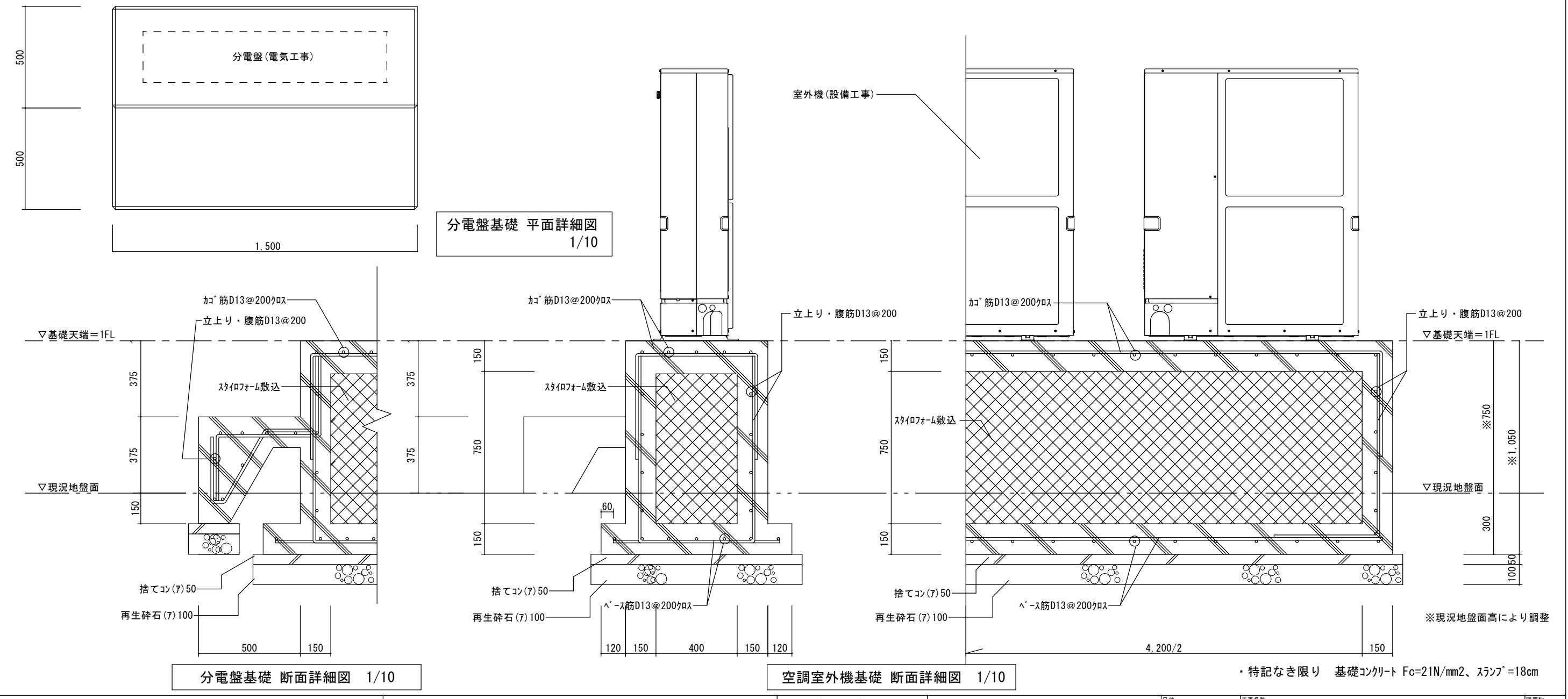
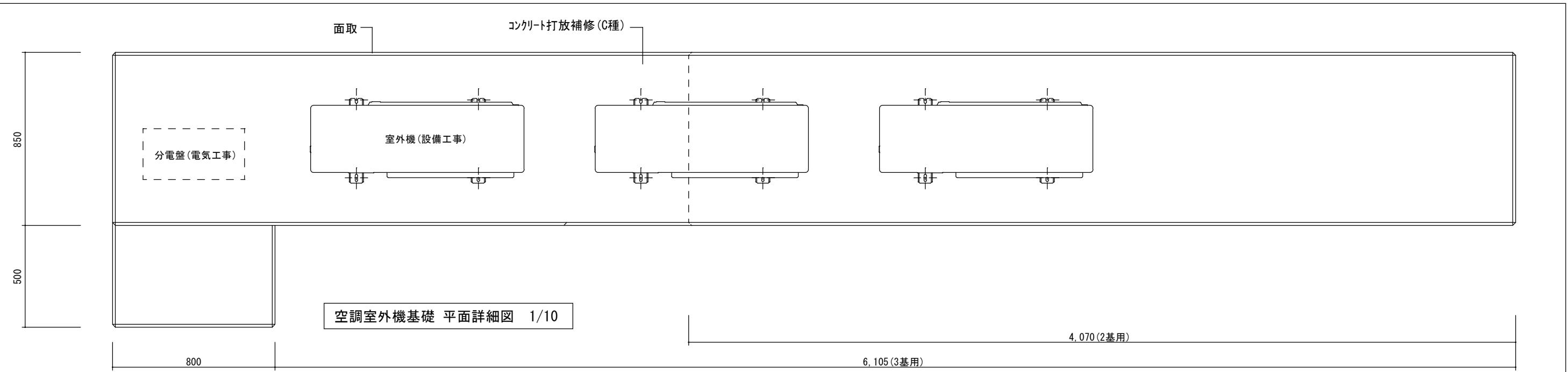


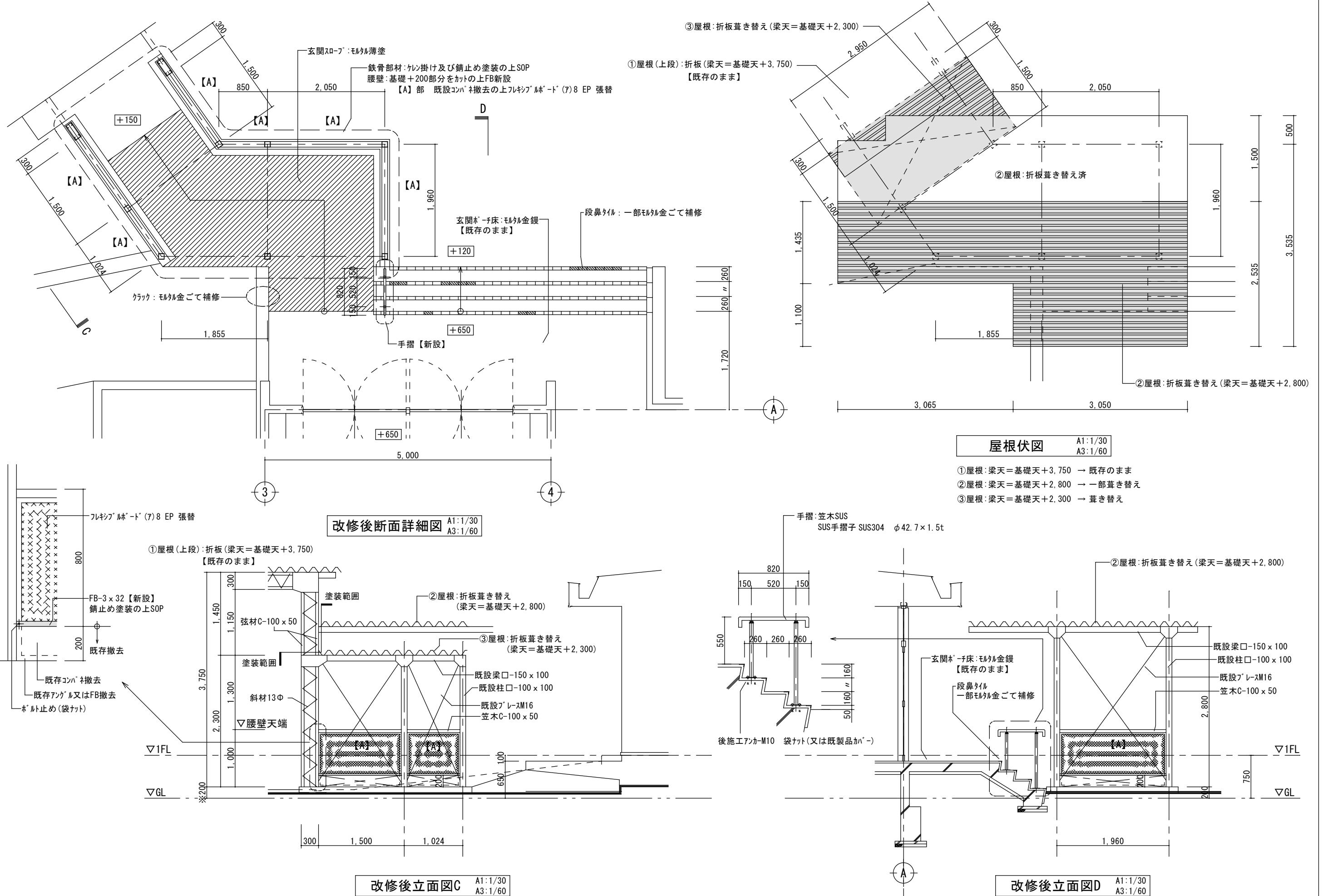
平面図 A1:1/150
A3:1/300



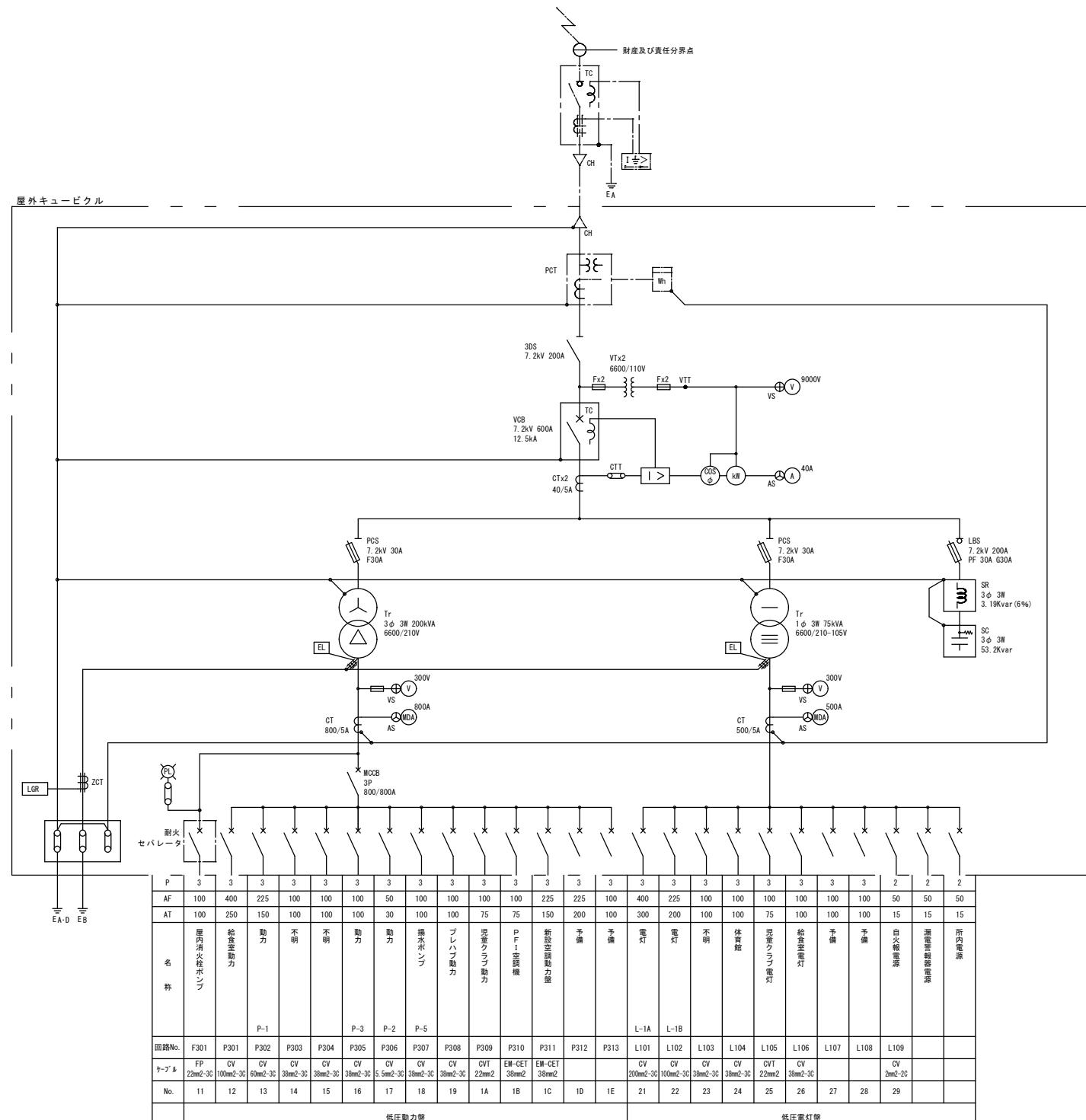
アリーナ上部平面図 A1:1/150
A3:1/300



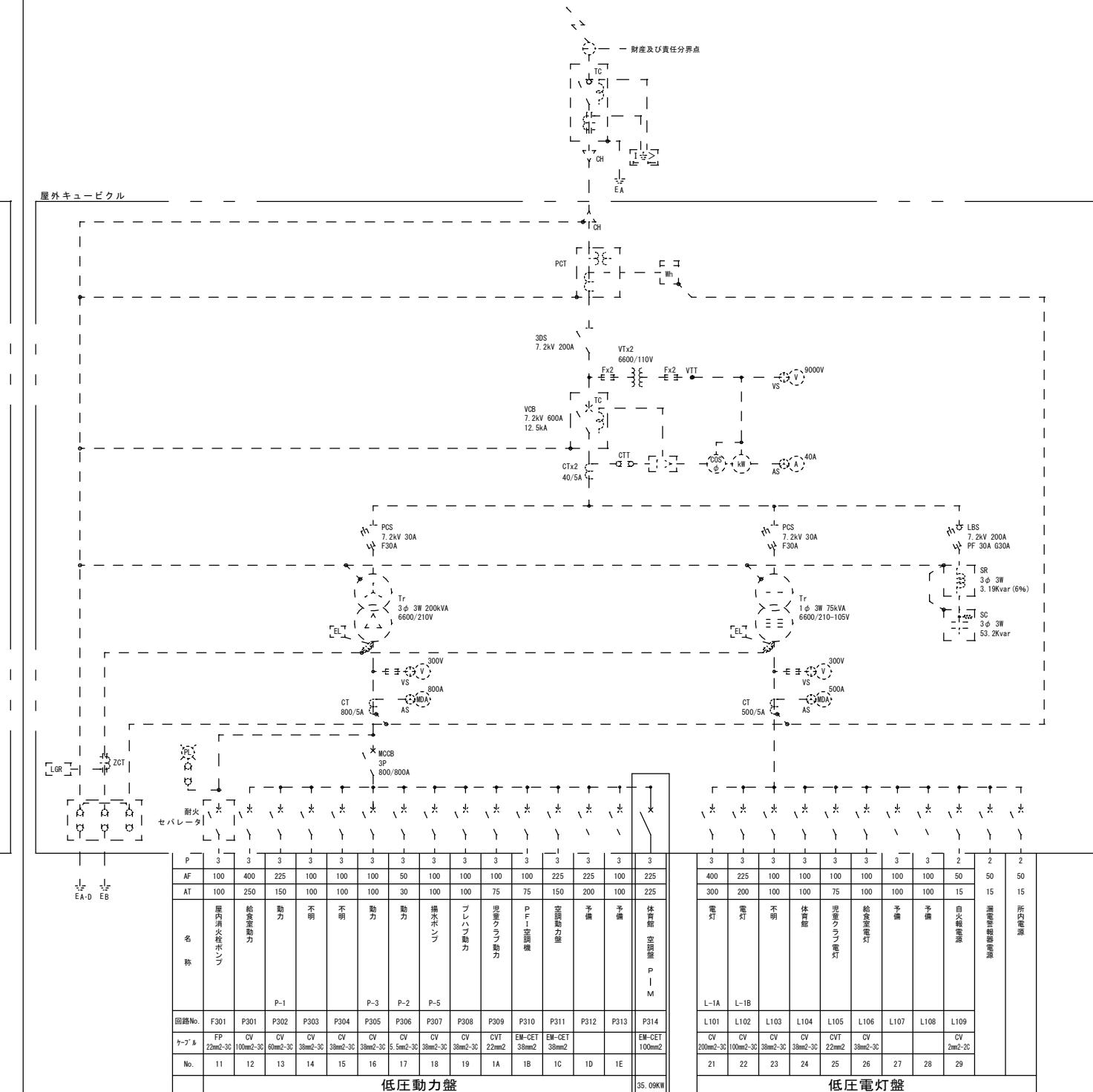




改修前受変電設備单線結線図

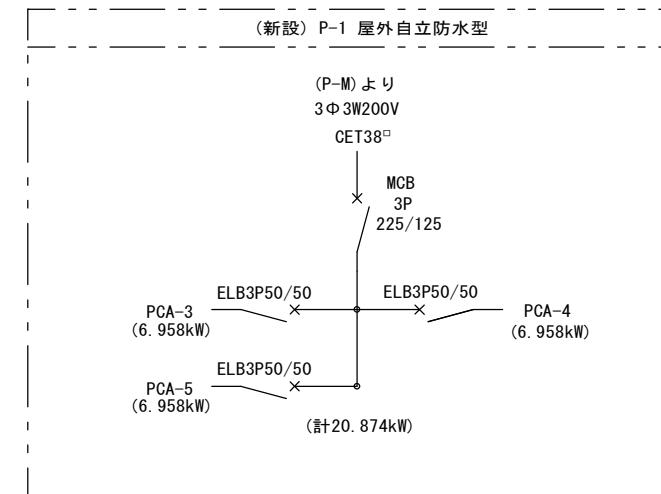
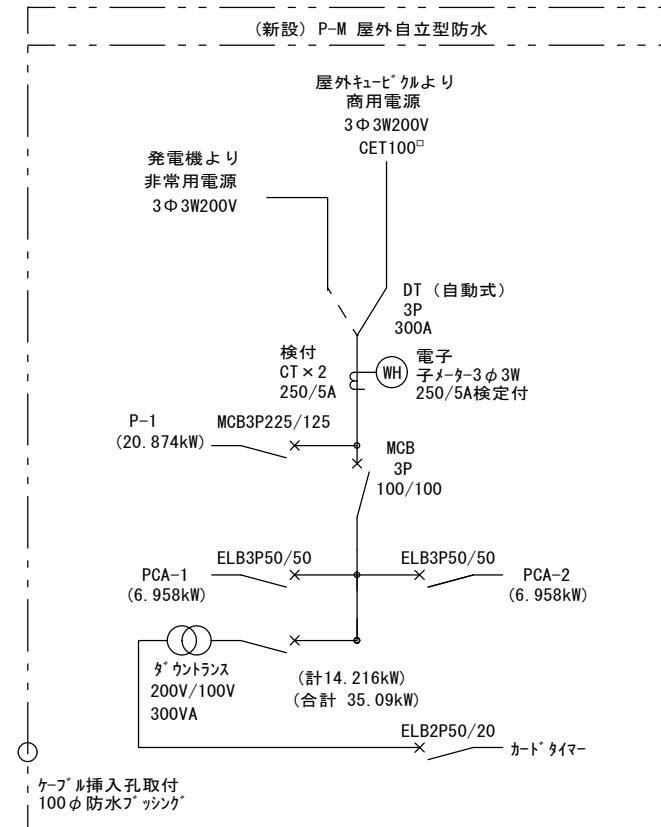


改修後受変電設備单線結線図



高压受電設備単線結線図

高压受電設備単線結線図



1. 凡例		
記号	名称・仕様	備考
	動力盤 屋外壁掛型	新設
	フルボックス (SUS) WP	新設
	地中線埋設標示標 コンクリート製	新設
	配管配線 架空	
	配管配線 露出	
	配管配線 地中埋設	
	足場設置・解体	建築工事
	配管配線 地中埋設	電気工事
	掘削工事	電気工事
	アスファルト舗装補修工事	建築工事

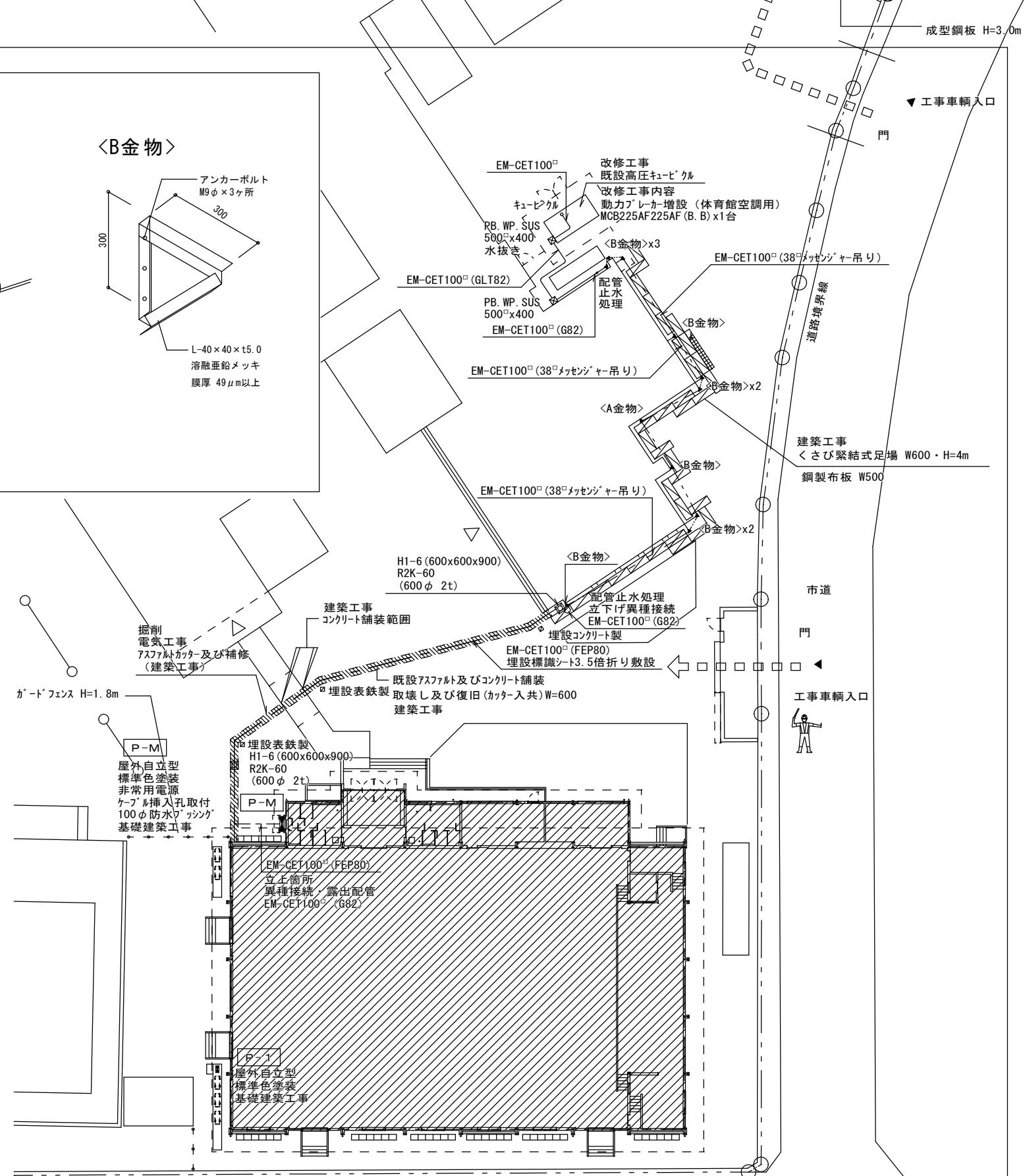
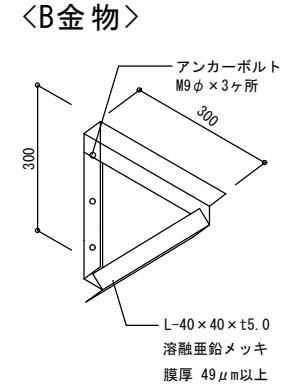
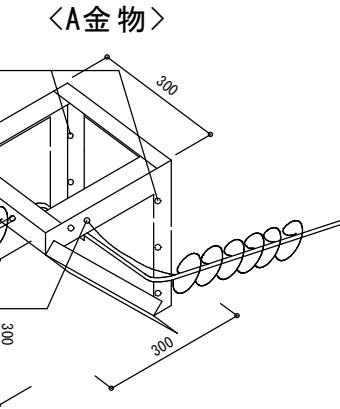
2. 特記なき配線は下記による

EM-CET14 E8 (G28+PF28)

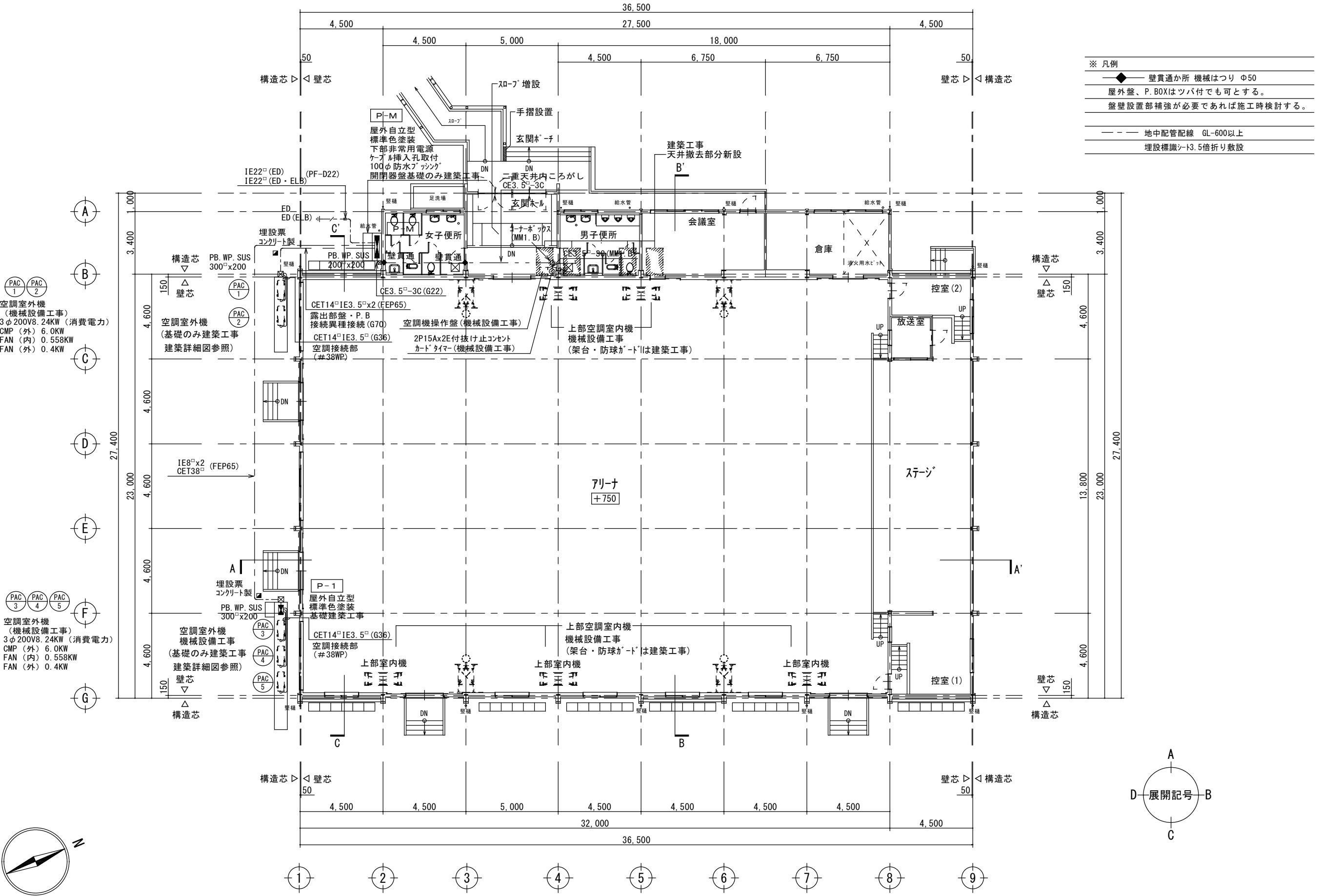
3. 特記事項

- (1) 特記なき図中の配管配線及び機器はすべて新設とする。
(2) 図中の地中配管配線は埋設標識シート2倍折り布設とする。
(3) 工事用足場組み建て・解体は建築工事とする。

架空金物参考図



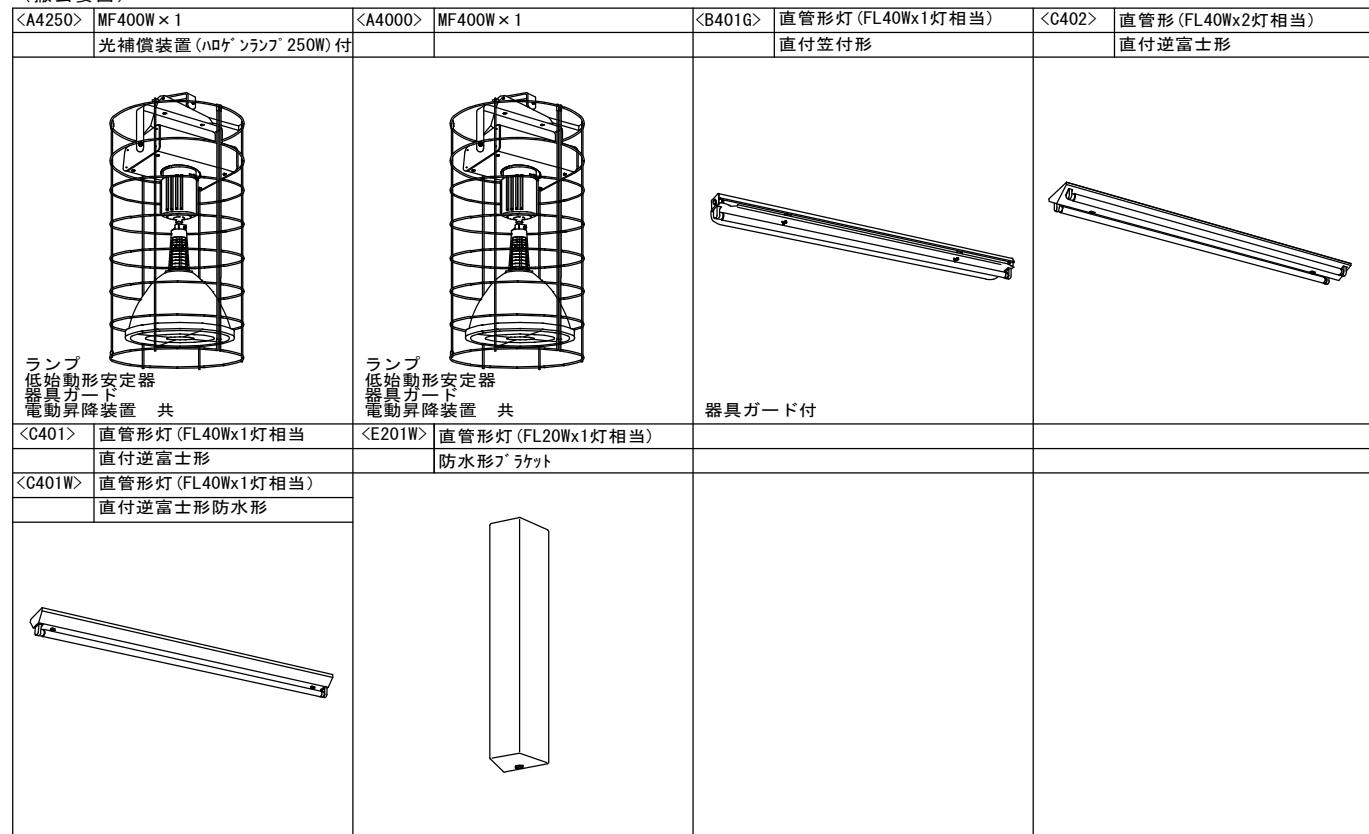
A1:1/200
A3:1/400



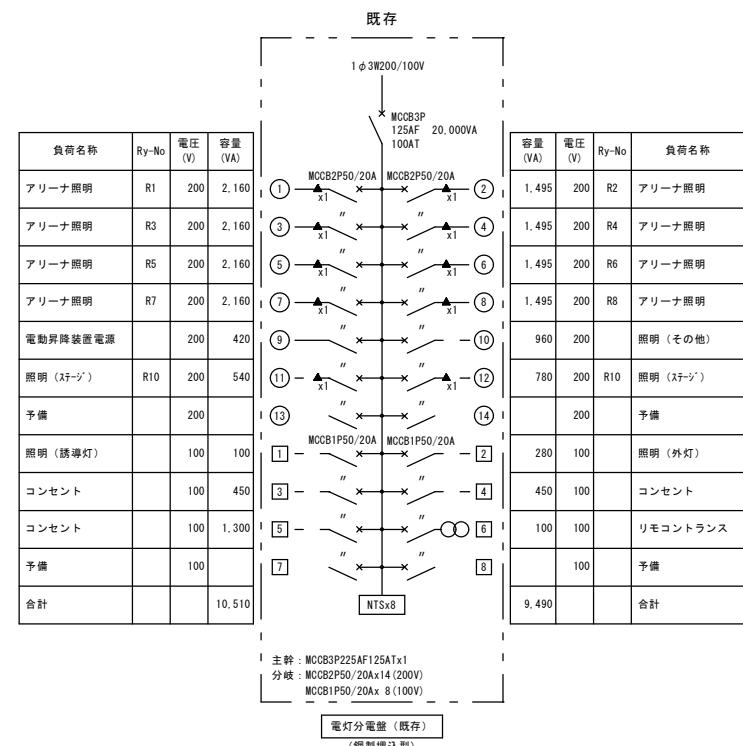
	春日市立学校教育部 教育施設課	日付 2025.01.17 工事名称 縮尺 A1:1/100 A3:1/200 国面名称 幹線・動力設備 平面図 (改修後・新設図)
--	--------------------	---

照明器具姿図

(撤去姿図)

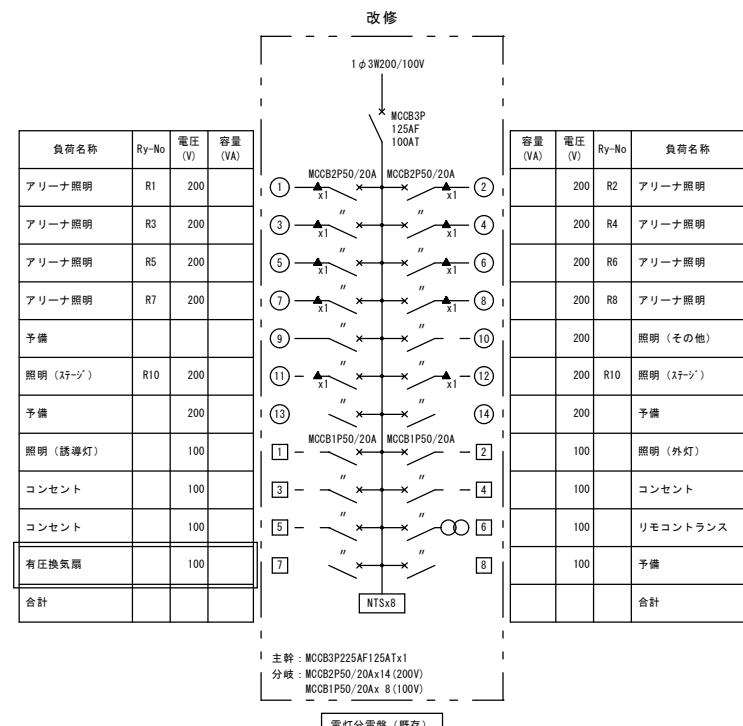
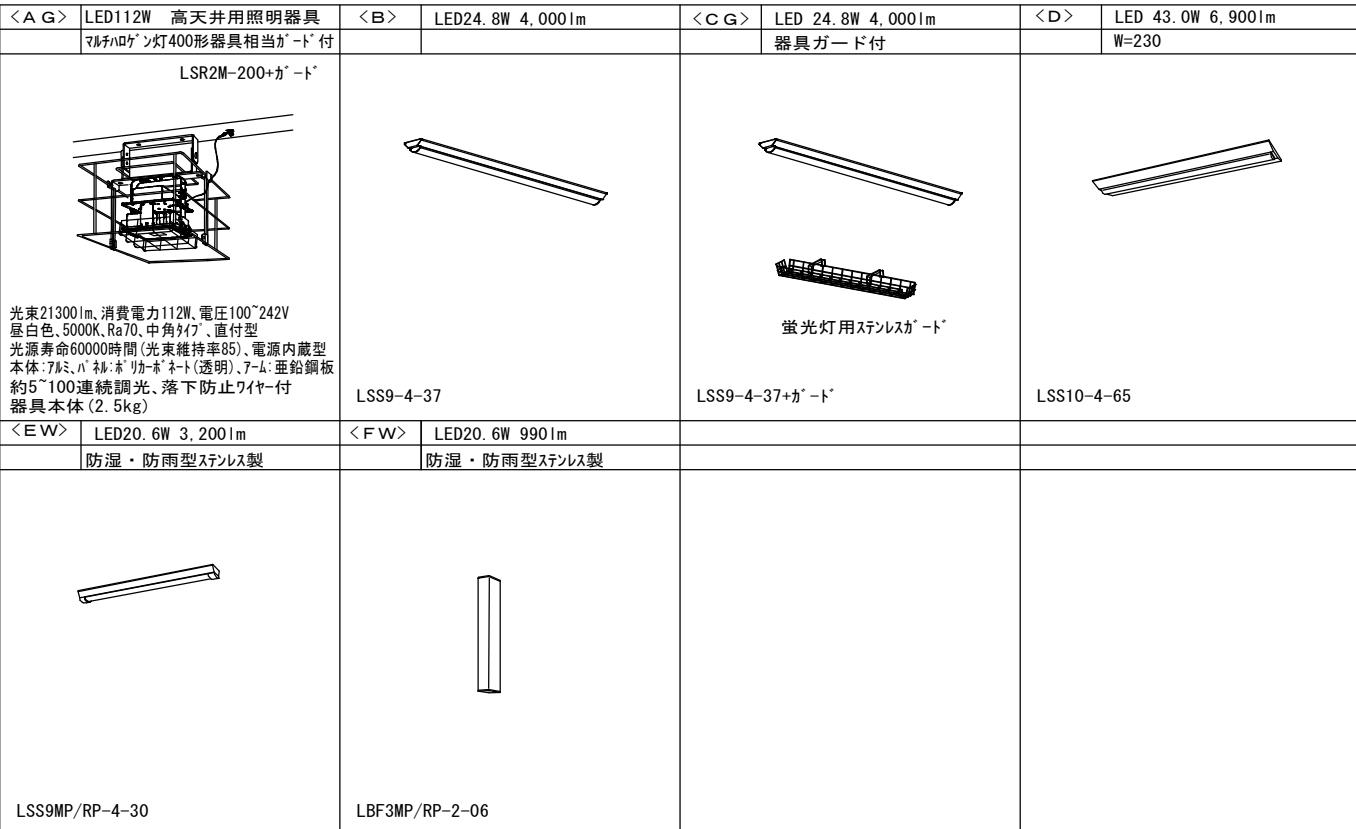


分煙盤結線図

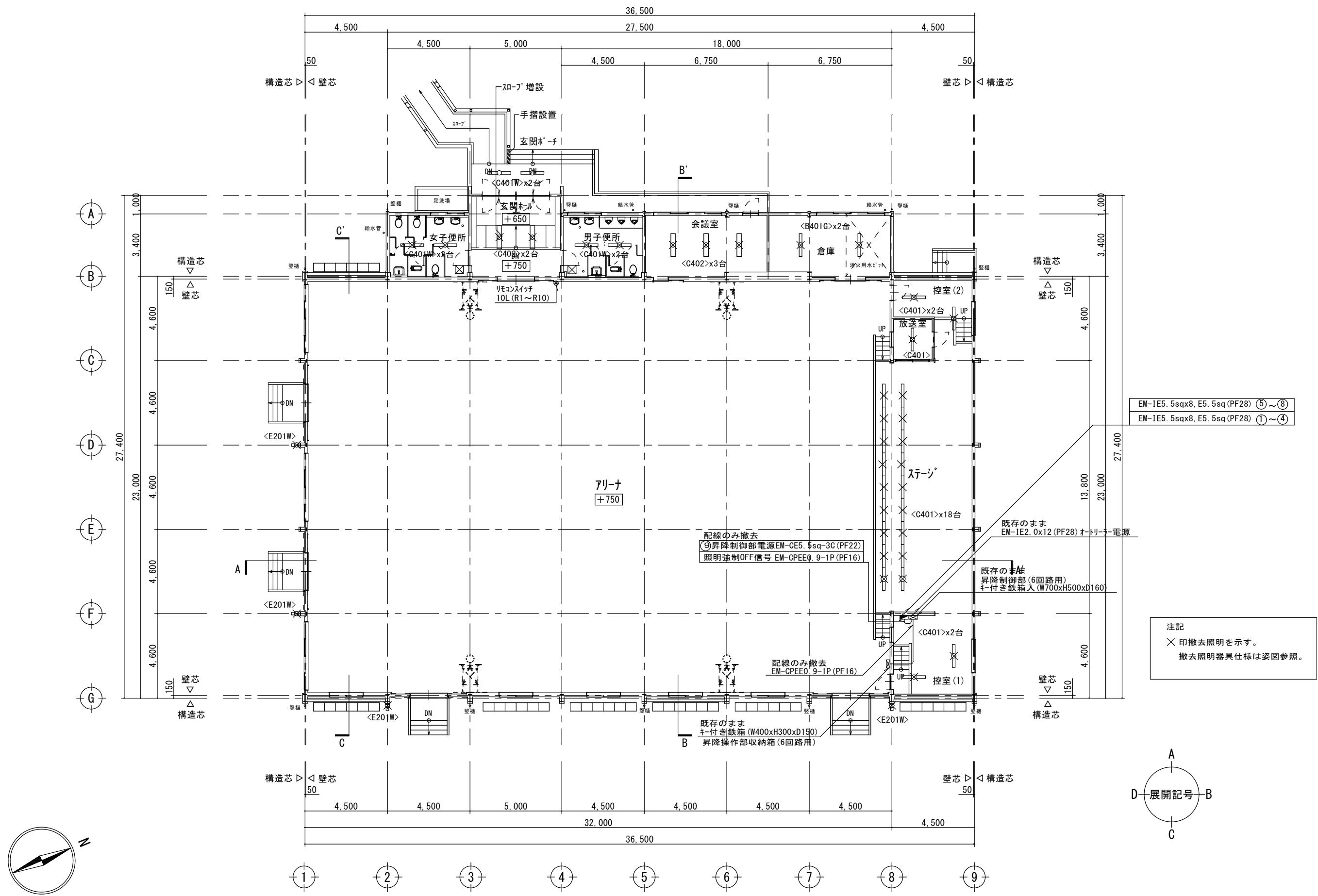


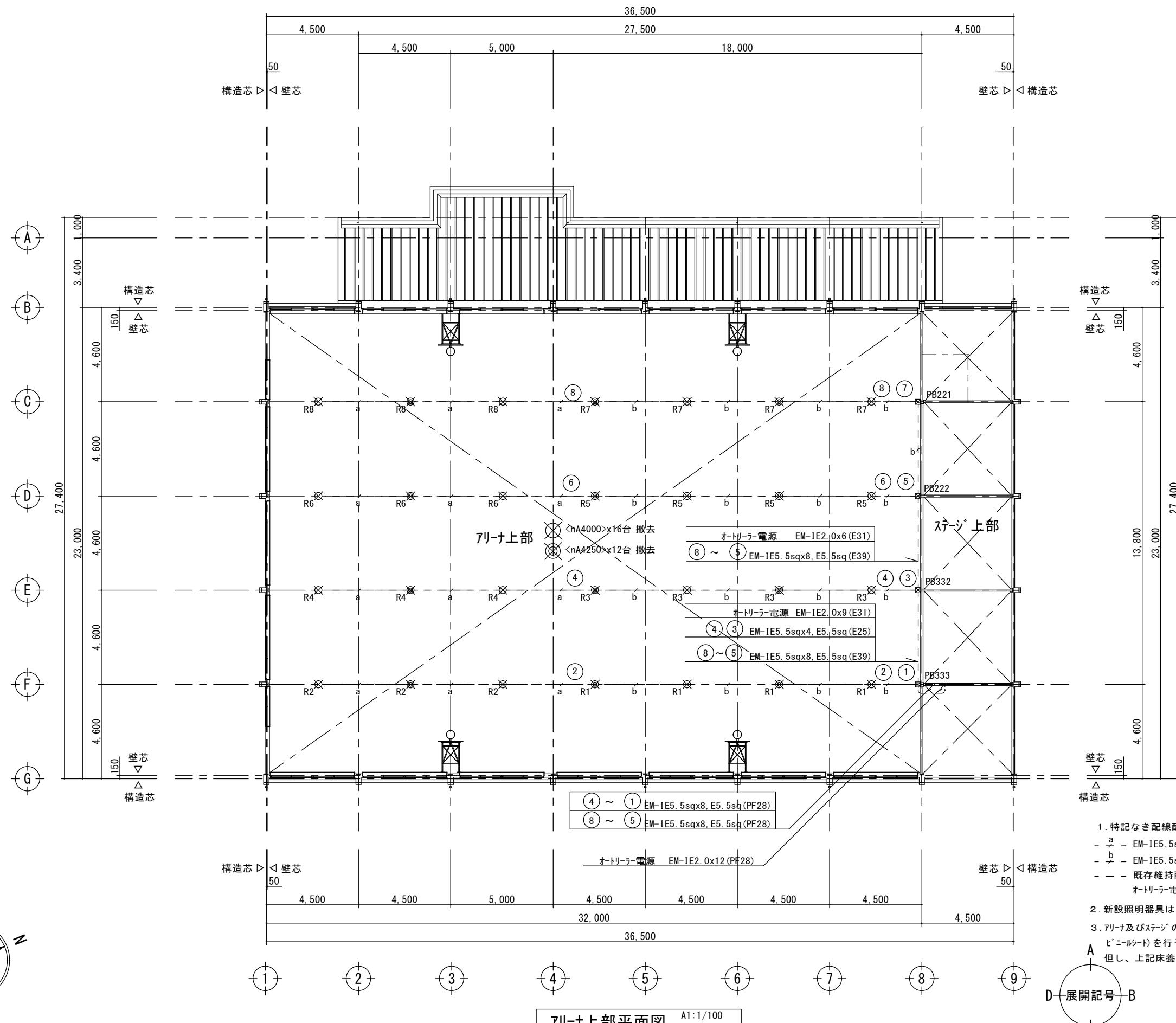
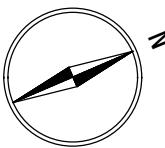
照明器具姿図

(新設姿図)



改修項目
1. 電動昇降装置電源配線撤去・予備回路とする。





アリーナ上部平面図 A1:1/100
A3:1/200

1. 特記なき配線配管は下記による。

- a - EM-IE5.5sqx2, E5.5sq(E25)+EM-IE2.0x3(E19) (オーティーラー電源)

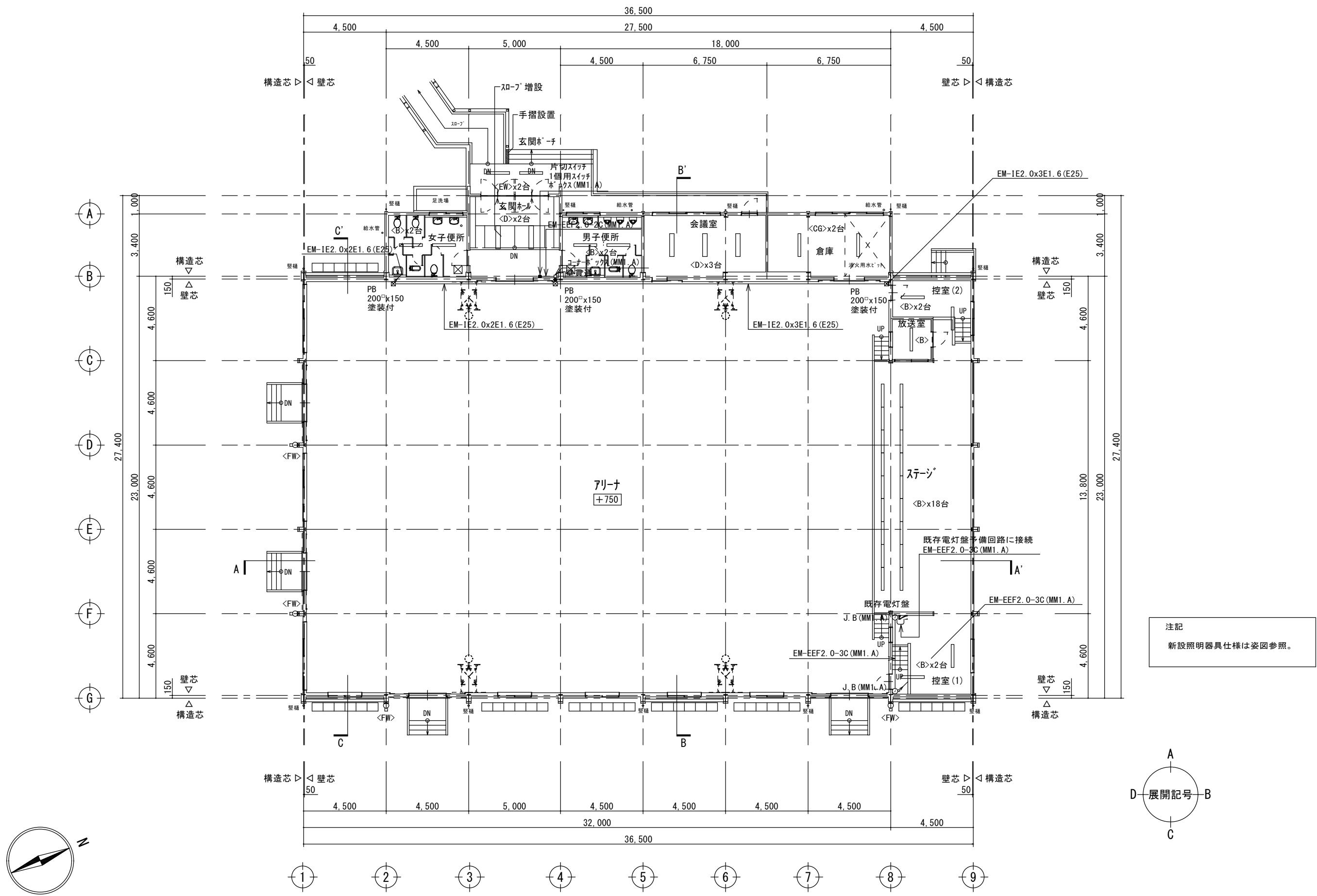
- b - EM-IE5.5sqx4, E5.5sq(E25)+EM-IE2.0x3(E19) (オーティーラー電源)

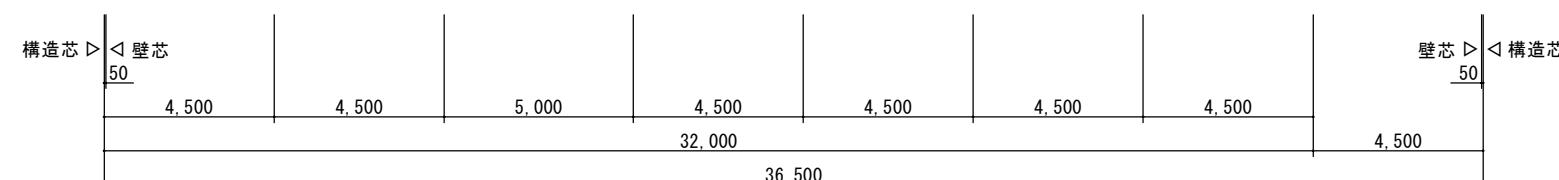
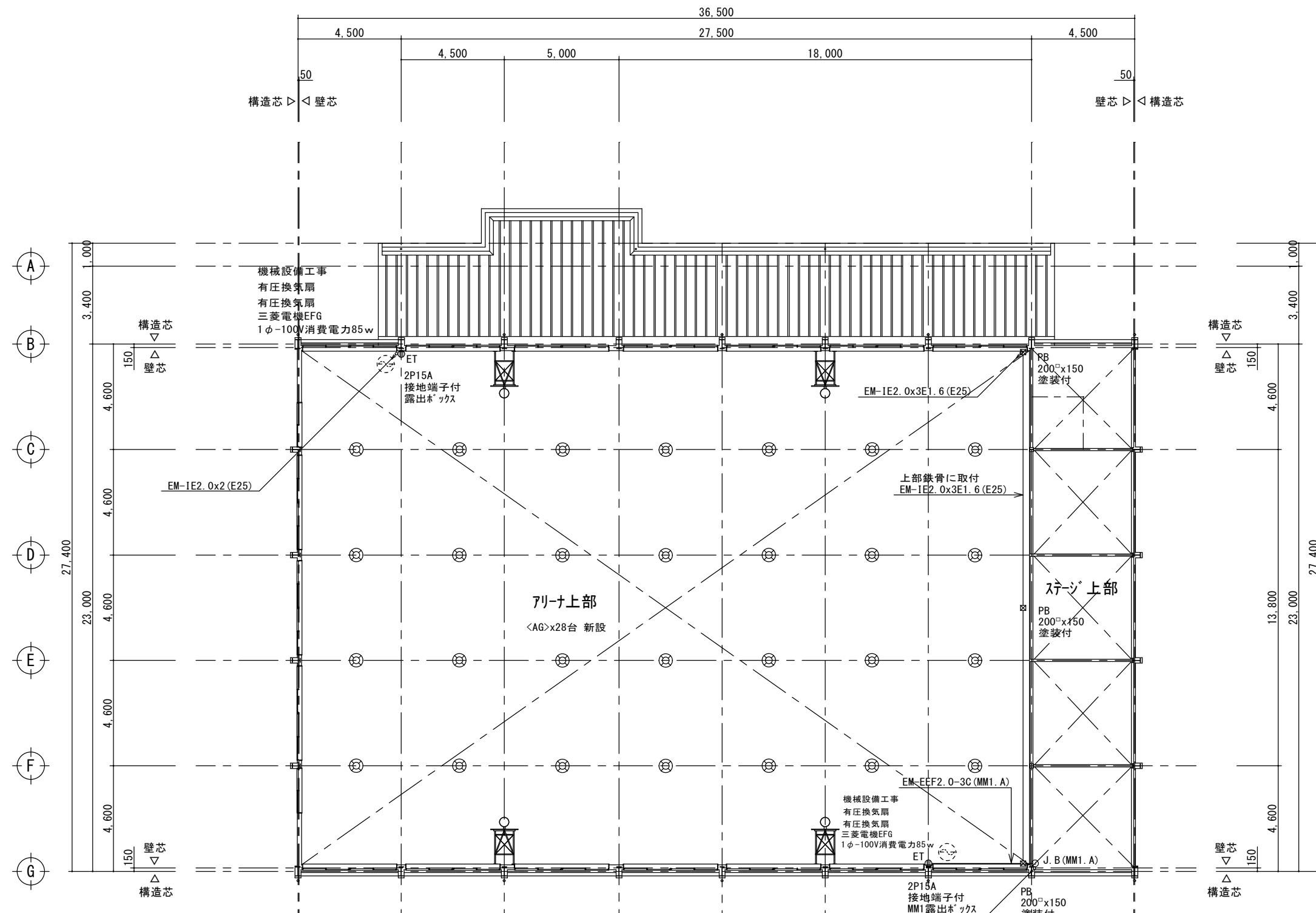
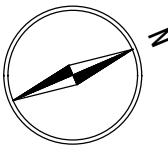
- - - 既存維持配管配線を示す
オーティーラー電源用配管配線は切離し、配線はテーピングすること。

2. 新設照明器具は、姿図を参照のこと。

3. アリーナ及びステージの照明器具取替等の作業用に床養生(ビニヤ板(t1.5)及びビニールシート)を行う。又、高所作業用に移動式足場(4段)-2台で行う。
但し、上記床養生及び高所作業用足場は建築工事とする。

A 展開記号 B
C





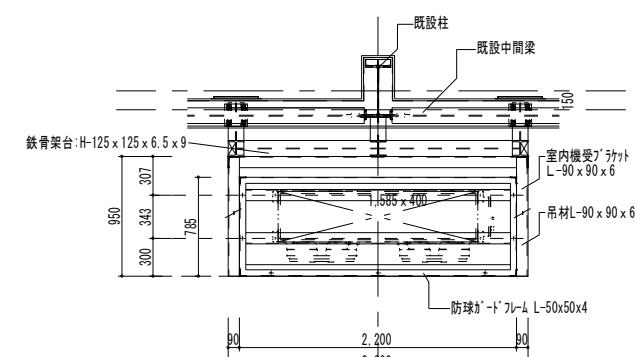
1 2 3 4 5 6 7 8 9

A 展開記号
B
C

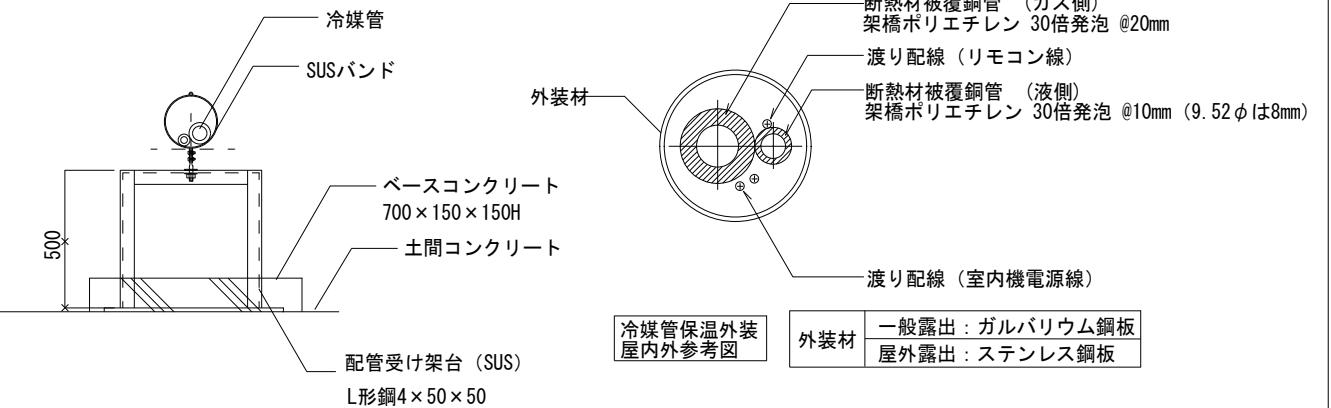
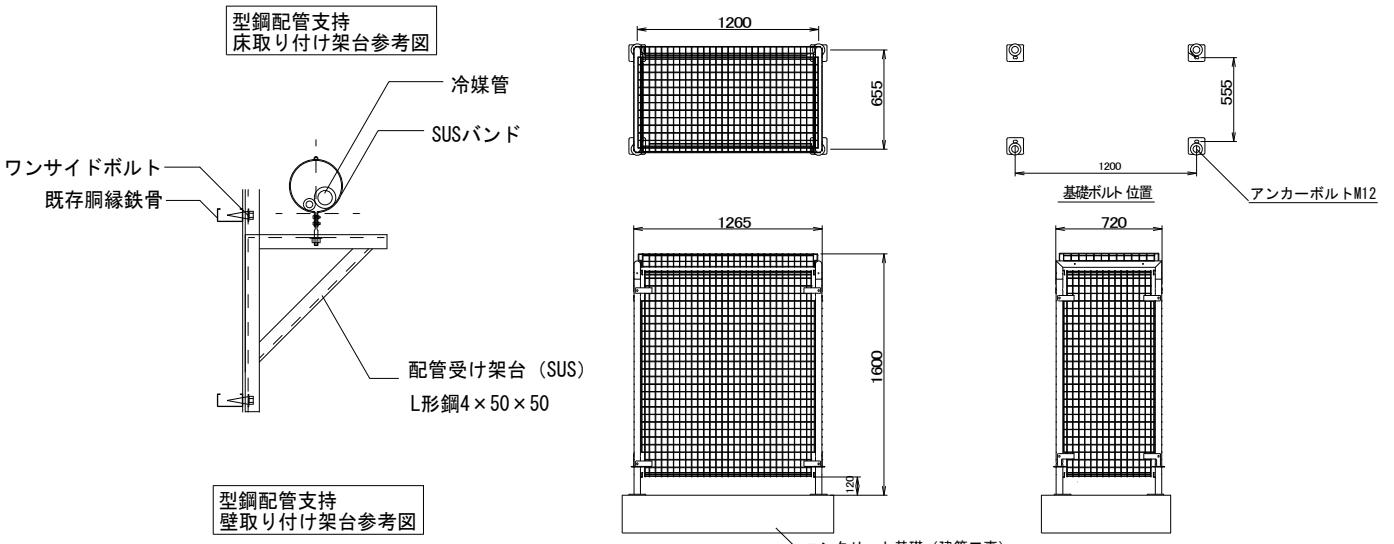
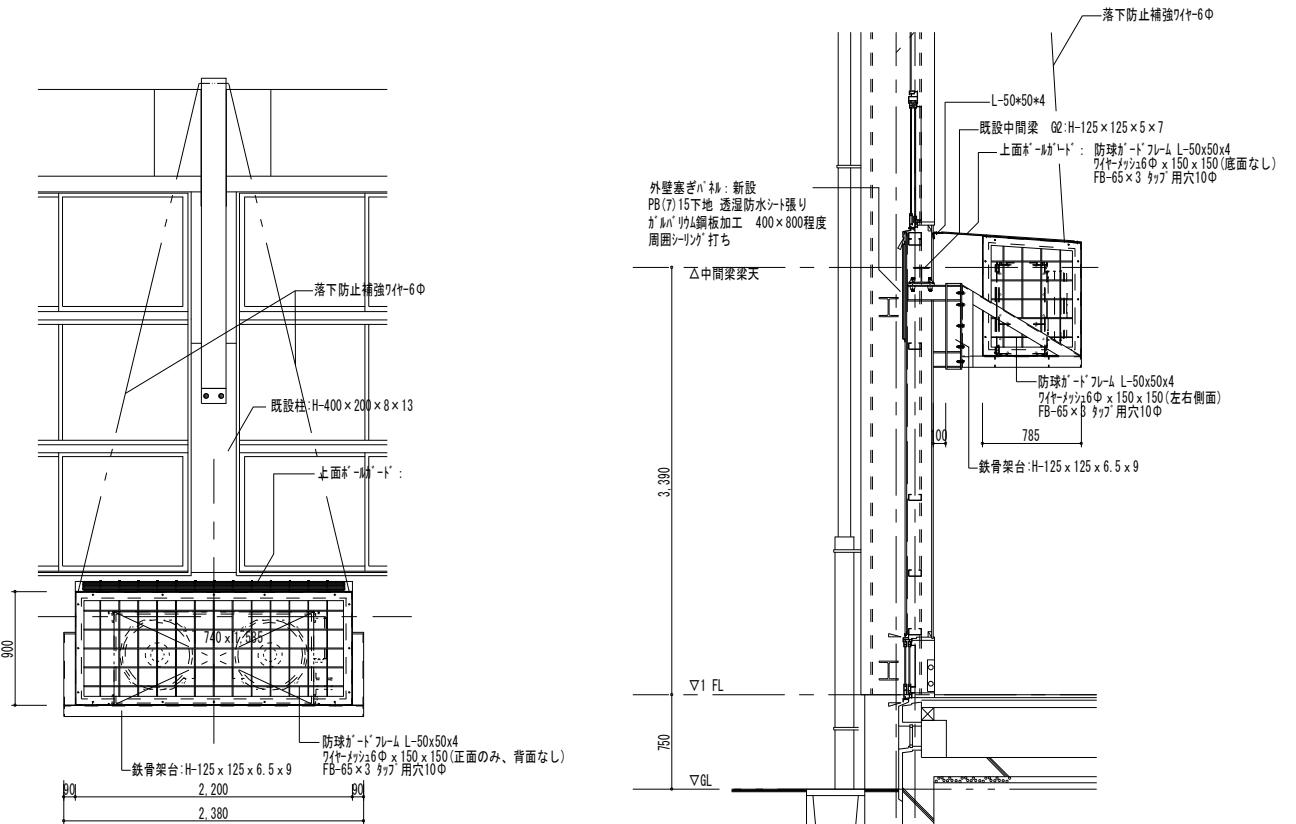
体育館 新設空調機器表

空冷ヒートポンプパッケージエアコン

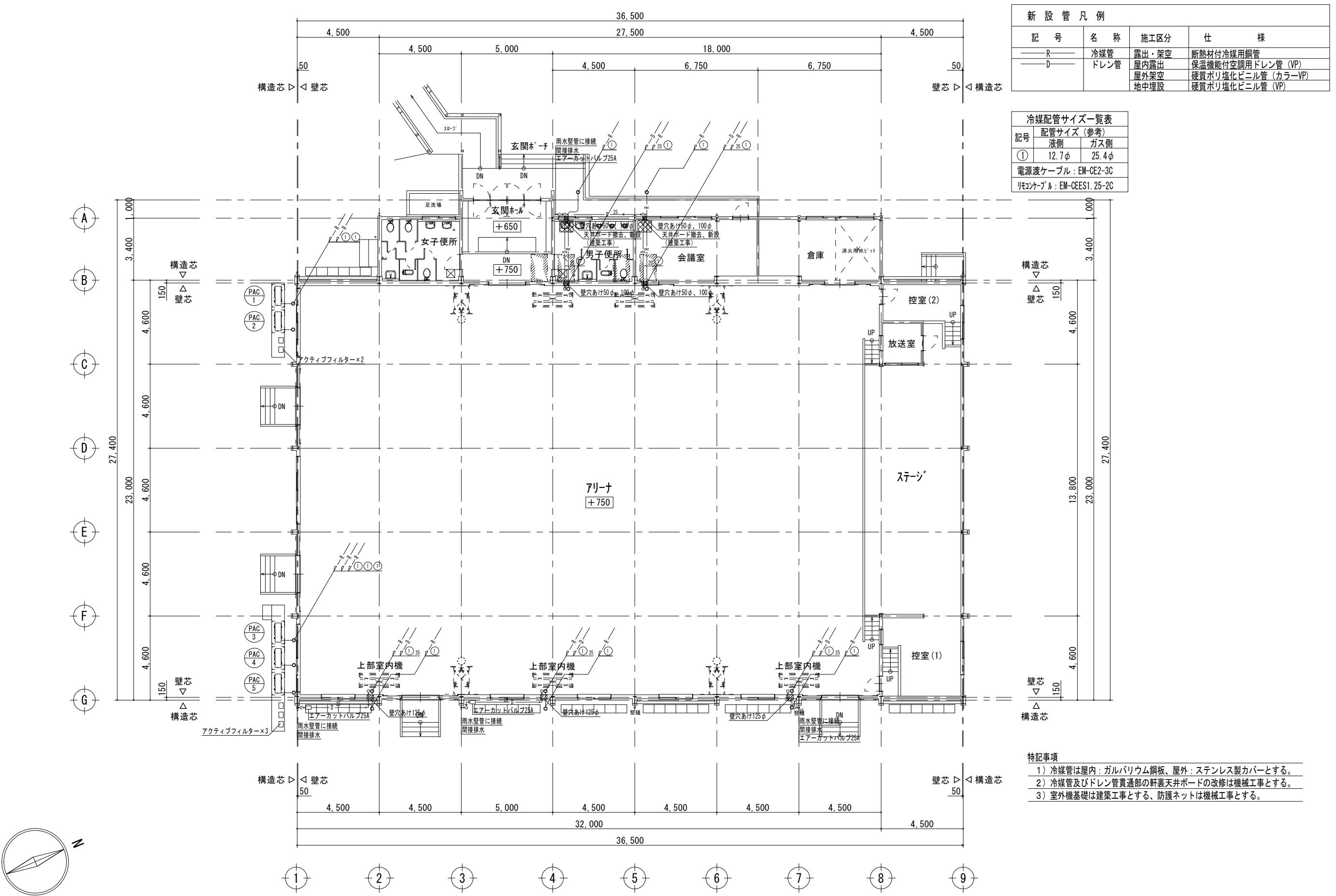
記号	機器名	仕様	冷媒種別	APF	風量m³/min	質量Kg	電気仕様				台数	設置場所	備考(参考品番)	
							Φ	V	圧縮機Kw	送風機Kw				
PAC-1	エリア空調機	室外機: 冷暖房切換運転 KBHP-ZP280-K (SG) 仕様: 冷房能力25.0kW 暖房能力28.0kW 冷媒管 12.7φ (液管) × 25.4φ (ガス管) 質量117kg 付属品: 保護ガード アクティブフィルター (取り付け架台210H) 防振ゴム 室内機: 床置タイプ ZI-028-2 仕様: 冷房能力25.0kW 暖房能力28.0kW 冷媒管 12.7φ (液管) × 25.4φ (ガス管) ドレン管25A 付属品: リモコン×1 エアーフィルター 防球カバー (建築工事) 取り付け金具	R32	4.2	-	117	3	200	6.0	0.40	8.24/7.29	1	屋外 基礎	別途建築工事
PAC-2	エリア空調機	室外機: 冷暖房切換運転 KBHP-ZP280-K (SG) 仕様: 冷房能力25.0kW 暖房能力28.0kW 冷媒管 12.7φ (液管) × 25.4φ (ガス管) 質量117kg 付属品: 保護ガード アクティブフィルター (取り付け架台210H) 防振ゴム 室内機: 床置タイプ ZI-028-2 仕様: 冷房能力25.0kW 暖房能力28.0kW 冷媒管 12.7φ (液管) × 25.4φ (ガス管) ドレン管25A 付属品: リモコン×1 エアーフィルター 防球カバー (建築工事) 取り付け金具	R32	4.2	-	117	3	200	6.0	0.40	8.24/7.29	1	屋外 基礎	別途建築工事
PAC-3	エリア空調機	室外機: 冷暖房切換運転 KBHP-ZP280-K (SG) 仕様: 冷房能力25.0kW 暖房能力28.0kW 冷媒管 12.7φ (液管) × 25.4φ (ガス管) 質量117kg 付属品: 保護ガード アクティブフィルター (取り付け架台210H) 防振ゴム 室内機: 床置タイプ ZI-028-2 仕様: 冷房能力25.0kW 暖房能力28.0kW 冷媒管 12.7φ (液管) × 25.4φ (ガス管) ドレン管25A 付属品: リモコン×1 エアーフィルター 防球カバー (建築工事) 取り付け金具	R32	4.2	-	117	3	200	6.0	0.40	8.24/7.29	1	屋外 基礎	別途建築工事
PAC-4	エリア空調機	室外機: 冷暖房切換運転 KBHP-ZP280-K (SG) 仕様: 冷房能力25.0kW 暖房能力28.0kW 冷媒管 12.7φ (液管) × 25.4φ (ガス管) 質量117kg 付属品: 保護ガード アクティブフィルター (取り付け架台210H) 防振ゴム 室内機: 床置タイプ ZI-028-2 仕様: 冷房能力25.0kW 暖房能力28.0kW 冷媒管 12.7φ (液管) × 25.4φ (ガス管) ドレン管25A 付属品: リモコン×1 エアーフィルター 防球カバー (建築工事) 取り付け金具	R32	4.2	-	117	3	200	6.0	0.40	8.24/7.29	1	屋外 基礎	別途建築工事
PAC-5	エリア空調機	室外機: 冷暖房切換運転 KBHP-ZP280-K (SG) 仕様: 冷房能力25.0kW 暖房能力28.0kW 冷媒管 12.7φ (液管) × 25.4φ (ガス管) 質量117kg 付属品: 保護ガード アクティブフィルター (取り付け架台210H) 防振ゴム 室内機: 床置タイプ ZI-028-2 仕様: 冷房能力25.0kW 暖房能力28.0kW 冷媒管 12.7φ (液管) × 25.4φ (ガス管) ドレン管25A 付属品: リモコン×1 エアーフィルター 防球カバー (建築工事) 取り付け金具	R32	4.2	-	117	3	200	6.0	0.40	8.24/7.29	1	屋外 基礎	別途建築工事
EF-1	有圧換気扇	低騒音形 電動式シャッター付 仕様: 350φ × 3000m³/h 付属品: パックガード SUS製ウエザーカバー (防鳥網)			1	100		150W				2	アリーナ アルミパネル更新	別途建築工事
	課金システム	カードタイマー 空調操作盤 (カードタイマー・個別リモコン×5) リレー盤+遠方操作アダプター配線 カードタイマー用カード 管理用カード×2枚+プリベイドカード×3000枚										1	アリーナ カードタイマー電源は別途電気工事	
		特記事項												
		1. 機器の能力・容量は表示された数値以上とする。 2. 個別リモコンの設定は、運転/停止・運転モード切換え・温度設定とする。 3. 室内機取付用鉄骨架台及び防球カバーは、取り付け共途建築工事とする。 4. 室外機のコンクリート基礎は別途建築工事とする。 5. 空調機への1次側電源供給は別途電気工事とする。												



室内機架台(建築工事)参考図

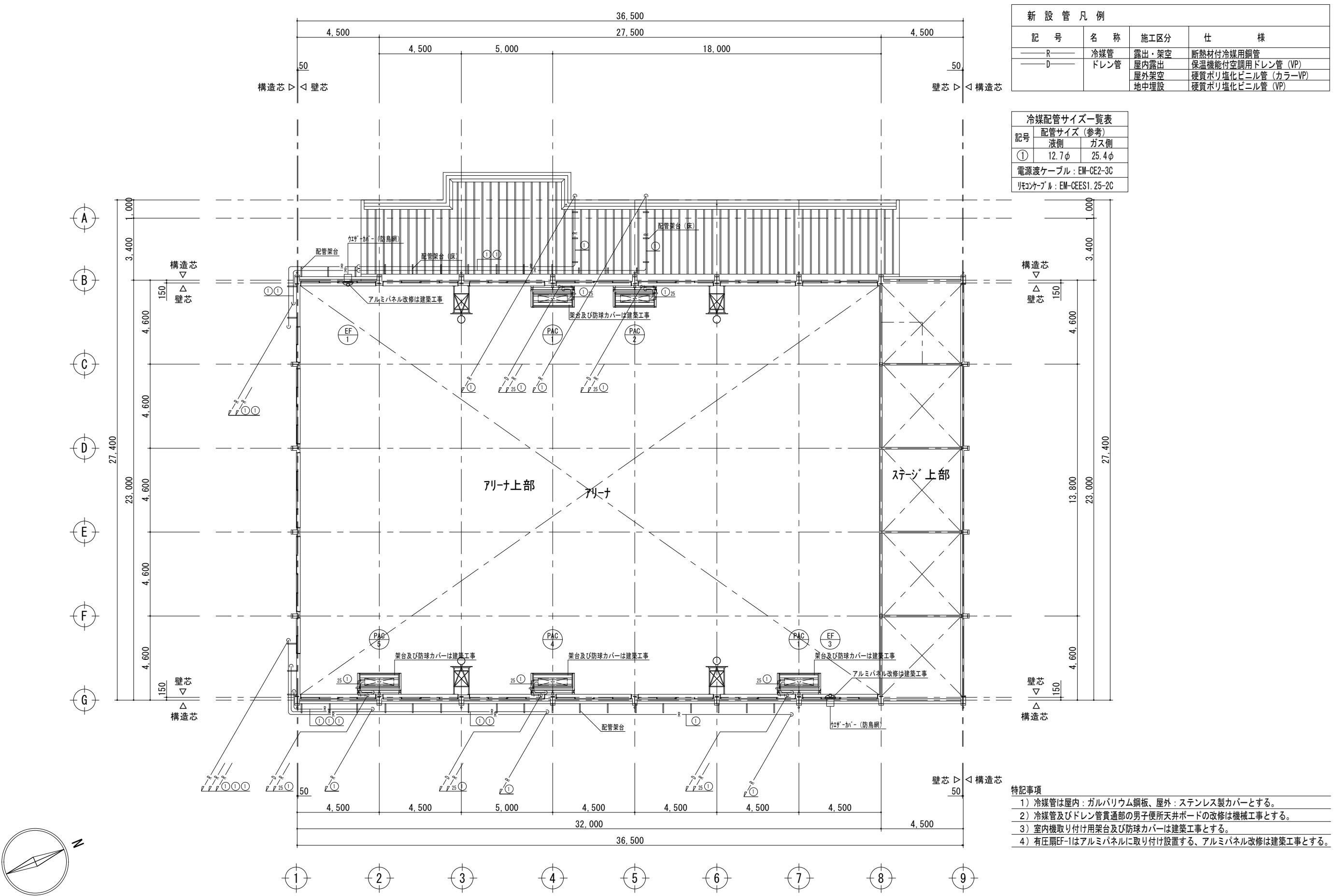
冷媒管保温外装
屋内外参考図外装材 一般露出: ガルバリウム鋼板
屋外露出: ステンレス鋼板型鋼配管支持
壁取り付け架台参考図

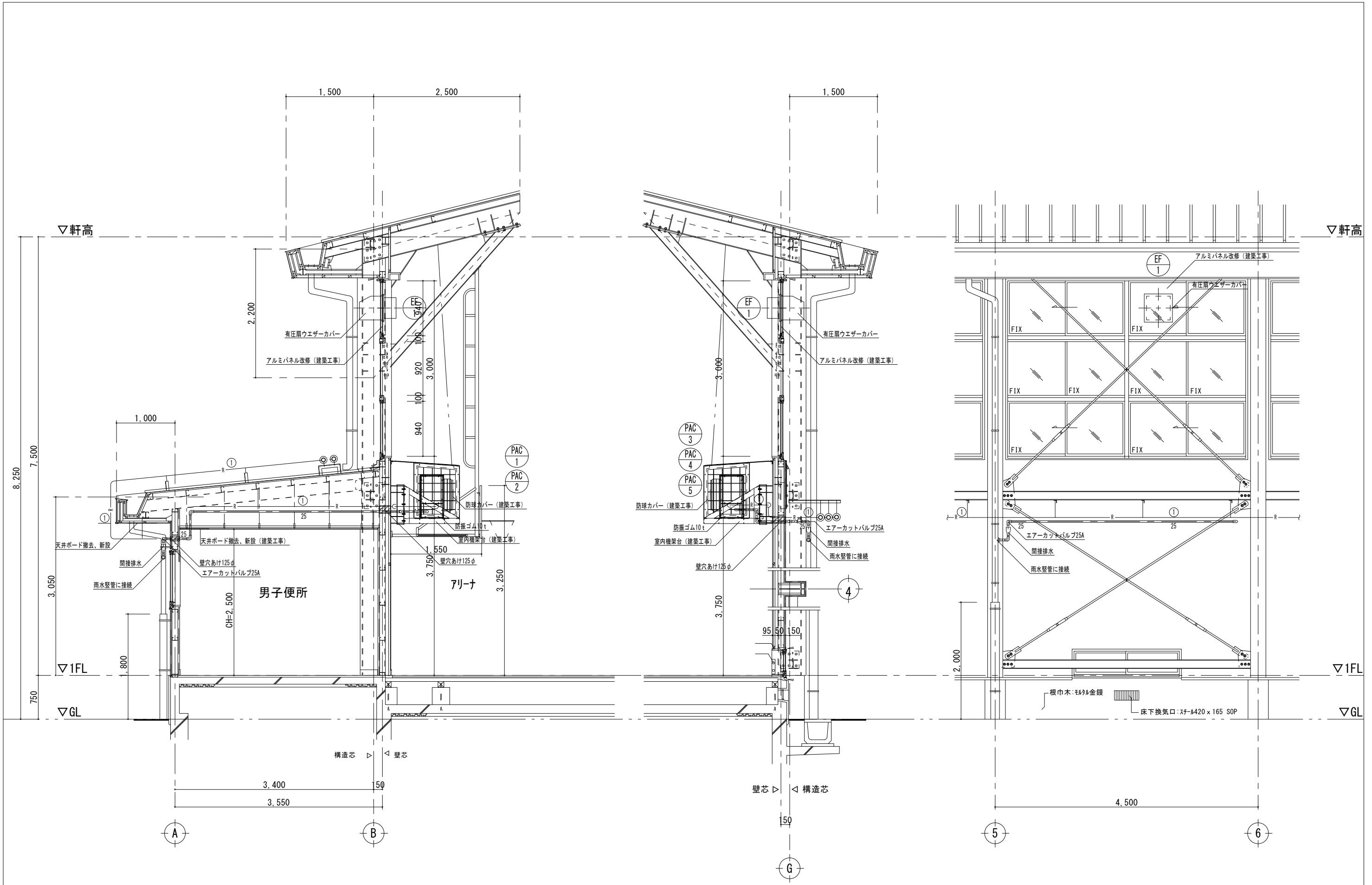
防球カバー(建築工事)参考図

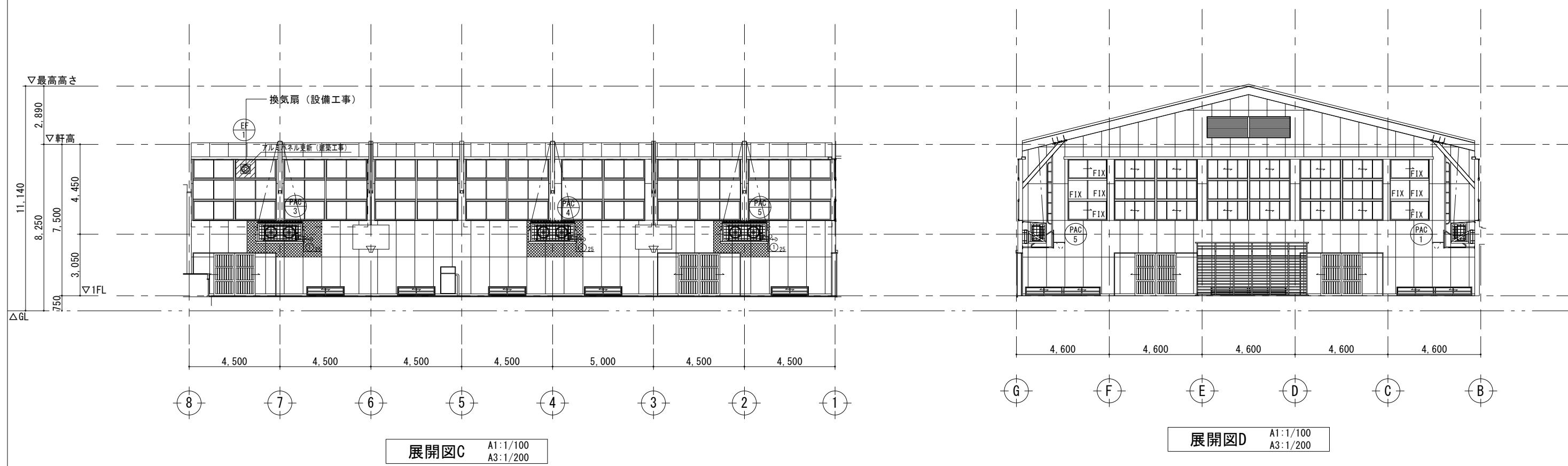
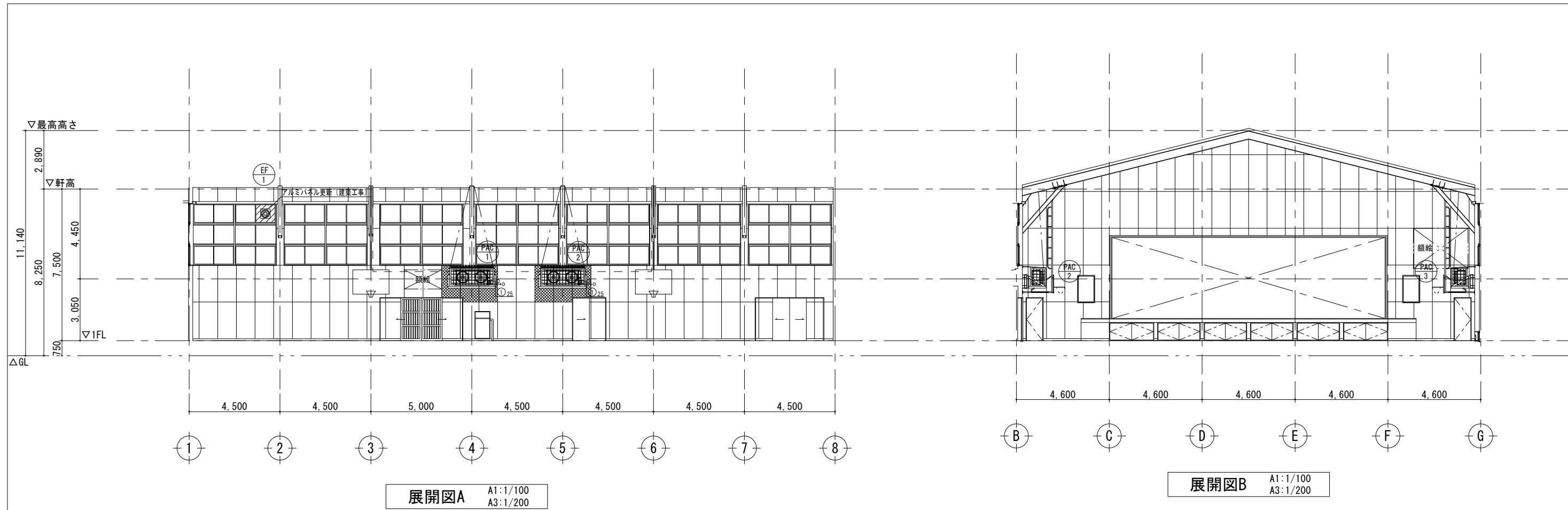


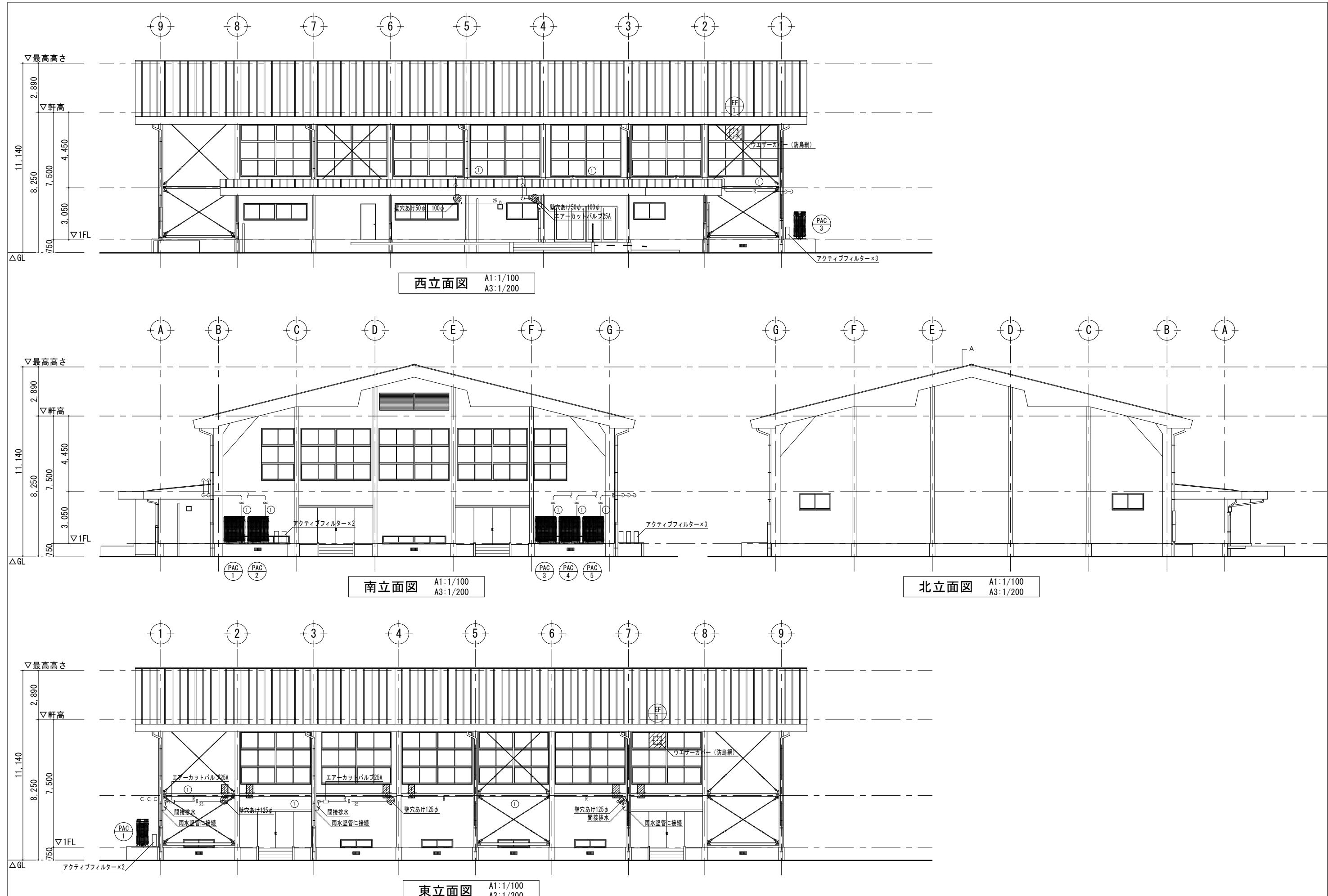
特記事項

- 1) 冷媒管は屋内: ガルバリウム鋼板、屋外: ステンレス製カバーとする。
- 2) 冷媒管及びドレン管貫通部の軒裏天井ボードの改修は機械工事とする。
- 3) 室外機基礎は建築工事とする、防護ネットは機械工事とする。

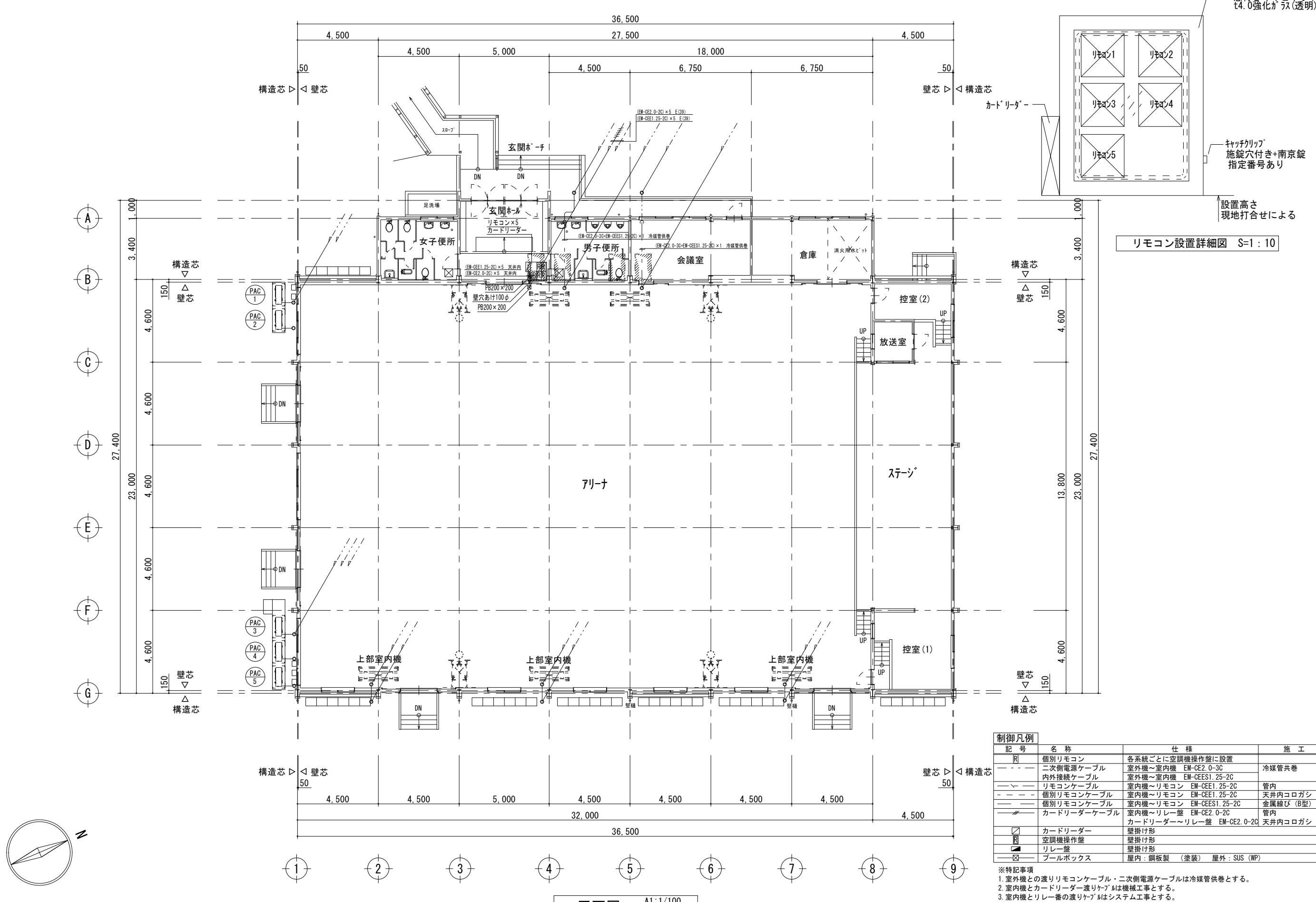


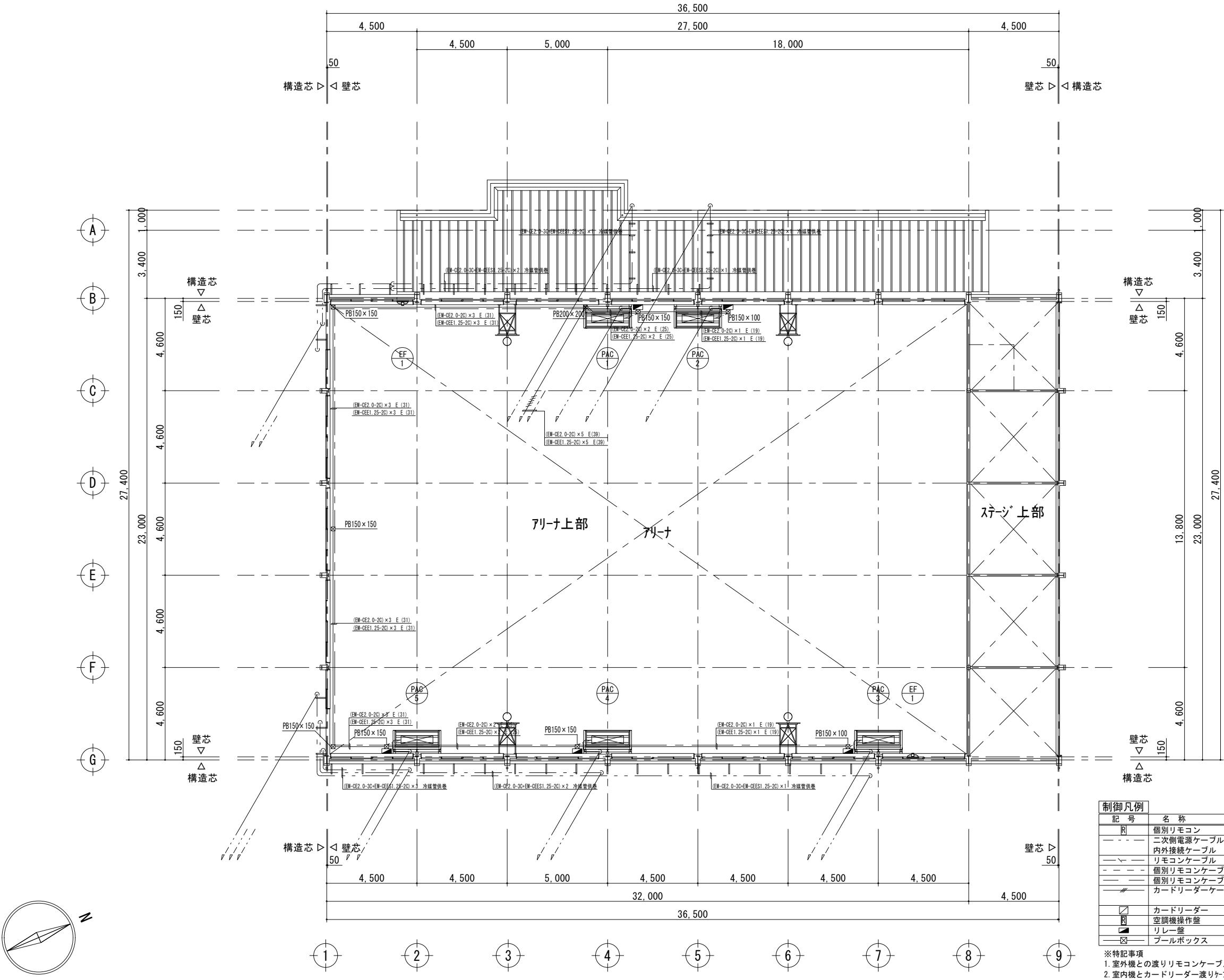






窓付きキャビネット
t4.0強化ガラス(透明)





制御凡例			
記号	名称	仕様	施工
■	個別リモコン	各系統ごとに空調機操作盤に設置	
—	二次側電源ケーブル	室外機～室内機 EM-CE2.0-3C	冷媒管共巻
—△—	内外接続ケーブル	室外機～室内機 EM-CEES1.25-2C	
—▽—	リモコンケーブル	室内機～リモコン EM-CEE1.25-2C	管内
- - -	個別リモコンケーブル	室内機～リモコン EM-CEE1.25-2C	天井内コロガシ
—■—	個別リモコンケーブル	室内機～リモコン EM-CEES1.25-2C	金属線び(B型)
◆	カードリーダーケーブル	室内機～リレー盤 EM-CE2.0-2C	管内
□	カードリーダー	壁掛け形	
■	空調機操作盤	壁掛け形	
■	リレー盤	壁掛け形	
☒	ブルボックス	屋内：鋼板製（塗装） 屋外：SUS (WP)	

※特記事項

- 室外機との渡りリモコンケーブル・二次側電源ケーブルは冷媒管供巻とする。
- 室内機とカードリーダー渡りケーブルは機械工事とする。
- 室内機とリレー番の渡りケーブルはシステム工事とする。
- カードリーダーへの電源供給は電気工事とする。
- カードリーダー及び空調機操作盤の取り付け位置は、施工時に協議の上決定する。